

# 高齡者保健福祉実態調査報告書

平成29年3月

富山市



# 目 次

---

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査の内容	1
3	調査対象者	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回収結果	1
7	回答者の属性	2
II	調査結果の要約	5
III	調査結果	21
1	家族や生活状況について	21
2	毎日の生活について	36
3	健康について	56
4	社会参加について	66
5	たすけあいについて	70
6	認知症について	75
7	高齢者福祉について	78
8	医療について	93
IV	調査票	101

#### この冊子のみかた

1. 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（SA、複数の選択肢からひとつだけ選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答（MA、複数の選択肢から2つ以上の回答を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計は概ね100.0%を超えます。
3. 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
4. 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

# I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1 調査目的

次期富山市高齢者総合福祉プラン（平成 30～32 年度）策定のための基礎資料とするため、対象となる高齢者の生活実態、保健・福祉・介護保険に係るサービス、施策・制度等に関する意向等を把握することを目的とする。

## 2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 家族や生活状況について
- (3) 毎日の生活について
- (4) 健康について
- (5) 社会参加について
- (6) たすけあいについて
- (7) 認知症について
- (8) 高齢者福祉について
- (9) 医療について

## 3 調査対象者

- 富山市在住の 65 歳以上の男女
- 富山市内 18 圏域ごとに 200 人ずつ（計 3,600 人）を無作為抽出

## 4 調査方法

郵送返送方式

## 5 調査期間

平成 29 年 2 月 3 日～2 月 14 日

## 6 回収結果

配布数	有効回答数	回収率
3,600	2,443	67.9%

## 7 回答者の属性

### (1) 性別・年齢別

(上段：件数、下段：%)

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男性	357 29.3	302 24.8	259 21.2	185 15.2	86 7.1	30 2.5	1,219 100.0
女性	341 27.9	256 20.9	238 19.4	203 16.6	110 9.0	76 6.2	1,224 100.0
計	698 28.6	558 22.8	497 20.3	388 15.9	196 8.0	106 4.3	2,443 100.0

### (2) アンケートの記入者

(上段：件数、下段：%)

		あなた (ご本人)	ご家族 (ご本人からの聞き取りにより記入)	その他 (ご家族(ご本人からの聞き取りにより記入))	無回答	計
性別	男性	1,058 86.8	123 10.1	10 0.8	28 2.3	1,219 100.0
	女性	1,020 83.3	173 14.1	10 0.8	21 1.7	1,224 100.0
年齢別	65歳～69歳	656 94.0	34 4.9	- -	8 1.1	698 100.0
	70歳～74歳	514 92.1	32 5.7	4 0.7	8 1.4	558 100.0
	75歳～79歳	445 89.5	35 7.0	2 0.4	15 3.0	497 100.0
	80歳～84歳	305 78.6	69 17.8	5 1.3	9 2.3	388 100.0
	85歳～89歳	119 60.7	64 32.7	6 3.1	7 3.6	196 100.0
	90歳以上	39 36.8	62 58.5	3 2.8	2 1.9	106 100.0
	計	2,078 85.1	296 12.1	20 0.8	49 2.0	2,443 100.0

### (3) 要介護認定

(上段：件数、下段：%)

		受けていない	要支援1、2	要介護1、2	要介護3以上	無回答	計
性別	男性	1,097 90.0	43 3.5	41 3.4	31 2.5	7 0.6	1,219 100.0
	女性	997 81.5	78 6.4	94 7.7	48 3.9	7 0.6	1,224 100.0
年齢別	65歳～69歳	671 96.1	9 1.3	7 1.0	8 1.1	3 0.4	698 100.0
	70歳～74歳	538 96.4	6 1.1	6 1.1	8 1.4	- -	558 100.0
	75歳～79歳	458 92.2	12 2.4	14 2.8	7 1.4	6 1.2	497 100.0
	80歳～84歳	291 75.0	39 10.1	32 8.2	22 5.7	4 1.0	388 100.0
	85歳～89歳	106 54.1	36 18.4	35 17.9	19 9.7	- -	196 100.0
	90歳以上	30 28.3	19 17.9	41 38.7	15 14.2	1 0.9	106 100.0
	計	2,094 85.7	121 5.0	135 5.5	79 3.2	14 0.6	2,443 100.0

#### (4) 居住地域

圏域・地域	件数(人)	%
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	136	5.6
東部、山室	148	6.1
西田地方、堀川、光陽	133	5.4
堀川南、蜷川	125	5.1
奥田、奥田北	136	5.6
桜谷、五福、神明	139	5.7
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	130	5.3
針原、豊田	142	5.8
広田、新庄、新庄北	130	5.3
藤ノ木、山室中部	120	4.9
太田、新保、熊野、月岡	141	5.8
四方、八幡、草島、倉垣	137	5.6
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	132	5.4
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	134	5.5
(富山地域 計)	1,883	77.1
大沢野地域、細入地域	137	5.6
大山地域	137	5.6
八尾地域、山田地域	136	5.6
婦中地域	138	5.6
無回答	12	0.5
計	2,443	100.0



## Ⅱ 調査結果の要約



## II 調査結果の要約

### 1 家族や生活状況について

#### (1) 家族の状況

##### ① 家族構成<問1(1)>

誰と一緒に暮らしているかきいたところ、「1人暮らし」が13.8%となっており、同居している人では「配偶者(夫・妻65歳以上)」が58.6%、「配偶者(夫・妻65歳以下)」が6.8%と、配偶者と同居している人が65.4%となっている。また、「息子」が28.4%、「孫」が15.1%、「娘」と「子の配偶者」がそれぞれ13.5%などとなっている。

男女別にみると、女性は「1人暮らし」が18.3%と、男性の9.3%に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど配偶者と同居している人が多く、年代が高いほど「1人暮らし」が多く、同居している人では「息子」、「子の配偶者」が多い傾向にある。

同居者の状況により、「1人暮らし」、「高齢者のみ世帯」、「家族など同居」、「施設入所」の4類型に分類すると、「1人暮らし」が13.1%、「高齢者のみ世帯」が33.9%、「家族など同居」が47.9%、「施設入所」が2.0%となっている。

##### ②日中、高齢者のみになることがあるか<問1(1)①>

家族など同居しているとした1,998人に日中、高齢者のみになることがあるかきいたところ、「よくある」が44.2%、「たまにある」が25.7%、「ない」が9.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が31.0%と他の年代に比べて少なくなっている。

##### ③日中、一人になることがあるか<問1(1)②>

家族など同居しているとした1,998人に日中、一人になることがあるかきいたところ、「よくある」が29.8%、「たまにある」が39.3%、「ない」が14.5%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が33.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が19.7%と他の年代に比べて少なくなっている。

#### (2) 介護・介助の必要性<問1(2)>

普段の生活で介護・介助が必要かきいたところ、「介護・介助は必要ない」が76.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.7%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が11.6%となっている。

男女別にみると、女性は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が14.2%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が多くなっており、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した人は、「85~89歳」で38.3%、「90歳以上」で56.6%に達する。

同居状況別にみると、「施設入所」で「現在、何らかの介護・介助を受けている」が70.0%と多くなっている。

### (3) 介護・介助が必要になった原因<問1(2)①>

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が21.9%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.6%、「認知症(アルツハイマー病等)」が19.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が16.3%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「がん(悪性新生物)」、「呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)」が多く、女性は男性に比べて「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、関節の病気(リウマチ等)が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「高齢による衰弱」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。また、「70~74歳」で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が29.5%と多い。

前回調査と比較すると、「骨折・転倒」が前回5位から今回2位に順位を上げ、「脳卒中」が前回2位から今回4位へ順位を下げている。

### (4) 主な介護・介助者<問1(2)②>

主な介護・介助者については、「介護サービスのヘルパー」が35.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が34.6%、「息子」が24.0%、「娘」が23.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者(妻)」が多く、女性は男性に比べて「娘」、「子の配偶者」、「介護サービスのヘルパー」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者(夫・妻)」が多く、年代が高いほど「子の配偶者」が多い傾向にある。

### (5) 介護・介助をしている人の年齢<問1(2)③>

主に介護・介助をしている人の年齢については、「65歳未満」が39.2%、「65~74歳」が25.8%、「75~84歳」が15.5%、「85歳以上」が8.1%となっており、「65歳以上」が49.4%、「75歳以上」が23.6%となっている。

男女別にみると、男性は「75~84歳」が25.7%と女性に比べて多く、女性は「65歳未満」が44.3%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「70~74歳」で「65歳以上」が84.3%と多くなっている。

### (6) 住居の形態<問1(3)>

住居の形態については、「持ち家(一戸建て)」が87.7%と際立って多くなっている。その他、「持ち家(集合住宅)」が2.2%、「公営賃貸住宅」が2.1%、「民間賃貸住宅(一戸建て)」が1.0%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が1.2%、「借間」が0.2%、「介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設)」が0.4%、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が1.6%となっており、施設入所が合わせて2.0%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」は「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が7.5%と他の年代に比べて多い。

#### (7) 現在の暮らしの状況<問1(4)>

現在の暮らしの状況については、「苦しい」が9.9%、「やや苦しい」が21.1%と苦しいとした人が31.0%となっており、「ふつう」が56.1%、「ややゆとりがある」が5.8%、「ゆとりがある」が3.0%となっている。

男女別にみると、男性は「苦しい」、「やや苦しい」が合わせて34.2%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「70から74歳」で「苦しい」、「やや苦しい」が合わせて38.2%と他の年代に比べて多くなっている。

#### (8) 生活の中で不安に思うこと<問1(5)>

生活の中で不安に思うことについては、「病気に関する不安」が58.2%と最も多く、次いで「認知症になることへの不安」が51.7%、「寝たきりになることへの不安」が48.6%、「経済（生活費など）に関する不安」が26.9%の順となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「寝たきりになることへの不安」、「認知症になることへの不安」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「病気に関する不安」、「経済（生活費など）に関する不安」が多い傾向にあり、年代が高いほど「寝たきりになることへの不安」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は「住宅の維持管理（除雪、庭木の手入れ、修繕など）に関する不安」、「いざという時に頼れる人がいないことへの不安」、「孤独に関する不安（ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど）」が多く、「施設入所」は「寝たきりになることへの不安」が他と比べて多くなっている。

前回調査と比較すると、「認知症になることへの不安」が前回の3位から今回は2位に、「経済（生活費など）に関する不安」が前回の5位から今回は4位に順位を上げている。

#### (9) 現在の住まいで困っていること<問1(6)>

現在の住まいで困っていることについては、「冬期の除雪」が22.8%と最も多く、次いで「住宅の修繕などの維持・管理」が21.3%、「庭木の手入れや除草」が20.1%、「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が19.6%の順となっており、「特に困っていることはない」が35.8%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が2番目に多くなっている。

年齢別にみると、「65～74歳」で「住宅の修繕などの維持・管理」が最も多くなっている。また、年代が高いほど「玄関や敷居等の段差」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「冬期の除雪」、「庭木の手入れや除草」が多くなっている。一方、「施設入居」は「特に困っていることはない」が52.0%と多くなっている。

住居の形態別にみると、「持ち家（一戸建て）」は「冬期の除雪」、「住宅の修繕などの維持・管理」、「庭木の手入れや除草」が他と比べて多くなっている。一方、「持ち家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は、「特に困っていることはない」が6割を超えている。

地域別にみると、「大山地域」は「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が54.7%

と多く、「大沢野地域、細入地域」は「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」が17.5%と、他の地域に比べて多くなっている。

## 2 毎日の生活について

### (1) 新聞や本、雑誌を読んでいるか<問2(1)>

新聞や本、雑誌を読んでいるかについては、「はい(読んでいる)」が86.7%、「いいえ(読んでいない)」が9.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい(読んでいる)」が少なく、「85~89歳」で79.6%、「90歳以上」で70.8%となっている。

### (2) 趣味や生きがいはあるか<問2(2)>

趣味や生きがいがあるかについては、「はい(ある)」が65.9%、「いいえ(ない)」が27.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい(ある)」が少ない傾向にあり、「85~89歳」と「90歳以上」で約5割となっている。

### (3) 運動を行う頻度<問2(3)>

運動(散歩など軽い運動を含む)を行う頻度については、「ほぼ毎日」が19.4%、「週4~5日」が10.7%、「週2~3日」が23.3%、「週1日」が7.7%であり、週1日以上運動している人は61.1%となっている。一方、「以前はしていたが、現在はしていない」と「全くしていない」がそれぞれ16.0%となっている。

男女別にみると、週1回以上している人は男女とも約6割となっている。

年齢別にみると、「75~79歳」で週1日以上している人が68.0%と他の年代に比べて多くなっている。一方、「90歳以上」は週1日以上している人が41.5%と他の年代に比べて少なく、「以前はしていたが、現在はしていない」が22.6%、「全くしていない」が29.2%と多くなっている。

### (4) 外出の頻度<問2(4)>

外出する頻度については、「ほぼ毎日」が29.2%、「週4~5日」が18.0%、「週2~3日」が30.0%、「週1日」が9.6%、「週1日未満」が8.4%となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が34.2%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど外出頻度が高く、「65~69歳」で「ほぼ毎日」が40.8%、「70~74歳」で34.8%などとなっている。一方、「90歳以上」は「ほぼ毎日」が7.5%と少なく、「週1日未満」が24.5%と多くなっている。

### (5) 外出回数の変化<問2(5)>

昨年と比べて外出回数が減っているかについては、「とても減っている」が5.4%、「減っている」が22.6%と合わせて28.0%が減少していたとしている。一方、「あまり減っていない」が35.5%、「減っていない」が32.5%となっており、男女別にみると、女性は減少しているとした人が31.4%と、男性に比

べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど外出回数が減った人が多く、「65～74 歳」は約 2 割であるのに対し、「85～89 歳」で 48.0%、「90 歳以上」で 51.8%となっている。

#### (6) 外出回数が減った理由<問 2 (5) ①>

外出回数が減った理由については、「足腰などの痛み」が 42.5%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が 16.5%、「病気」が 15.1%、「交通手段がない」が 11.0%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」が多く、女性は男性に比べて「足腰などの痛み」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「足腰などの痛み」、「耳の障害（聞こえの問題など）」が多く、年代が低いほど「経済的に出られない」が多い傾向にある。

#### (7) 外出の際の移動手段<問 2 (6)>

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 58.9%と最も多く、次いで「徒歩」が 33.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 23.5%、「自転車」が 19.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自動車（自分で運転）」が 76.9%と、女性に比べて多くなっている。一方、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が 35.7%、「路線バス」が 19.4%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「自動車（自分で運転）」が多く、「65～69 歳」で 79.1%、「70～74 歳」で 70.6%であるのに対し、「90 歳以上」で 8.5%となっている。また、年代が高いほど「自動車（人に乗せてもらう）」が多く、「85 歳以上」で約 5 割となっている。

地域別にみると、「富山地域」は「徒歩」と「自転車」、「大沢野・細入地域」は「路線バス」、「大山地域」は「電車」、「八尾、山田地域」は「自動車（自分で運転）」がそれぞれ他の地域と比べて多くなっている。

#### (8) 1人で外出しているか<問 2 (7)>

バスや電車を使って 1人で外出しているかについては、「できるし、している」が 67.1%、「できるけどしていない」が 14.2%、「できない」が 12.9%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が 72.8%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85～89 歳」で 33.7%、「90 歳以上」で 17.9%となっている。また、「できない」が「85～89 歳」で 40.8%、「90 歳以上」で 67.0%となっている。

#### (9) 友人・知人と会う頻度<問 2 (8)>

友人や知人と会う頻度については、「週 4 回以上」が 13.3%、「週 2～3 回」が 22.3%、「週 1 回」が 14.5%、「月 1～3 回」が 17.9%、「年に数回」が 16.0%、「会っていない」が 12.6%となっている。

男女別にみると、週 1 回以上とした人は男性 45.9%、女性 54.2%と、女性の方が多くなっている。

年齢別にみると、週 1 回以上とした人は「70～85 歳」で 5 割台と多く、「85～89 歳」で 35.2%、「90 歳以上」で 31.2%と少なくなっている。

#### (10) 家族や友人の相談にのっているか<問2(9)>

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい(のっている)」が68.2%、「いいえ(のっていない)」が27.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい(のっている)」が少なくなっており、「85~89歳」で49.5%、「90歳以上」で34.9%となっている。

#### (11) 日用品の買物をしているか<問2(10)>

日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が71.2%、「できるけどしていない」が15.9%、「できない」が10.8%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が77.9%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85~89歳」で44.9%、「90歳以上」で23.6%となっている。また、「できない」が「85~89歳」で34.2%、「90歳以上」で58.5%となっている。

#### (12) 代わりに買い物をする人<問2(10)①>

代わりに日用品の買物をする人については、「同居の家族」が76.2%と大半を占め、「別居の家族」が7.2%、「ヘルパー」が2.9%、「配達を依頼」が1.5%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が81.6%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が12.1%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。

#### (13) 自分で食事の用意ができるか<問2(11)>

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が55.7%、「できるけどしていない」が23.6%、「できない」が17.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が78.6%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85~89歳」で36.2%、「90歳以上」が57.5%となっている。

#### (14) 主に食事の用意をする人<問2(11)①>

主に食事の用意をする人については、「同居の家族」が86.0%と大半を占め、「別居の家族」が1.5%、「ヘルパー」が1.3%、「配食サービス利用」が2.3%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が91.9%と女性に比べて多く、女性は「配食サービス利用」が7.0%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。また、「90歳以上」で「配食サービス利用」が8.4%と多くなっている。

#### (15) 運動機能<問2(12)>

運動機能についてみると、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」が57.1%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」が61.4%、「5m以上歩ける」が61.9%、「15分くらい続けて歩け

る」が69.1%となっている。

#### (16) 支払いを自分でしているか<問2(13)>

買い物などの請求書の支払いを自分でしているかについては、「できるし、している」が74.9%、「できるけどしていない」が14.1%、「できない」が8.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が81.9%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で26.5%、「90歳以上」で45.3%となっている。

#### (17) 預貯金の出し入れを自分でしているか<問2(14)>

預貯金の出し入れを自分でしているかについては、「できるし、している」が75.2%、「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が9.3%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が82.3%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で26.5%、「90歳以上」で49.1%となっている。

#### (18) 家庭における役割<問2(15)>

家庭内での役割については、「掃除」が56.0%と最も多く、次いで「洗濯」が49.4%、「炊事」が48.3%、「庭や植栽の管理」が44.1%の順となっている。一方、「ない」が16.2%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「庭や植栽の管理」が多く、女性は男性に比べて「掃除」、「洗濯」、「炊事」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど家庭内で役割を持つ人が多くなっているが、役割が「ない」とする人は、「85～89歳」で28.6%、「90歳以上」で52.8%となっている。

### 3 健康について

#### (1) 現在の健康状態<問3(1)>

現在の健康状態については、「とてもよい」が8.0%、「まあよい」が66.0%、「あまりよくない」が18.4%、「よくない」が4.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「あまりよくない」、「よくない」が多い傾向にあり、「85～89歳」は「あまりよくない」が28.6%、「よくない」が9.7%、「90歳以上」は「あまりよくない」が23.6%、「よくない」が10.4%となっている。

#### (2) 現在治療中または後遺症のある病気<問3(2)>

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が38.4%と最も多く、次いで「目の病気」が17.7%、「糖尿病」が14.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が14.0%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」が多く、女性は男性に比べて「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「高脂血症(脂質異常)」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「高脂血症(脂質異常)」が多く、年代が高いほど「筋骨格の病気(骨

粗しょう症、関節症等)」、「心臓病」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。

### (3) 健康づくりや介護予防のためにしていること<問3(3)>

健康づくりや介護予防のためにしていることについては、「休養や睡眠を十分とるようにしている」が57.7%と最も多く、次いで「運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている」が54.4%、「健康診断を受診している」が51.9%、「規則的な生活を心がけている」が51.3%の順となっている。一方、「特になし」が8.0%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている」、「酒やタバコを控えている」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流を大切にしている」、「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」が多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」は「運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている」が最も多く、それ以上の年代では「休養や睡眠を十分とるようにしている」が最も多くなっている。また、年代が低いほど「バランスのよい栄養摂取(食事、サプリメント)を意識している」、「生活の中でなるべく体を使うようにしている(エレベーターや車を使わないなど)」が多い傾向にある一方、「特になし」が「85～90歳」と「90歳以上」で約2割と多くなっている。

### (4) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと<問3(4)>

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについては、「運動(散歩など軽い運動を含む)」が54.4%と最も多く、次いで「友人との交流」が29.6%、「趣味や教養活動」が27.3%、「働くこと」が18.8%の順となっており、「特になし」は14.8%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動(散歩など軽い運動を含む)」、「働くこと」、「地域活動(長寿会や自治会活動を含む)」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」が多くなっている。

年齢別にみると、全年代で「運動(散歩など軽い運動を含む)」が最も多くなっている。また、年代が高いほど、「特になし」が多い傾向にあり、「85～89歳」で25.0%、「90歳以上」で54.7%となっている。

### (5) 口腔の状態<問3(5)>

口腔の状態については、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が23.6%、「お茶や汁物などでむせることがある」が16.8%、「口の渇きが気になる」が16.9%、「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」が60.3%、「定期的に歯科受診をしている(健診を含む)」が27.1%となっている。

### (6) 歯の状況<問3(6)>

歯の本数と入れ歯の使用状況については、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.9%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が24.6%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が44.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.6%となっている。自分の歯が20本以上の人は38.5%、19本以下の人が53.9%である。一方、入れ歯を使用している人は58.2%、使用していない人は34.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、自分の歯が20本以上の人は、年代が高いほど少なくなっており、「65歳～69歳」で半数を超えているものの、「70歳以上」で半数を下回り、「80～89歳」で2割台、「90歳以上」では11.3%

となっている。また、入れ歯の使用状況については、年代が高いほど使用している人が多い傾向にあり、「65～69歳」は46.2%であるのに対し、「85～89歳」で69.9%、「90歳以上」で78.3%となっている。

#### (7) 転倒（予防）＜問3（7）＞

転倒（予防）については、「この1年間に転んだことがある」が20.6%、「転倒に対する不安は大きい」が26.2%、「背中が丸くなってきた」が26.5%、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」が55.5%となっている。

#### (8) 物忘れ＜問3（8）＞

物忘れの状況については、「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる」が13.5%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」が57.1%、「今日が何月何日かわからない時がある」が16.8%、「5分前のことが思い出せない」が8.7%となっている。

#### (9) 気分が沈んだり憂うつになったこと ＜問3（9）＞

この1か月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい（あった）」が30.1%、「いいえ（なかった）」が63.3%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（あった）」が34.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「はい（あった）」とする人は、「85～89歳」と「90歳以上」で37%台と多くなっている。

#### (10) 物事に対して興味がわかなかったこと ＜問3（10）＞

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい（あった）」が21.5%、「いいえ（なかった）」が70.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「はい（あった）」とする人は「65～84歳」で約2割である一方、「85～89歳」と「90歳以上」で3割台半ばとなっている。

### 4 社会参加について

#### (1) 社会参加活動への参加頻度＜問4（1）＞

各種社会参加活動への参加状況についてきいたところ、週1回以上参加しているとした人は「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が18.0%と最も多く、「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.4%、「趣味関係のグループ」が10.9%となっている。その他の活動については1割を下回っている。

また、年に数回以上参加しているとした人は、「町内会・自治会」で31.9%と最も多く、「趣味関係のグループ」が24.0%、「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が21.3%、「スポーツ関係のグループやクラブ」20.2%、「老人クラブ」が19.8%となっているが、「子育てしている親を支援する活動」が6.1%、「見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動」が5.6%と少なくなっている。

#### (2) 地域づくり活動への参加（世話役として）＜問4（2）＞

いきいきとした地域づくり活動にお世話役として参加してみたいかについては、「是非参加したい」が4.0%、「参加してもよい」が33.4%、「参加したくない」が52.4%となっている。

男女別にみると、女性は「参加したくない」が57.0%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「是非参加したい」と「参加してもよい」が多くなっており、合わせると「65～79歳」は4割台と多い一方、「85～89歳」で18.4%、「90歳以上」で6.6%と少なくなっている。

### (3) 地域づくり活動への参加（参加者として）＜問4（3）＞

いきいきとした地域づくり活動に参加者として参加してみたいかについては、「是非参加したい」が6.3%、「参加してもよい」が48.5%、「参加したくない」が37.9%となっている。

男女別にみると、女性は「参加したくない」が41.2%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「是非参加したい」と「参加してもよい」が多くなっており、合わせると「65～79歳」は6割台と多い一方、「85～89歳」で34.2%、「90歳以上」で10.3%と少なくなっている。

## 5 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人＜問5（1）＞

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が53.9%と最も多く、次いで「友人」が30.0%、「別居の子ども」が26.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.7%、「同居の子ども」が19.9%などとなっており、「そのような人はいない」は4.6%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が71.0%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、年代が高いほど「別居の子ども」、「同居の子ども」が多い傾向にある。

### (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人＜問5（2）＞

反対に心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が49.7%と最も多く、次いで「友人」が31.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.6%、「別居の子ども」が24.0%、「同居の子ども」が16.8%などとなっており、「そのような人はいない」は8.8%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が66.8%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多い傾向にある。

### (3) 看病や世話をしてくれる人＜問5（3）＞

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が58.9%と最も多く、次いで「同居の子ども」が28.2%、「別居の子ども」が24.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.3%などとなっており、「そのような人はいない」は5.6%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が76.7%と女性に比べて際立って多く、女性は「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」が多く、年代が高いほど「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

#### (4) 看病や世話をしあける人<問5 (4)>

反対に、看病や世話をしあける人については、「配偶者」が60.0%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.0%、「同居の子ども」が20.7%、「別居の子ども」が16.5%、などとなっており、「そのような人はいない」は13.4%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が72.6%と女性に比べて多く、女性は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」、「別居の子ども」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

#### (5) 家族や友人・知人以外の相談相手<問5 (5)>

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が21.4%と多く、「地域包括支援センター・市役所」が17.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が13.2%、「ケアマネージャー」が10.3%などとなっており、「そのような人はいない」が34.4%となっている。

男女別にみると、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」が女性に比べて多く、女性は「ケアマネージャー」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で、「そのような人はいない」が46.7%と多くなっている。

## 6 認知症について

### (1) 認知症について知っていること<問6 (1)>

認知症について知っていることについては、「40代、50代の若年者でも発症することがある」、「脳の病気を原因疾患とする誰でも起こりうる病気」、「加齢による物忘れと認知症の物忘れは違う」がそれぞれ67%前後と多く、「早期受診・治療等により症状の改善や進行を遅らせることが可能な場合がある」と「患者が増加傾向にある」も6割超となっており、各項目で半数を超えている。一方、「どれも知らない」は4.4%となっている。

男女別にみると、男性は「周囲の適切な関わりによって症状の進行を緩和できる可能性がある」が半数を下回っている。

年齢別にみると、年代が高いほど各項目で少ない傾向にある一方、「どれも知らない」が「85～89歳」で12.2%、「90歳以上」で18.9%となっている。

### (2) 認知症発症による不安なこと<問6 (2)>

自分や家族が認知症になった場合、不安に思うことについては、「これまでできていたことができなくなる」が68.1%と最も多く、次いで「家族に迷惑をかけてしまう」が64.9%、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」が60.5%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまう」が43.7%、「治療や介護等に金銭的負担がかかる」が41.1%の順となっている。

男女別にみると、女性は「自宅で生活できなくなる」が39.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」、「治療や介護等に金銭的負担がかかる」が多い傾向にある。

### (3) 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援<問6(3)>

認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思うかについては、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が56.2%と最も多く、次いで「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が44.3%、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」が36.1%、「地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）」が29.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は「地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）」が女性に比べて多く、女性は「認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」が多くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」と「施設入所」は「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が最も多くなっている。

## 7 高齢者福祉について

### (1) 地域包括支援センターの利用状況<問7(1)>

地域包括支援センターを利用したことがあるかについては、「利用したことがある」が22.3%、「知っているが利用したことはない」が45.6%、「知らない」が25.7%となっている。

男女別にみると、女性は「利用したことがある」が27.8%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「利用したことがある」とした人が多い傾向にあり、「85～89歳」と「90歳以上」で44%台となっている。

圏域別にみると、「総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町」、「水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条」、「呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多」、「奥田、奥田北」、「四方、八幡、草島、倉垣」で「利用したことがある」が2割台後半と他の地域に比べて多く、「西田地方、堀川、光陽」、「東部、山室」、「広田、新庄、新庄北」、「婦中地域」で「知らない」が3割超となっている。

### (2) 地域包括支援センターに相談したい用件<問7(2)>

地域包括支援センターにどのような用件で相談したいかについては、「介護に関すること（介護保険制度を含む）」が54.2%と最も多く、次いで「各種福祉サービスに関すること」が38.5%、「入院・入所に関すること」が31.2%、「認知症に関すること」が22.3%の順となっている。

男女別にみると、女性は「病院・施設からの退院・退所に関すること」が19.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「経済（生活費など）に関すること」が多い傾向にある。

### (3) 望ましい介護の生活形態<問7(3)>

介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思うかについては、「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が23.6%、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が30.7%、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が7.5%、

「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい」が11.7%、「特別養護老人ホームなどで、安心した生活を送りたいが、個室にはこだわらない」が6.8%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい」が4.2%などとなっており、約6割の人が、住み慣れた地域での生活を望んでいる。

男女別にみると、男性は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が28.5%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「85～89歳」と「90歳以上」で「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」がそれぞれ28.6%、34.0%と最も多くなっている。

同居状況別にみると、「家族など同居」の人は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が27.4%と多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい」が12.4%と、受けている人に比べて多くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」人は、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が66.5%と、他に比べてやや多くなっている。

前回調査と比較すると、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が前回の2位から今回は1位に、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が前回の6位から今回は4位に順位を上げている。

#### **（4）介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと<問7（4）>**

介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なことについては、「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が48.3%と最も多く、次いで「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が46.7%、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が39.9%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多く、女性は男性に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多い傾向にある。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」がやや多くなっている。一方、受けていない人は「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が多くなっている。

#### **（5）住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な支援やサービス<問7（5）>**

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス等については、「声かけや見守りサービス」が33.2%と最も多く、次いで「買物代行や配達、移動販売」、「配食サービス」、「食事の準備・調理・片付け」、「日常の相談相手」がそれぞれ22～23%台となっている。

男女別にみると、男性は「食事の準備・調理・片付け」が26.6%と女性に比べて多く、女性は「買物代行や配達、移動販売」が26.3%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「80～84歳」で「除雪」が21.6%、「85～89歳」で「日常の相談相手」が25.0%、「掃除・洗濯」が19.9%と他の年代に比べて多くなっている。

#### (6) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援<問7(6)>

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、どのような見守りや支援が必要だと思うかについては、「緊急時の連絡・援助体制」と「地域ぐるみで行う日常的な訪問や見守り」が3割台と多くなっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「地域ぐるみで行う日常的な訪問や見守り」が多くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が多い。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は「緊急時の連絡・援助体制」が36.7%と、他に比べて多くなっている。

#### (7) 地域の高齢者の見守り等への参加<問7(7)>

地域における高齢者の見守り等の支援活動に参加できるかについては、「できる」が14.8%、「できない」が31.0%、「どちらともいえない」が36.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できない」が35.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できる」が少なくなる傾向にあり、「85～89歳」で5.6%、「90歳以上」で「できる」と回答した人はいなかった。

#### (8) 介護保険制度における費用負担の考え方<問7(8)>

介護保険制度における費用負担の考え方については、「現状程度の費用負担が適当である」が34.1%、「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が33.9%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が12.5%などとなっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「現状程度の費用負担が適当である」が多く、「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が少なくなる傾向にある。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は「現状程度の費用負担が適当である」が42.7%と多く、要介護認定を受けていない人は「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が35.6%と多くなっている。

前回調査と比較すると、「現状程度の費用負担が適当である」が前回59.7%から今回34.1%と少なくなっている一方、「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が前回19.3%から今回33.9%と多くなっている。

#### (9) 身近に整備してほしい介護・福祉施設<問7(9)>

身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等については、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設(小規模多機能型居宅介護)」が37.7%と最も多く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が32.5%、「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が28.4%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が26.1%の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「80～84歳」で「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの

施設」が 35.1%と最も多くなっている。また、「85～89 歳」で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が 29.1%と他の年代に比べて多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が 29.3%と、受けている人に比べて多くなっている。

## 8 医療について

### (1) 通院状況

#### ① 通院の頻度<問 8 (1)>

病院・医院（診療所、クリニック）への通院状況については、「週 1 回以上」が 5.5%、「月 2～3 回」が 13.5%、「月 1 回程度」が 41.8%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 11.7%、「3 ヶ月に 1 回程度」が 5.4%となっている。また、「通院していない」が 14.9%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「80～84 歳」で「週 1 回以上」が 8.0%、「月 2～3 回」が 20.9%と他の年代に比べて多くなっている。

#### ②通院している医療機関数<問 8 (1) ①>

通院している医療機関数については、「1 ヶ所」が 41.8%、「2 ヶ所」が 33.5%、「3 ヶ所」が 12.5%、「4 ヶ所」が 2.3%、「その他（5 ヶ所以上）」が 0.4%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、2 ヶ所以上とした人は「75～84 歳」で半数を超えている。

### (2) かかりつけ医の有無<問 8 (2) ①>

身近に何でも相談できる「かかりつけ医」がいるかについては、「いる」が 65.7%、「いない」が 25.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「いる」が多い傾向にあり、「80～89 歳」で 71.4%、「90 歳以上」で 77.4%となっている。

### (3) かかりつけ医に求めること<問 8 (2) ②>

かかりつけ医に求めることについては、「気兼ねなく話せる」が 51.0%と最も多く、次いで「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」が 44.6%、「自身の病歴等を把握している」が 44.5%、「詳しい説明をしてくれる」が 40.9%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自身の病歴等を把握している」が 47.5%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69 歳」で「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」が 50.1%と最も多くなっている。

### (4) 病気になった場合の希望療養先<問 8 (3)>

病気になった場合、どこでの療養を希望するかについては、「自宅で最後まで療養したい」が 7.5%、「自宅で療養して必要な時に医療機関に入院」が 53.0%、「医療機関に入院」が 29.2%、「専門的医療機

関で積極的に治療を受けたい(がんセンターなど)」が 3.7%などとなっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90 歳以上」で「自宅で最後まで療養したい」が 17.0%と他の年代に比べて多くなっている。

#### (5) 自宅で療養する上での課題<問 8 (4)>

自宅で療養する場合にどんな不安や課題があるかについては、「家族への介護負担」が 67.5%と最も多く、次いで「病状急変時の対応が不安」が 39.5%、「経済的な負担」が 27.8%、「病状急変時の病院への入院受入」が 26.0%の順となっている。一方、「特にない」が 5.2%、「わからない」が 5.6%となっている。

男女別にみると、女性は「病状急変時の病院への入院受入」が 27.6%と 3 番目に多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「家族への介護負担」や「経済的な負担」が多い傾向にある。

#### (6) どこで最期を迎えたいか<問 8 (5)>

どこで最期を迎えることを望むかについては、「自宅」が 51.0%と最も多く、次いで「病院などの医療施設」が 29.3%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が 5.9%などとなっている。一方、「わからない」が 14.7%となっている。

男女別にみると、男性は「自宅」が 57.8%と女性に比べて多く、女性は「病院などの医療施設」が 32.7%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「自宅」が多い傾向にある一方、年代が低いほど「わからない」が多い傾向にある。

### Ⅲ 調査結果



### Ⅲ 調査結果

#### 1 家族や生活状況について

##### (1) 家族の状況

##### ① 家族構成

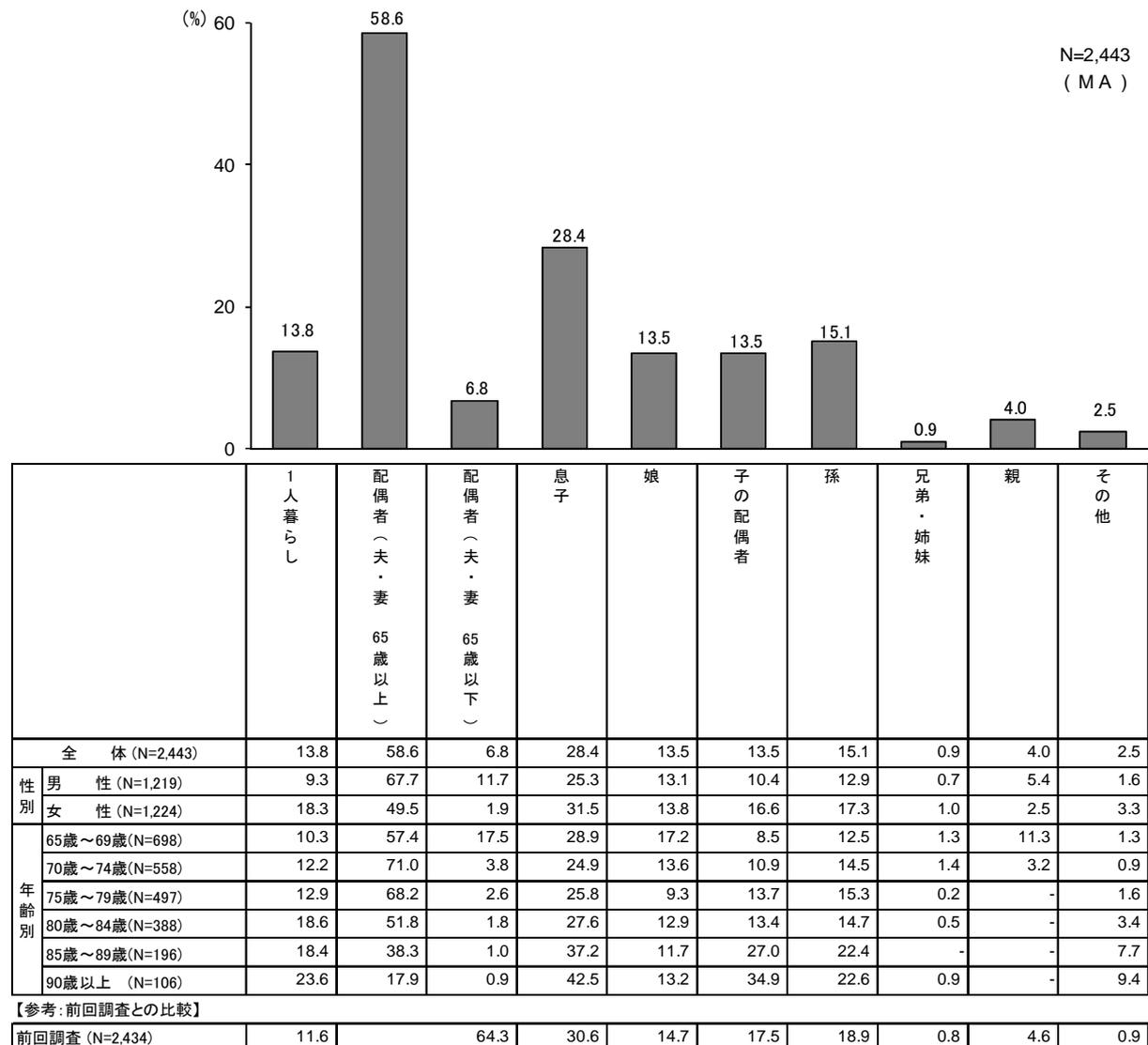
問1 (1) あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)

誰と一緒に暮らしているかきいたところ、「1人暮らし」が13.8%となっており、同居している人では「配偶者(夫・妻65歳以上)」が58.6%、「配偶者(夫・妻65歳以下)」が6.8%と、配偶者と同居している人が65.4%となっている。また、「息子」が28.4%、「孫」が15.1%、「娘」と「子の配偶者」がそれぞれ13.5%などとなっている。

男女別にみると、女性は「1人暮らし」が18.3%と、男性の9.3%に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど配偶者と同居している人が多く、年代が高いほど「1人暮らし」が多く、同居している人では「息子」、「子の配偶者」が多い傾向にある。

図表 1-1-1 家族構成



同居者の状況により、「1人暮らし」、「高齢者のみ世帯」、「家族など同居」、「施設入所」の4類型に分類すると、「1人暮らし」が13.1%、「高齢者のみ世帯」が33.9%、「家族など同居」が47.9%、「施設入所」が2.0%となっている。

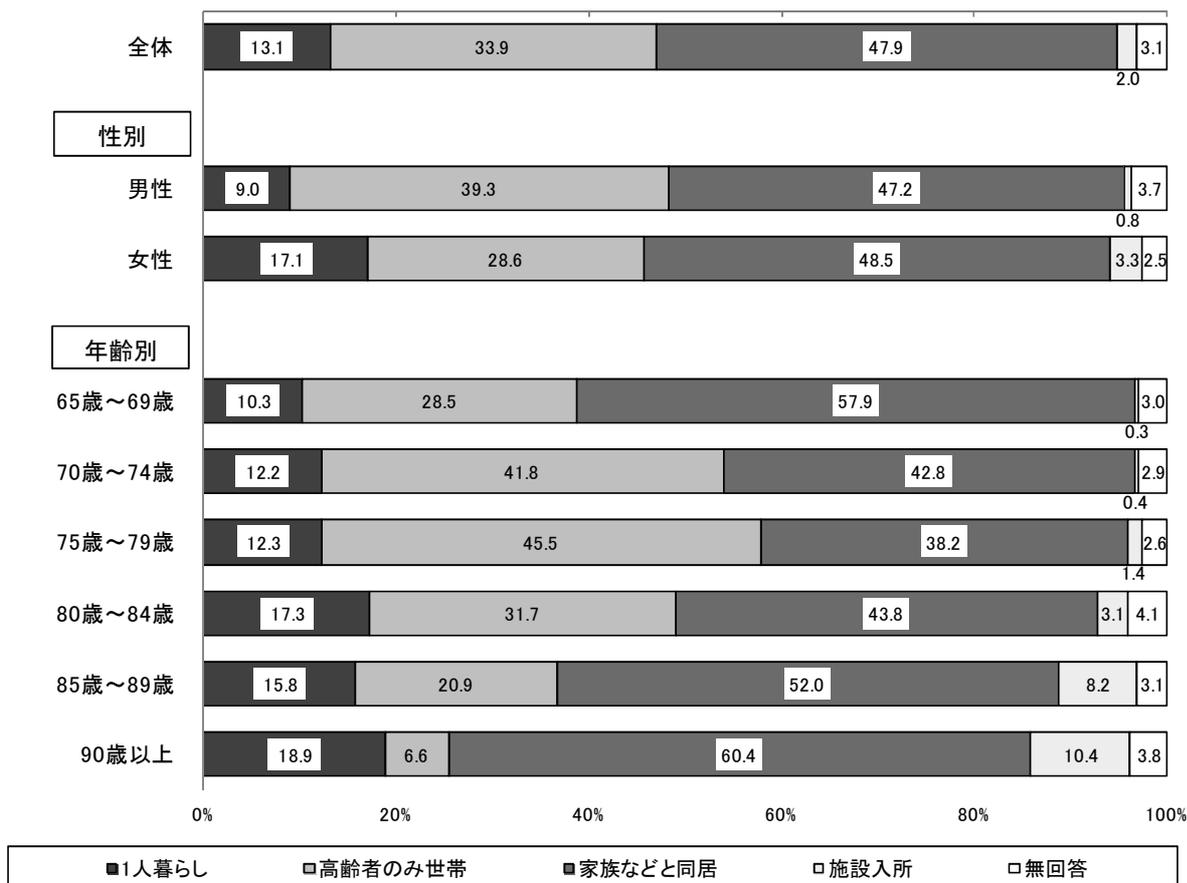
男女別にみると、女性は「1人暮らし」が17.1%と、男性の9.0%に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「1人暮らし」、「施設入所」が多い傾向にある。また、「70～79歳」で「高齢者のみ世帯」が4割台と多くなっている。

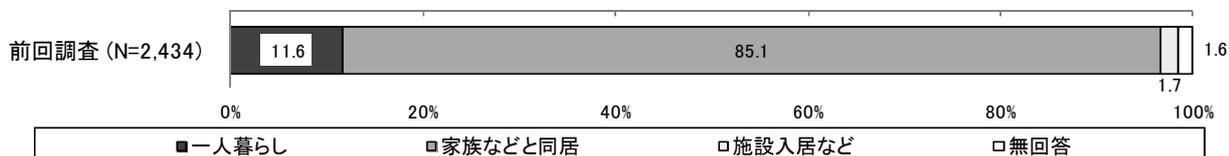
※同居状況の分類方法

1人暮らし	「1人暮らし」と回答した人のうち、下記「施設入所」以外の人
高齢者のみ世帯	本人と「配偶者（夫・妻65歳以上）」のみもしくは本人と「親」のみ
家族など同居	「1人暮らし」、「高齢者のみ世帯」、「施設入所」のいずれでもない人
施設入所	問1(3)で「7.介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」もしくは「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」と回答した人

図表 1-1-2 同居状況



<参考：前回調査(H26)との比較>



図表 1-1-3 同居状況【圏域別】

	1人暮らし	高齢者のみ世帯	家族など同居	施設入所	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	20.6	32.4	42.6	1.5	2.9
東部、山室 (N=148)	15.5	35.1	44.6	2.0	2.7
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	18.0	38.3	37.6	5.3	0.8
堀川南、蟻川 (N=125)	11.2	41.6	37.6	2.4	7.2
奥田、奥田北 (N=136)	20.6	36.0	37.5	2.2	3.7
桜谷、五福、神明 (N=139)	14.4	36.7	43.9	1.4	3.6
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	9.2	32.3	52.3	2.3	3.8
針原、豊田 (N=142)	16.2	33.1	44.4	2.8	3.5
広田、新庄、新庄北 (N=130)	13.8	40.8	41.5	2.3	1.5
藤ノ木、山室中部 (N=120)	8.3	36.7	50.0	3.3	1.7
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	9.9	35.5	50.4	2.1	2.1
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	11.7	29.9	55.5	-	2.9
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=132)	12.1	28.8	53.0	0.8	5.3
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=134)	9.0	34.3	50.0	3.0	3.7
大沢野地域、細入地域 (N=137)	13.1	36.5	43.8	2.2	4.4
大山地域 (N=137)	10.2	32.8	54.7	1.5	0.7
八尾地域、山田地域 (N=136)	7.4	23.5	65.4	-	3.7
婦中地域 (N=138)	13.8	26.8	55.8	1.4	2.2

## ②日中、高齢者のみになることがあるか

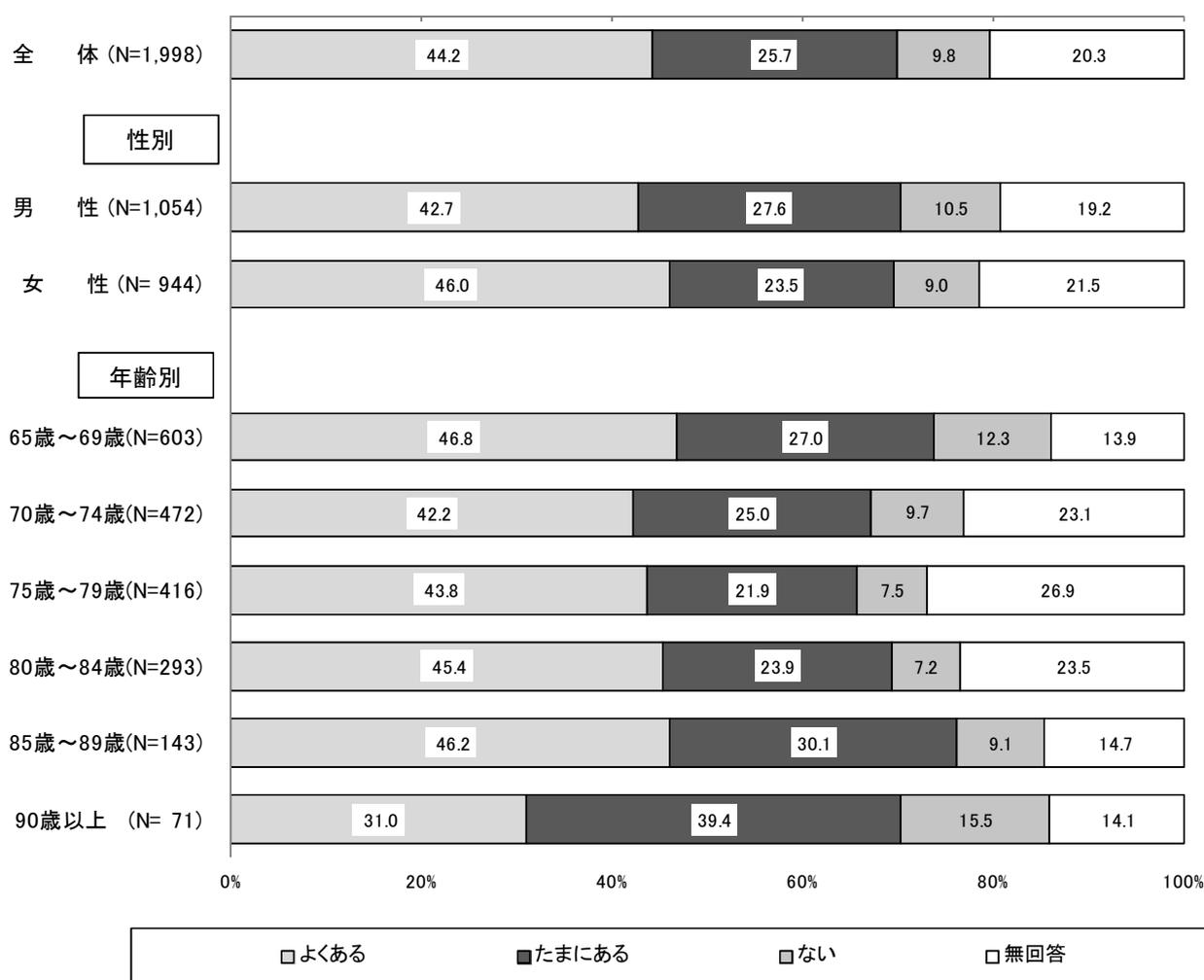
①日中、高齢者（65歳以上）のみになることがありますか。

家族などと同居しているとした1,998人に日中、高齢者のみになることがあるかきいたところ、「よくある」が44.2%、「たまにある」が25.7%、「ない」が9.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が31.0%と他の年代に比べて少なくなっている。

図表 1-2 日中、高齢者のみになることがあるか



### ③日中、一人になることがあるか

(家族などと同居されている方のみ)

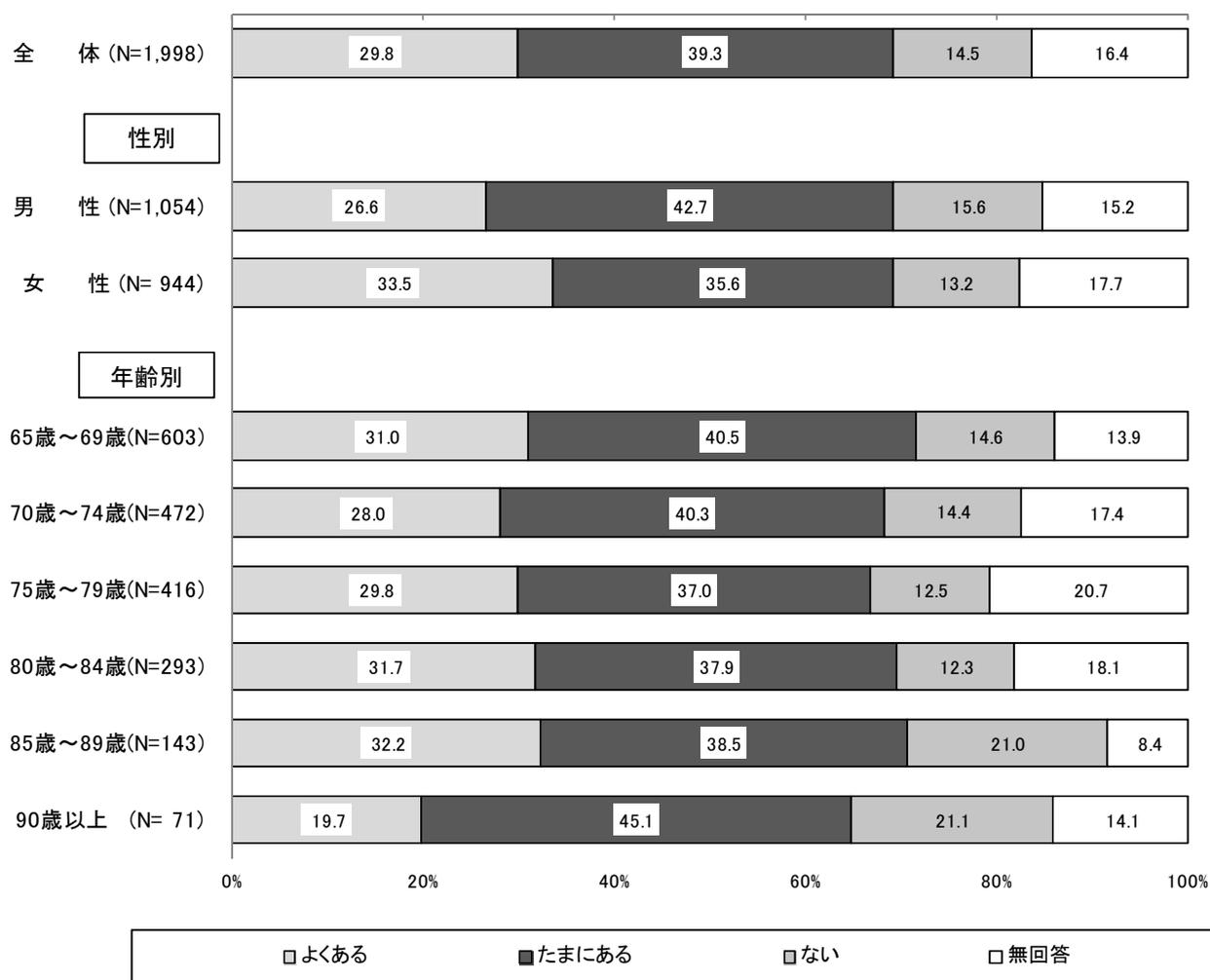
②日中、一人になることがありますか。

家族などと同居しているとした1,998人に日中、一人になることがあるかきいたところ、「よくある」が29.8%、「たまにある」が39.3%、「ない」が14.5%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が33.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が19.7%と他の年代に比べて少なくなっている。

図表 1-3 日中、一人になることがあるか



## (2) 介護・介助の必要性

問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

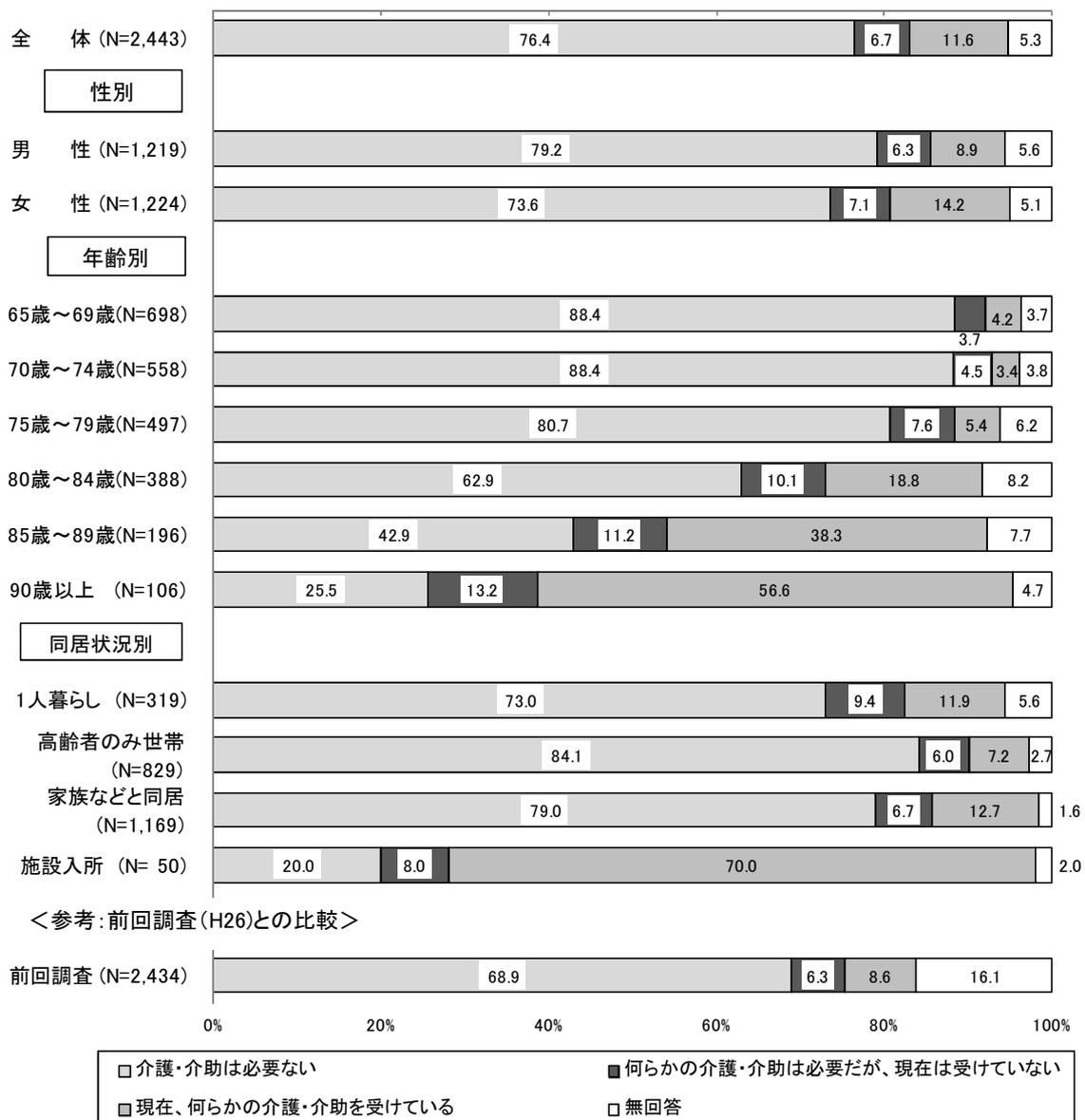
普段の生活で介護・介助が必要かきいたところ、「介護・介助は必要ない」が76.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.7%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が11.6%となっている。

男女別にみると、女性は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が14.2%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が多くなっており、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した人は、「85～89歳」で38.3%、「90歳以上」で56.6%に達する。

同居状況別にみると、「施設入所」で「現在、何らかの介護・介助を受けている」が70.0%と多くなっている。

図表 1-4 介護・介助の必要性



### (3) 介護・介助が必要になった原因

(介護・介助が必要な方・受けている方のみ)

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

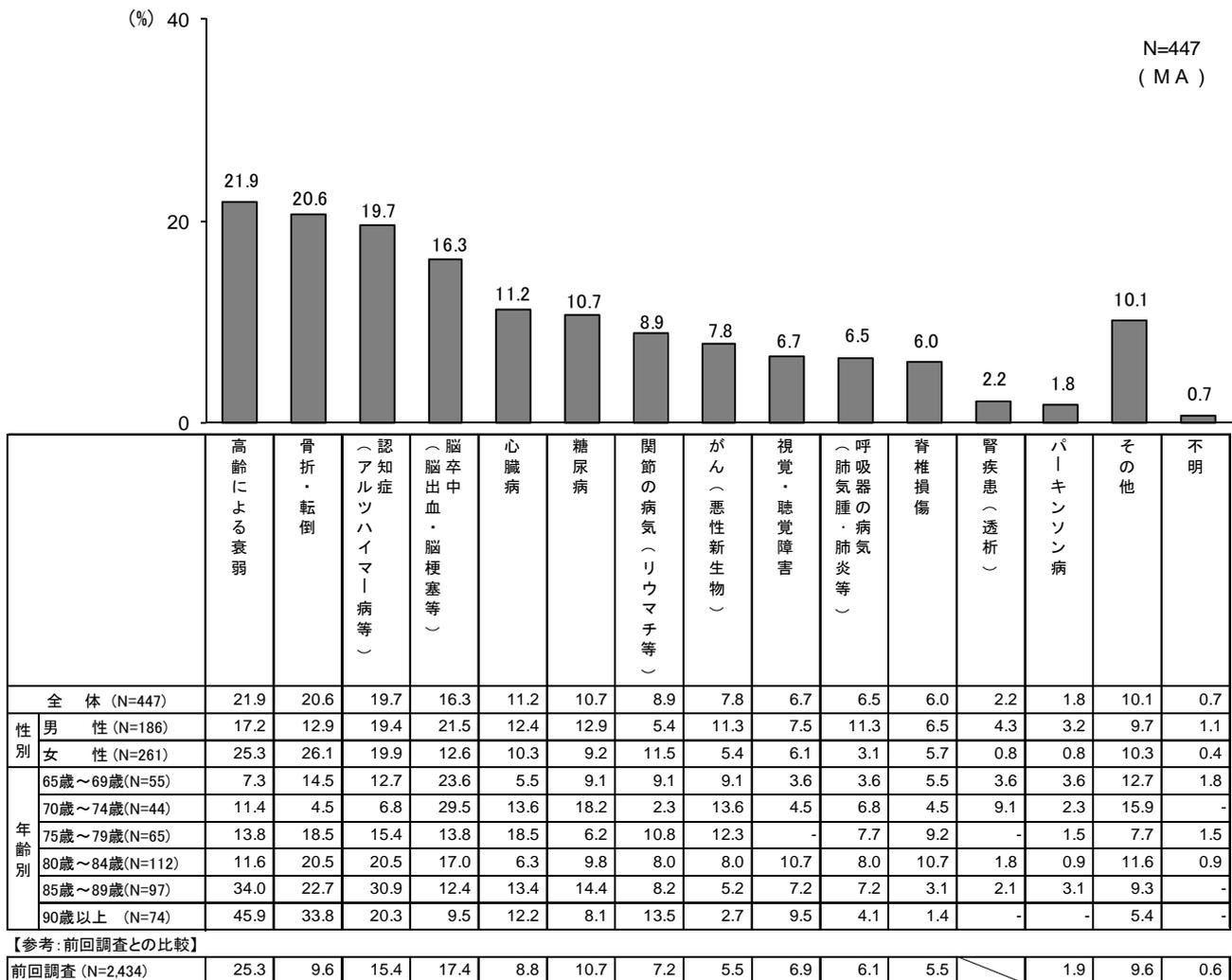
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した447人に、介助・介護が必要になった主な原因についてきいたところ、「高齢による衰弱」が21.9%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.6%、「認知症(アルツハイマー病等)」が19.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が16.3%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「がん(悪性新生物)」、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」が多く、女性は男性に比べて「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、関節の病気(リウマチ等)が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「高齢による衰弱」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。また、「70～74歳」で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が29.5%と多い。

前回調査と比較すると、「骨折・転倒」が前回5位から今回2位に順位を上げ、「脳卒中」が前回2位から今回4位へ順位を下げている。

図表 1-5 介護・介助が必要になった原因



(4) 主な介護・介助者

(介護・介助を受けている方のみ)

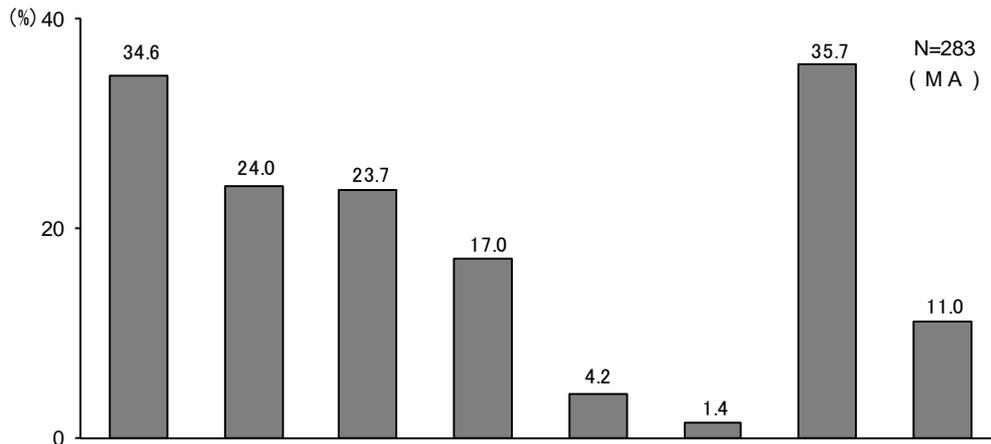
②主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した 283 人に、主な介護・介助者についてきいたところ、「介護サービスのヘルパー」が 35.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 34.6%、「息子」が 24.0%、「娘」が 23.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者(妻)」が多く、女性は男性に比べて「娘」、「子の配偶者」、「介護サービスのヘルパー」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者(夫・妻)」が多く、年代が高いほど「子の配偶者」が多い傾向にある。

図表 1-6 主な介護・介助者



		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他
全体 (N=283)		34.6	24.0	23.7	17.0	4.2	1.4	35.7	11.0
性別	男性 (N=109)	56.0	21.1	18.3	9.2	4.6	2.8	27.5	10.1
	女性 (N=174)	21.3	25.9	27.0	21.8	4.0	0.6	40.8	11.5
年齢別	65歳～69歳(N=29)	65.5	6.9	13.8	-	3.4	6.9	24.1	10.3
	70歳～74歳(N=19)	68.4	10.5	5.3	-	-	-	31.6	10.5
	75歳～79歳(N=27)	44.4	18.5	14.8	11.1	3.7	-	33.3	14.8
	80歳～84歳(N=73)	42.5	15.1	23.3	13.7	1.4	-	42.5	8.2
	85歳～89歳(N=75)	25.3	33.3	29.3	16.0	6.7	2.7	38.7	12.0
	90歳以上 (N=60)	6.7	38.3	31.7	38.3	6.7	-	31.7	11.7

【参考：前回調査との比較】

前回調査 (N=283)	34.3	10.0	19.0	12.4	1.4	2.9	24.3	9.0
--------------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----

(5) 介護・介助をしている人の年齢

(介護・介助を受けている方のみ)

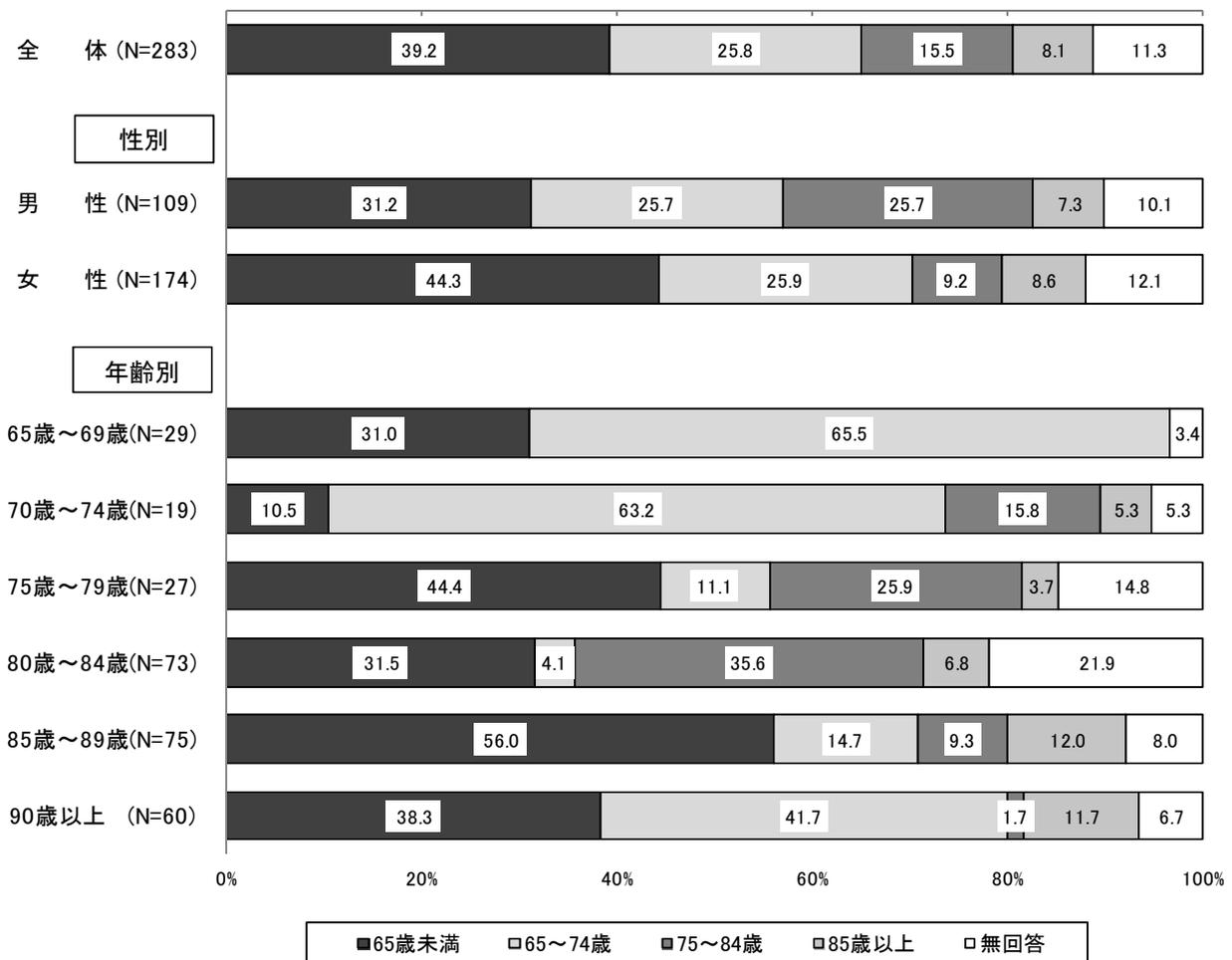
③主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。

「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した 283 人に、主に介護・介助をしている人の年齢についてきいたところ、「65歳未満」が 39.2%、「65～74歳」が 25.8%、「75～84歳」が 15.5%、「85歳以上」が 8.1%となっており、「65歳以上」が 49.4%、「75歳以上」が 23.6%となっている。

男女別にみると、男性は「75～84歳」が 25.7%と女性に比べて多く、女性は「65歳未満」が 44.3%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「70～74歳」で「65歳以上」が 84.3%と多くなっている。

図表 1-7 介護・介助をしている人の年齢



## (6) 住居の形態

問1 (3) お住まいは、次のどれにあたりますか。

住居の形態についてきいたところ、「持ち家（一戸建て）」が 87.7%と際立って多くなっている。その他、「持ち家（集合住宅）」が 2.2%、「公営賃貸住宅」が 2.1%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 1.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.2%、「借間」が 0.2%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」が 0.4%、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が 1.6%となっており、施設入所が合わせて 2.0%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」は「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が 7.5%と他の年代に比べて多い。

図表 1-8 住居の形態 (SA)

(単位：%)

	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借 間	介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）	有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅	その他	無 回答
全 体 (N=2,443)	87.7	2.2	2.1	1.0	1.2	0.2	0.4	1.6	0.4	3.2
性別	男 性 (N=1,219)	88.8	2.1	1.1	0.8	1.7	0.3	0.7	0.4	3.8
	女 性 (N=1,224)	86.6	2.2	3.0	1.2	0.7	0.7	2.5	0.3	2.6
年齢別	65歳～69歳(N=698)	88.1	2.7	1.9	1.4	2.0	0.1	0.1	0.6	2.9
	70歳～74歳(N=558)	88.5	1.8	3.4	1.4	1.1	0.4	0.4	0.2	2.9
	75歳～79歳(N=497)	88.7	2.8	2.2	0.8	0.8	0.2	1.2	-	3.0
	80歳～84歳(N=388)	87.6	1.5	1.5	0.8	0.5	0.3	0.5	0.5	4.1
	85歳～89歳(N=196)	83.7	2.0	-	-	1.5	-	1.5	1.0	3.6
90歳以上 (N=106)	84.0	-	1.9	-	-	-	2.8	7.5	-	3.8

【参考：前回調査との比較】

前回調査 (N=2,434)	90.6	1.6	2.4	0.7	1.2	0.1	0.6	0.7	0.7	1.4
----------------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## (7) 現在の暮らしの状況

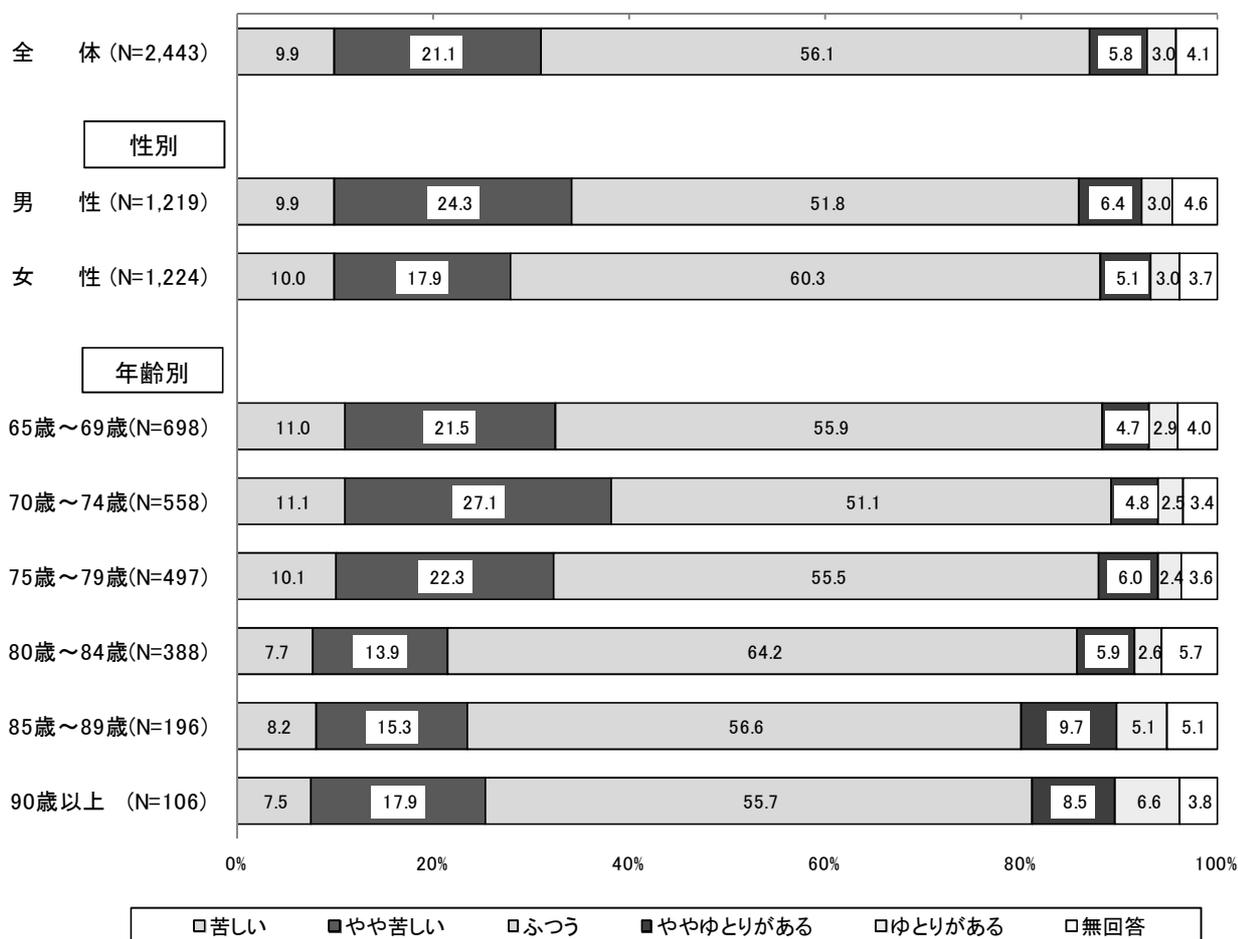
問1 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているか聞いたところ、「苦しい」が9.9%、「やや苦しい」が21.1%と苦しいとした人が31.0%となっており、「ふつう」が56.1%、「ややゆとりがある」が5.8%、「ゆとりがある」が3.0%となっている。

男女別にみると、男性は「苦しい」、「やや苦しい」が合わせて34.2%と女性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、「70から74歳」で「苦しい」、「やや苦しい」が合わせて38.2%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 1-9 現在の暮らしの状況



## (8) 生活の中で不安に思うこと

問1 (5) あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

生活の中で不安に思うことがあるかきいたところ、「病気に関する不安」が58.2%と最も多く、次いで「認知症になることへの不安」が51.7%、「寝たきりになることへの不安」が48.6%、「経済(生活費など)に関する不安」が26.9%の順となっている。

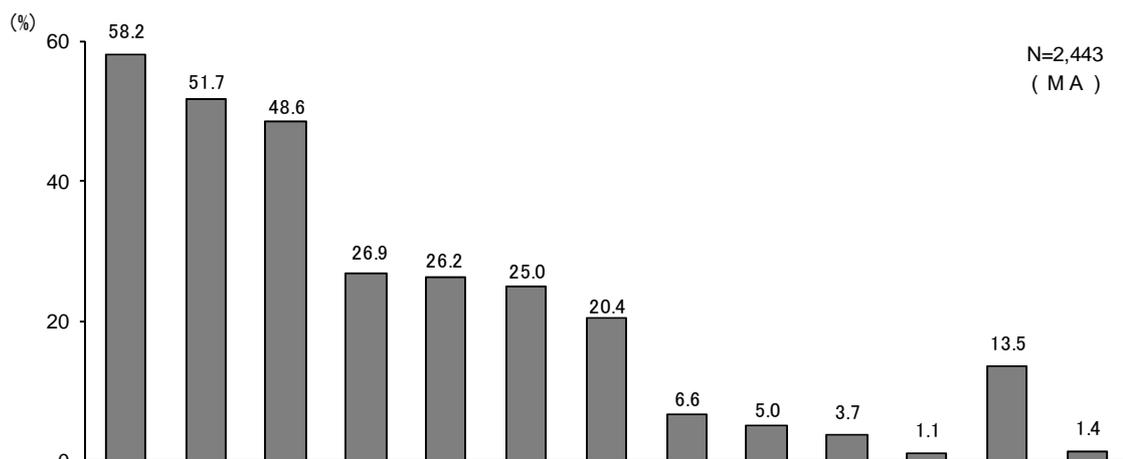
男女別にみると、女性は男性に比べて「寝たきりになることへの不安」、「認知症になることへの不安」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「病気に関する不安」、「経済(生活費など)に関する不安」が多い傾向にあり、年代が高いほど「寝たきりになることへの不安」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は「住宅の維持管理(除雪、庭木の手入れ、修繕など)に関する不安」、「いざという時に頼れる人がいないことへの不安」、「孤独に関する不安(ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど)」が多く、「施設入所」は「寝たきりになることへの不安」が他と比べて多くなっている。

前回調査と比較すると、「認知症になることへの不安」が前回の3位から今回は2位に、「経済(生活費など)に関する不安」が前回の5位から今回は4位に順位を上げている。

図表 1-10 生活の中で不安に思うこと



	病気に 関する不安	認知症に なること への不安	寝たきり になること への不安	経済（生 活費など） に関する不安	災害（地 震、火事、 水害など） に関する不安	住宅の維 持管理（除 雪、庭木の 手入れ、修 繕など）に 関する不安	家族の介 護に関する 不安	いざとい う時に頼 れる人が いないこ とへの不 安	孤独に関 する不安 （ひとり 暮らし、 あいがう まくい ないなど）	詐欺（振 り込め詐 欺、「オレ オレ詐 欺」など） に対する 不安	犯罪に対 する不安 （「オレ オレ詐 欺」など）	視、金銭 の要求・ 無断使用 など、人 権侵害に 対する不 安（暴力 、無特 にな）	特にな い	その他
全 体 (N=2,443)	58.2	51.7	48.6	26.9	26.2	25.0	20.4	6.6	5.0	3.7	1.1	13.5	1.4	
性別														
男 性 (N=1,219)	59.3	46.8	43.2	28.1	25.1	25.7	21.1	6.1	4.6	3.1	0.8	14.5	1.4	
女 性 (N=1,224)	57.1	56.5	54.1	25.7	27.3	24.3	19.8	7.2	5.4	4.3	1.5	12.5	1.4	
年齢別														
65歳～69歳(N=698)	59.6	50.1	39.5	34.4	27.8	25.8	20.2	5.4	3.4	3.0	1.3	14.0	0.9	
70歳～74歳(N=558)	61.8	51.3	47.0	30.5	27.2	26.9	20.4	7.3	3.4	1.8	0.5	10.8	1.1	
75歳～79歳(N=497)	60.2	59.2	53.3	26.8	29.0	27.2	21.9	8.7	6.0	5.0	1.8	13.9	2.0	
80歳～84歳(N=388)	51.5	46.6	51.0	15.5	25.8	22.9	18.0	5.9	5.2	4.9	1.3	16.5	1.8	
85歳～89歳(N=196)	57.7	49.5	60.2	19.9	16.3	21.9	23.0	5.1	10.7	5.6	0.5	11.2	2.0	
90歳以上 (N=106)	46.2	50.9	65.1	14.2	17.0	13.2	18.9	6.6	7.5	4.7	0.9	16.0	0.9	
【同居状況別】														
1人暮らし (N=319)	61.8	53.0	56.4	27.6	31.0	34.2	8.5	14.4	17.2	5.6	1.3	11.6	2.2	
高齢者のみ世帯 (N=829)	60.9	52.1	49.0	28.1	29.7	30.6	24.6	8.1	4.0	3.6	1.6	12.7	1.1	
家族などと同居 (N=1,169)	59.1	54.0	48.4	27.4	24.6	20.8	22.7	3.8	2.2	3.7	0.9	15.4	1.5	
施設入所 (N= 50)	50.0	52.0	64.0	28.0	4.0	2.0	6.0	8.0	16.0	-	2.0	14.0	2.0	
【参考：前回調査との比較】														
前回調査 (N=2,434)	62.6	52.1	54.7	29.4	32.2	29.2	24.4	7.7	7.0	6.4	2.3	11.5	1.1	

## (9) 現在の住まいで困っていること

問1 (6) 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

現在の住まいで困っていることについてきいたところ、「冬期の除雪」が22.8%と最も多く、次いで「住宅の修繕などの維持・管理」が21.3%、「庭木の手入れや除草」が20.1%、「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が19.6%の順となっており、「特に困っていることはない」が35.8%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が2番目に多くなっている。

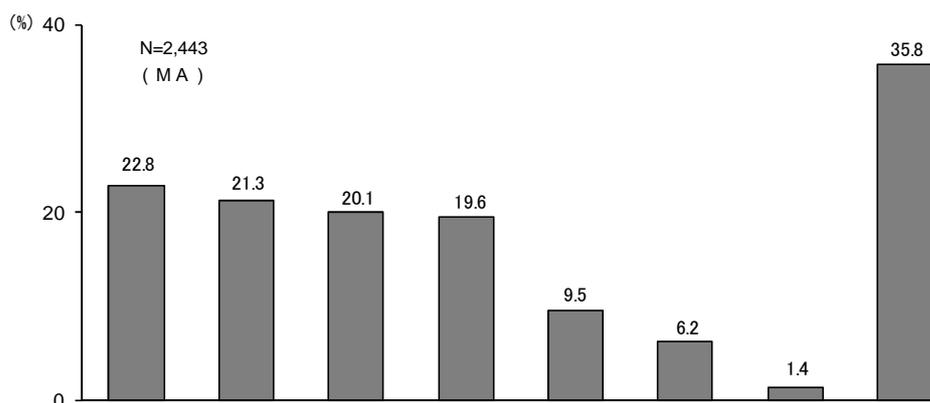
年齢別にみると、「65～74歳」で「住宅の修繕などの維持・管理」が最も多くなっている。また、年代が高いほど「玄関や敷居等の段差」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「冬期の除雪」、「庭木の手入れや除草」が多くなっている。一方、「施設入居」は「特に困っていることはない」が52.0%と多くなっている。

住居の形態別にみると、「持ち家(一戸建て)」は「冬期の除雪」、「住宅の修繕などの維持・管理」、「庭木の手入れや除草」が他と比べて多くなっている。一方、「持ち家(集合住宅)」、「民間賃貸住宅(集合住宅)」は、「特に困っていることはない」が6割を超えている。

地域別にみると、「大山地域」は「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が54.7%と多く、「大沢野地域、細入地域」は「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」が17.5%と、他の地域に比べて多くなっている。

図表 1-11 現在の住まいで困っていること



		冬期の除雪	住宅の修繕などの維持・管理	庭木の手入れや除草	パイプが壊れない、近くにスリ（生活が不便、交通の便が悪い）	玄関や敷居等の段差	近くに医療機関や介護施設がない	その他	特に困っていることはない
全体 (N=2,443)		22.8	21.3	20.1	19.6	9.5	6.2	1.4	35.8
性別	男性 (N=1,219)	23.0	22.7	19.4	18.0	8.1	6.5	0.7	38.6
	女性 (N=1,224)	22.5	19.9	20.8	21.3	10.8	6.0	2.0	33.0
年齢別	65歳～69歳 (N=698)	19.1	24.2	19.2	17.8	7.0	5.3	0.9	39.7
	70歳～74歳 (N=558)	22.0	22.2	18.5	17.4	5.9	4.7	1.6	35.3
	75歳～79歳 (N=497)	27.4	21.1	22.5	20.5	9.7	6.8	1.6	35.0
	80歳～84歳 (N=388)	23.5	18.0	20.4	24.0	10.1	8.0	1.3	33.8
	85歳～89歳 (N=196)	29.6	20.9	24.0	24.5	19.9	8.7	1.0	29.1
	90歳以上 (N=106)	14.2	10.4	15.1	15.1	21.7	6.6	2.8	36.8
同居状況別	1人暮らし (N=319)	31.0	24.8	26.0	20.4	7.8	5.3	1.9	34.2
	高齢者のみ世帯 (N=829)	28.0	24.5	21.8	21.8	9.4	6.5	1.1	35.0
	家族などと同居 (N=1,169)	19.1	20.1	19.2	19.3	10.8	6.8	1.3	38.3
	施設入所 (N= 50)	-	2.0	2.0	10.0	2.0	4.0	6.0	52.0
住居の形態別	持ち家（一戸建て） (N=2,143)	24.4	23.5	22.4	21.2	10.0	6.7	1.1	35.1
	持ち家（集合住宅） (N= 53)	13.2	1.9	5.7	5.7	3.8	1.9	3.8	69.8
	公営賃貸住宅 (N= 51)	21.6	7.8	3.9	21.6	9.8	2.0	7.8	43.1
	民間賃貸住宅（一戸建て） (N= 25)	32.0	20.0	4.0	4.0	16.0	-	-	36.0
	民間賃貸住宅（集合住宅） (N= 29)	13.8	-	3.4	10.3	6.9	6.9	-	62.1
	借間 (N= 5)	-	40.0	-	20.0	20.0	-	-	60.0
	介護保険施設 (N= 10)	-	10.0	-	10.0	-	10.0	20.0	40.0
	有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅 (N=40)	-	-	2.5	10.0	2.5	2.5	2.5	55.0
	その他 (N= 9)	-	33.3	11.1	-	11.1	-	-	66.7

【地域別】

地域別	富山地域 (N=1,883)	21.5	21.9	21.1	16.5	9.3	4.4	1.4	36.9
	大沢野地域、細入地域 (N=137)	31.4	19.7	17.5	27.7	7.3	17.5	2.2	29.9
	大山地域 (N=137)	29.9	21.9	13.1	54.7	12.4	13.1	0.7	22.6
	八尾地域、山田地域 (N=136)	27.2	14.7	12.5	25.0	10.3	8.8	-	39.7
	婦中地域 (N=138)	18.8	19.6	23.2	15.9	8.0	10.9	1.4	36.2

## 2 毎日の生活について

### (1) 新聞や本、雑誌を読んでいるか

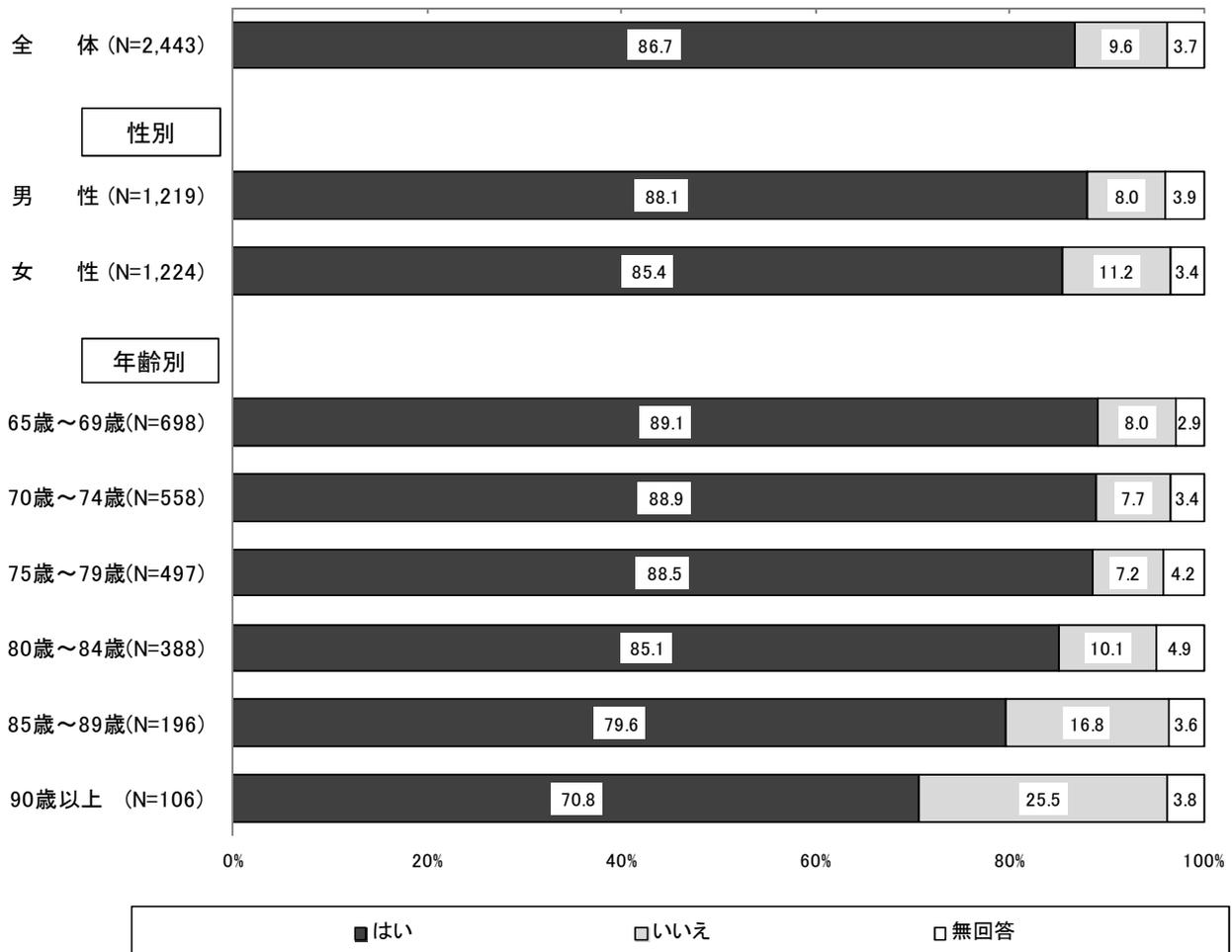
問2 (1) 新聞や本、雑誌を読んでいますか。

新聞や本、雑誌を読んでいるかきいたところ、「はい（読んでいる）」が86.7%、「いいえ（読んでいない）」が9.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（読んでいる）」が少なく、「85～89歳」で79.6%、「90歳以上」で70.8%となっている。

図表 2-1 新聞や本、雑誌を読んでいるか



## (2) 趣味や生きがいはあるか

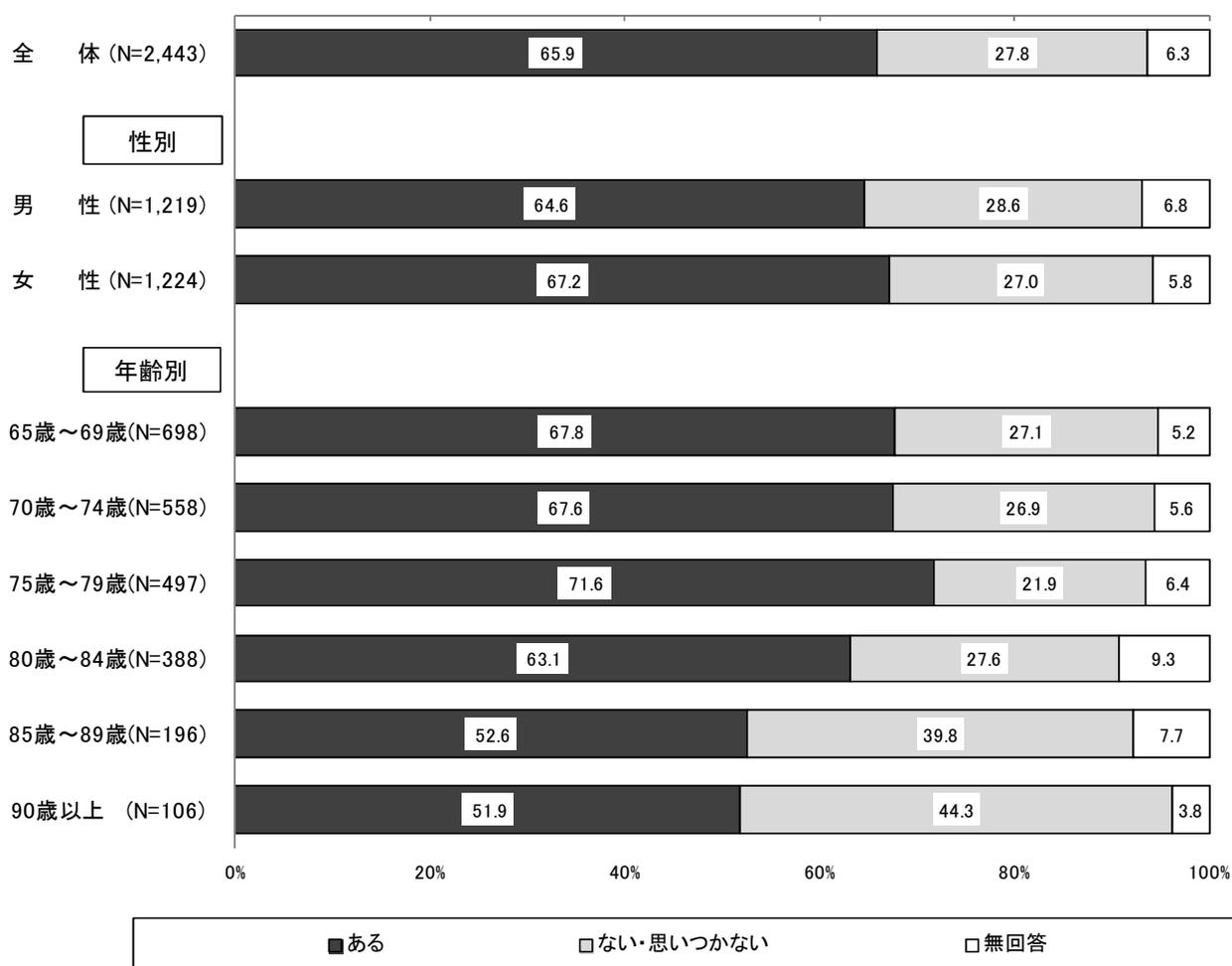
問2 (2) 趣味や生きがいがありますか。

趣味や生きがいはあるかきいたところ、「はい (ある)」が 65.9%、「いいえ (ない)」が 27.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい (ある)」が少ない傾向にあり、「85～89歳」と「90歳以上」で約5割となっている。

図表 2-2 趣味や生きがいはあるか



趣味や生きがいについて、男女年代別に多いものとしては、次の通りとなっている。

男性 65～69 歳	件数	男性 70～74 歳	件数	男性 75～79 歳	件数
園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	29	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	30	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	34
ゴルフ	18	パークゴルフ	18	パークゴルフ	24
旅行	13	散歩、ウォーキング、登山等	15	囲碁	16
仕事	12	ゴルフ	13	ゴルフ	9
パークゴルフ	9	仕事	10	旅行	9
読書	9	読書	9	読書	9
家族（孫や子の世話など）	9			カラオケ、歌など	9

男性 80～84 歳	件数	男性 85～89 歳	件数	男性 90 歳以上	件数
園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	16	読書	5	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	4
読書	13	家族（孫や子の世話など）	5	囲碁、ドライブ、読書、ゴルフ、スポーツ観戦など	各 1
パークゴルフ	11	旅行	4		
散歩、ウォーキング、登山等	8	囲碁	3		
家族（孫や子の世話など）	6	カラオケ、歌など	3		

女性 65～69 歳	件数	女性 70～74 歳	件数	女性 75～79 歳	件数
家族（孫や子の世話など）	28	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	25	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	25
手芸（編み物、裁縫、パッチワークなど）	22	手芸（編み物、裁縫、パッチワークなど）	17	手芸（編み物、裁縫、パッチワークなど）	23
読書	14	読書	16	体操、ヨガ、ダンスなど	11
旅行	12	家族（孫や子の世話など）	16	友人との交流	10
仕事	12	カラオケ、歌など	12	カラオケ、歌など	9

女性 80～84 歳	件数	女性 85～89 歳	件数	女性 90 歳以上	件数
園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	22	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	8	園芸（畑仕事、農業、ガーデニング等）	4
手芸（編み物、裁縫、パッチワークなど）	9	読書	4	読書	4
友人との交流	8	テレビ・映画観賞	4	ものづくり（人形や手まりなど）	3
カラオケ、歌など	8	手芸（編み物、裁縫、パッチワークなど）	3	友人との交流	2
旅行	6	友人との交流	3	書道	2
読書	6	書道	3	花	2
				俳句	2

### (3) 運動を行う頻度

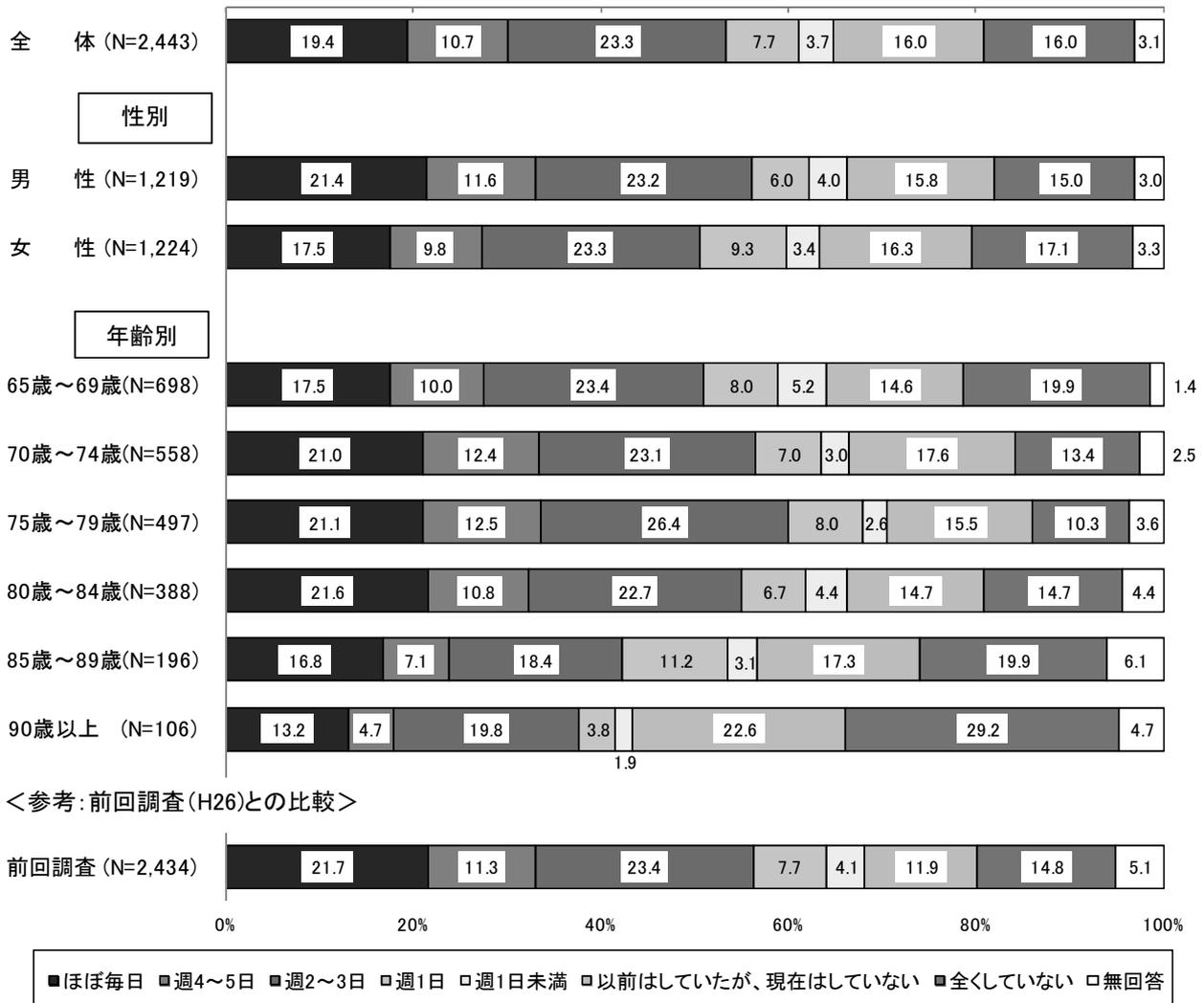
問2 (3) 運動（散歩など軽い運動を含む）はどのぐらいの頻度で行っていますか。

運動（散歩など軽い運動を含む）を行う頻度についてきいたところ、「ほぼ毎日」が19.4%、「週4～5日」が10.7%、「週2～3日」が23.3%、「週1日」が7.7%であり、週1日以上運動している人は61.1%となっている。一方、「以前はしていたが、現在はしていない」と「全くしていない」がそれぞれ16.0%となっている。

男女別にみると、週1回以上している人は男女とも約6割となっている。

年齢別にみると、「75～79歳」で週1日以上している人が68.0%と他の年代に比べて多くなっている。一方、「90歳以上」は週1日以上している人が41.5%と他の年代に比べて少なく、「以前はしていたが、現在はしていない」が22.6%、「全くしていない」が29.2%と多くなっている。

図表 2-3 運動を行う頻度



#### (4) 外出の頻度

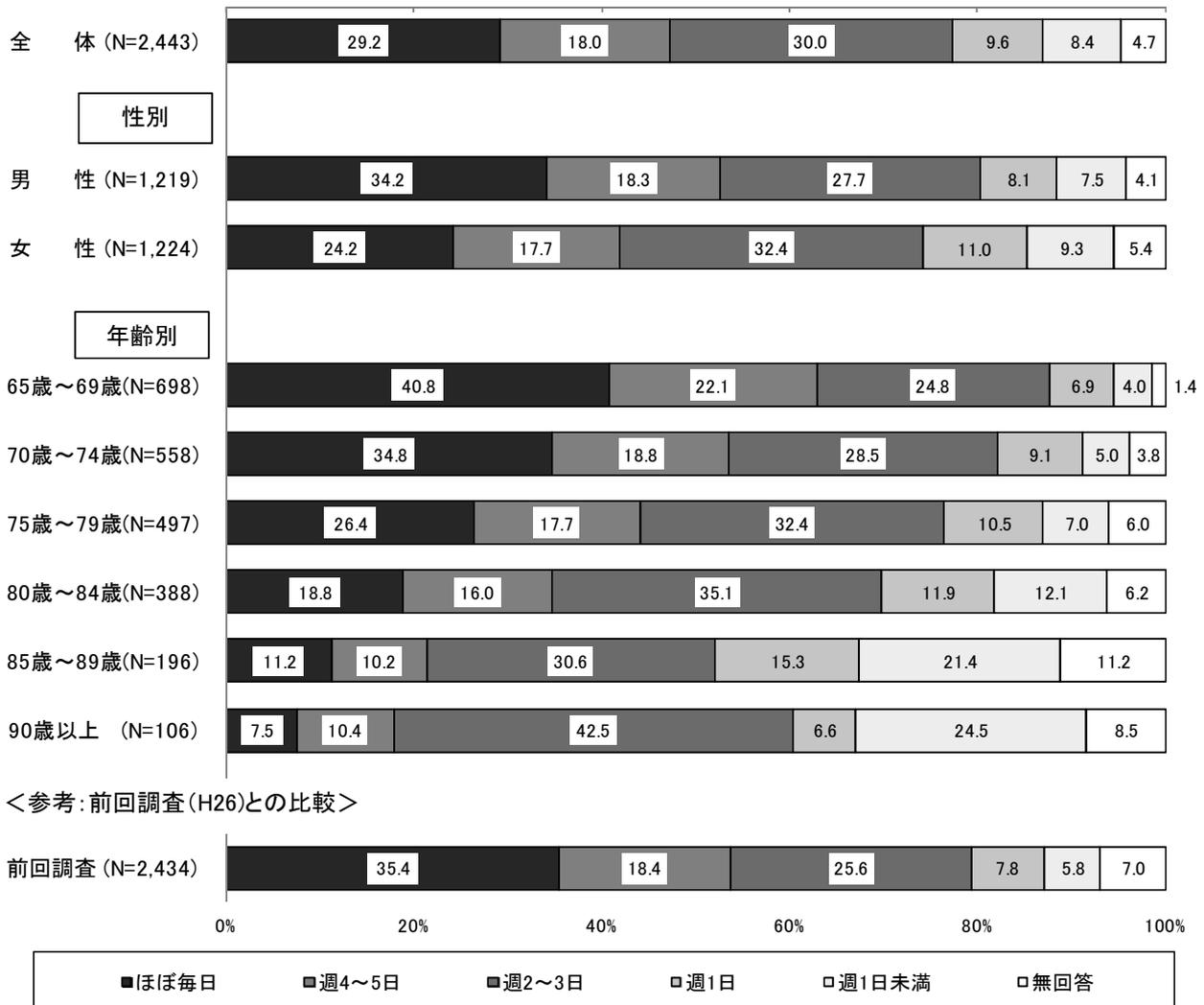
問2 (4) 外出する頻度はどのくらいですか。

外出する頻度についてきいたところ、「ほぼ毎日」が29.2%、「週4～5日」が18.0%、「週2～3日」が30.0%、「週1日」が9.6%、「週1日未満」が8.4%となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が34.2%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど外出頻度が高く、「65～69歳」で「ほぼ毎日」が40.8%、「70～74歳」で34.8%などとなっている。一方、「90歳以上」は「ほぼ毎日」が7.5%と少なく、「週1日未満」が24.5%と多くなっている。

図表 2-4 外出の頻度



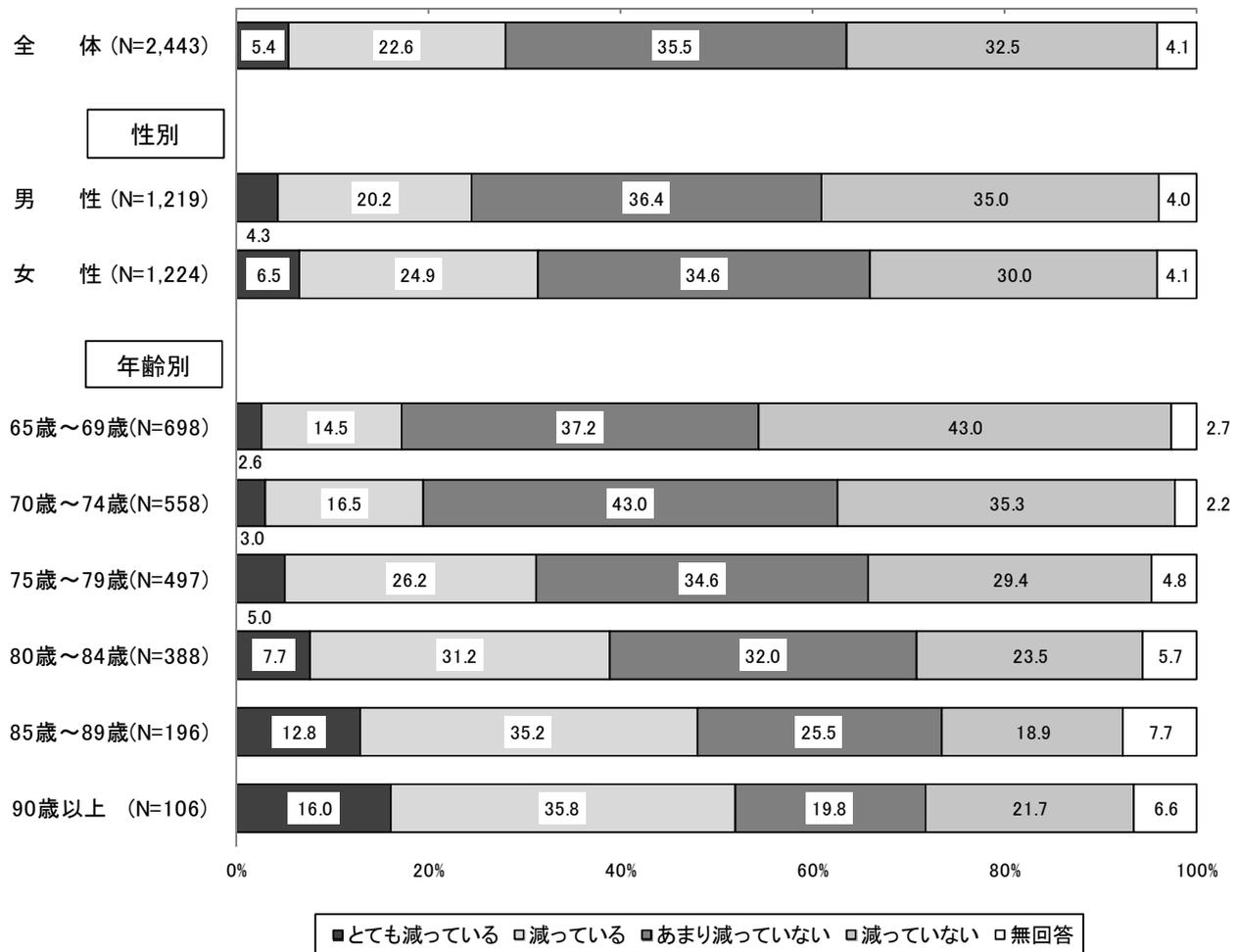
(5) 外出回数の変化

問2 (5) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。

昨年と比べて外出回数が減っているかきいたところ、「とても減っている」が5.4%、「減っている」が22.6%と合わせて28.0%が減少していたとしている。一方、「あまり減っていない」が35.5%、「減っていない」が32.5%となっており、男女別にみると、女性は減少しているとした人が31.4%と、男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど外出回数が減った人が多く、「65～74歳」は約2割であるのに対し、「85～89歳」で48.0%、「90歳以上」で51.8%となっている。

図表 2-5 外出回数の変化



(6) 外出回数が減った理由

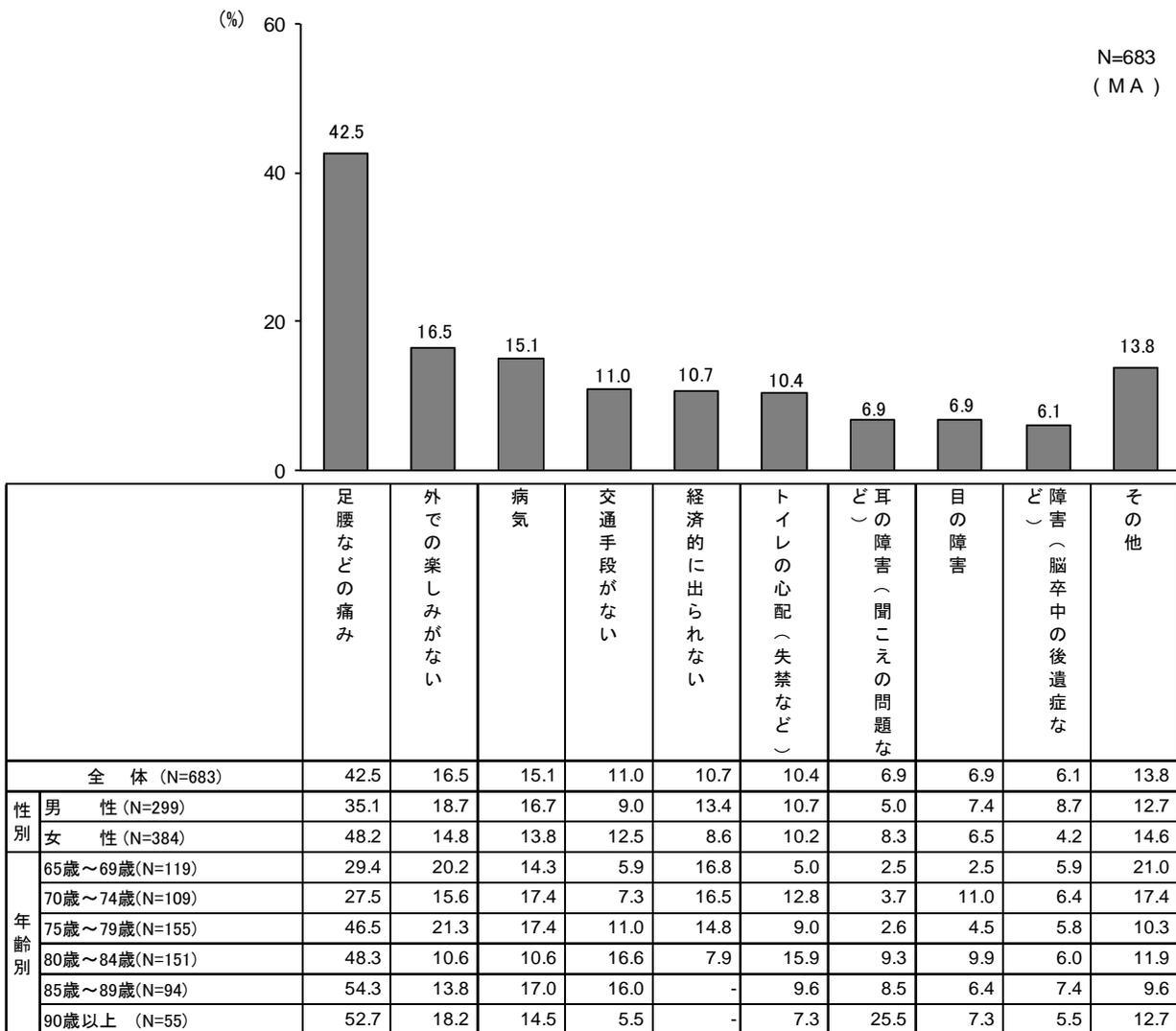
① (外出の回数が減っている方のみ) その理由は、次のどれですか。(いくつでも)

外出回数が減っていると回答した 683 人に、外出回数が減った理由についてきいたところ、「足腰などの痛み」が 42.5%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が 16.5%、「病気」が 15.1%、「交通手段がない」が 11.0%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」が多く、女性は男性に比べて「足腰などの痛み」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「足腰などの痛み」、「耳の障害 (聞こえの問題など)」が多く、年代が低いほど「経済的に出られない」が多い傾向にある。

図表 2-6 外出回数が減った理由



(7) 外出の際の移動手段

問 2 (6) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

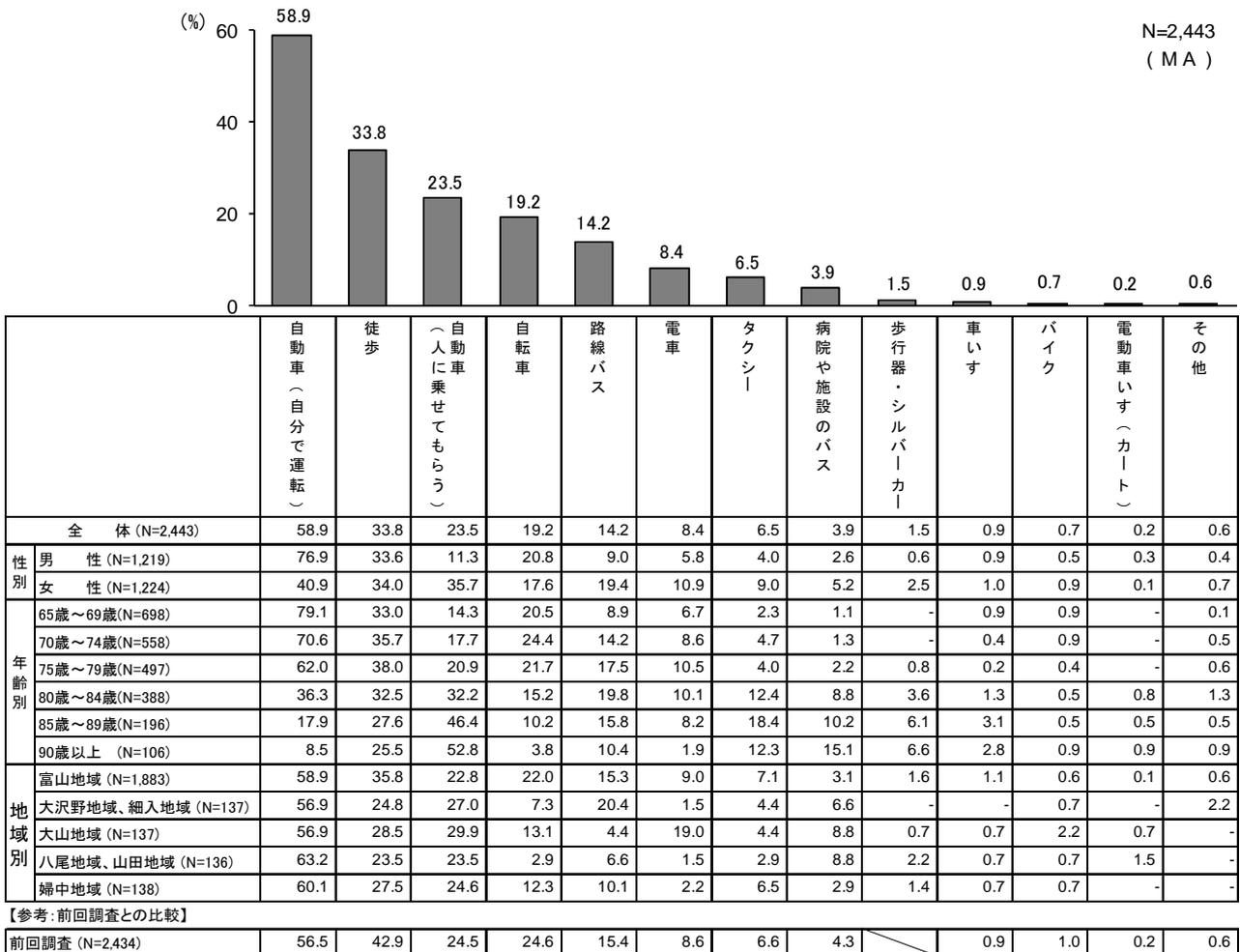
外出する際の移動手段についてきいたところ、「自動車（自分で運転）」が 58.9%と最も多く、次いで「徒歩」が 33.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 23.5%、「自転車」が 19.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自動車（自分で運転）」が 76.9%と、女性に比べて多くなっている。一方、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が 35.7%、「路線バス」が 19.4%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「自動車（自分で運転）」が多く、「65～69 歳」で 79.1%、「70～74 歳」で 70.6%であるのに対し、「90 歳以上」で 8.5%となっている。また、年代が高いほど「自動車（人に乗せてもらう）」が多く、「85 歳以上」で約 5 割となっている。

地域別にみると、「富山地域」は「徒歩」と「自転車」、「大沢野・細入地域」は「路線バス」、「大山地域」は「電車」、「八尾、山田地域」は「自動車（自分で運転）」がそれぞれ他の地域と比べて多くなっている。

図表 2-7-1 外出の際の移動手段



図表 2-7-2 外出の際の移動手段【圏域別】

	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもらう)	自転車	路線バス	電車	タクシー	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	バイク	電動車いす(カート)	その他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	50.7	55.9	19.1	32.4	14.7	16.9	11.0	0.7	5.9	0.7	0.7	-	0.7
東部、山室 (N=148)	58.8	37.2	15.5	25.7	22.3	0.7	9.5	4.7	1.4	2.0	-	-	0.7
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	48.9	50.4	23.3	24.8	22.6	8.3	9.0	5.3	1.5	1.5	-	-	0.8
堀川南、蟻川 (N=125)	58.4	36.0	26.4	17.6	20.8	14.4	8.0	0.8	1.6	-	-	-	-
奥田、奥田北 (N=136)	52.2	48.5	24.3	28.7	12.5	17.6	7.4	2.2	-	2.2	0.7	-	1.5
桜谷、五福、神明 (N=139)	57.6	27.3	28.1	17.3	20.9	7.2	6.5	1.4	1.4	1.4	-	-	-
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	53.8	39.2	24.6	30.8	10.8	18.5	4.6	2.3	1.5	-	0.8	-	-
針原、豊田 (N=142)	54.9	26.1	23.2	22.5	13.4	7.7	7.7	7.7	3.5	0.7	-	-	1.4
広田、新庄、新庄北 (N=130)	59.2	35.4	20.8	22.3	10.8	13.8	10.8	2.3	1.5	-	0.8	-	-
藤ノ木、山室中部 (N=120)	63.3	37.5	25.8	15.0	15.8	5.0	5.8	0.8	0.8	1.7	0.8	-	-
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	70.2	25.5	25.5	15.6	13.5	5.7	3.5	2.1	-	2.1	0.7	-	0.7
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	59.9	24.8	22.6	19.7	13.9	3.6	3.6	3.6	0.7	1.5	1.5	-	1.5
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=132)	71.2	31.8	19.7	12.9	13.6	2.3	4.5	3.8	1.5	0.8	1.5	1.5	-
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=134)	66.4	27.6	20.9	22.4	9.0	5.2	6.7	5.2	1.5	-	0.7	-	0.7
大沢野地域、細入地域 (N=137)	56.9	24.8	27.0	7.3	20.4	1.5	4.4	6.6	-	-	0.7	-	2.2
大山地域 (N=137)	56.9	28.5	29.9	13.1	4.4	19.0	4.4	8.8	0.7	0.7	2.2	0.7	-
八尾地域、山田地域 (N=136)	63.2	23.5	23.5	2.9	6.6	1.5	2.9	8.8	2.2	0.7	0.7	1.5	-
婦中地域 (N=138)	60.1	27.5	24.6	12.3	10.1	2.2	6.5	2.9	1.4	0.7	0.7	-	-

(8) 1人で外出しているか

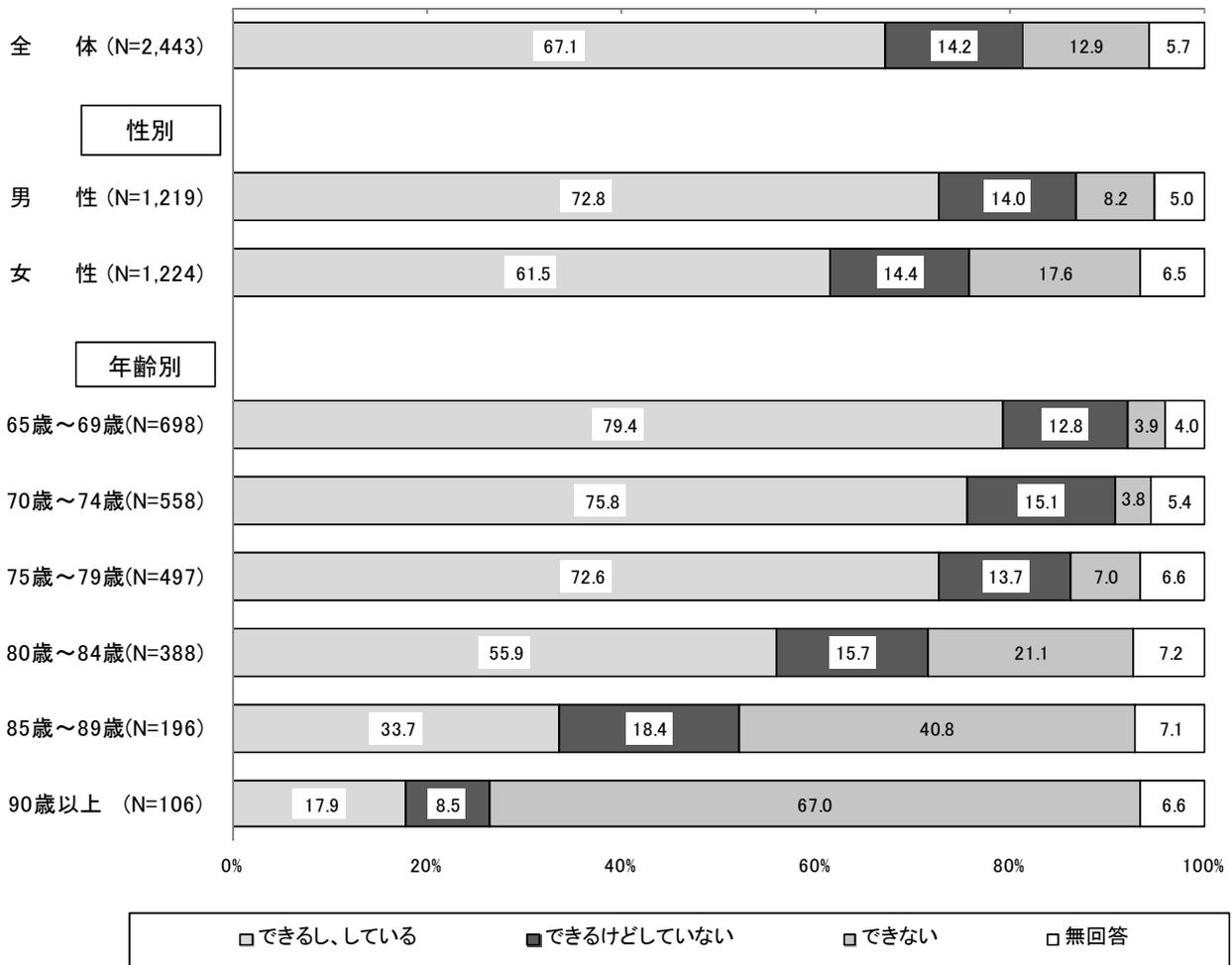
問2 (7) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

バスや電車を使って1人で外出しているかきいたところ、「できるし、している」が67.1%、「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が12.9%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が72.8%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85～89歳」で33.7%、「90歳以上」で17.9%となっている。また、「できない」が「85～89歳」で40.8%、「90歳以上」で67.0%となっている。

図表 2-8 1人で外出しているか

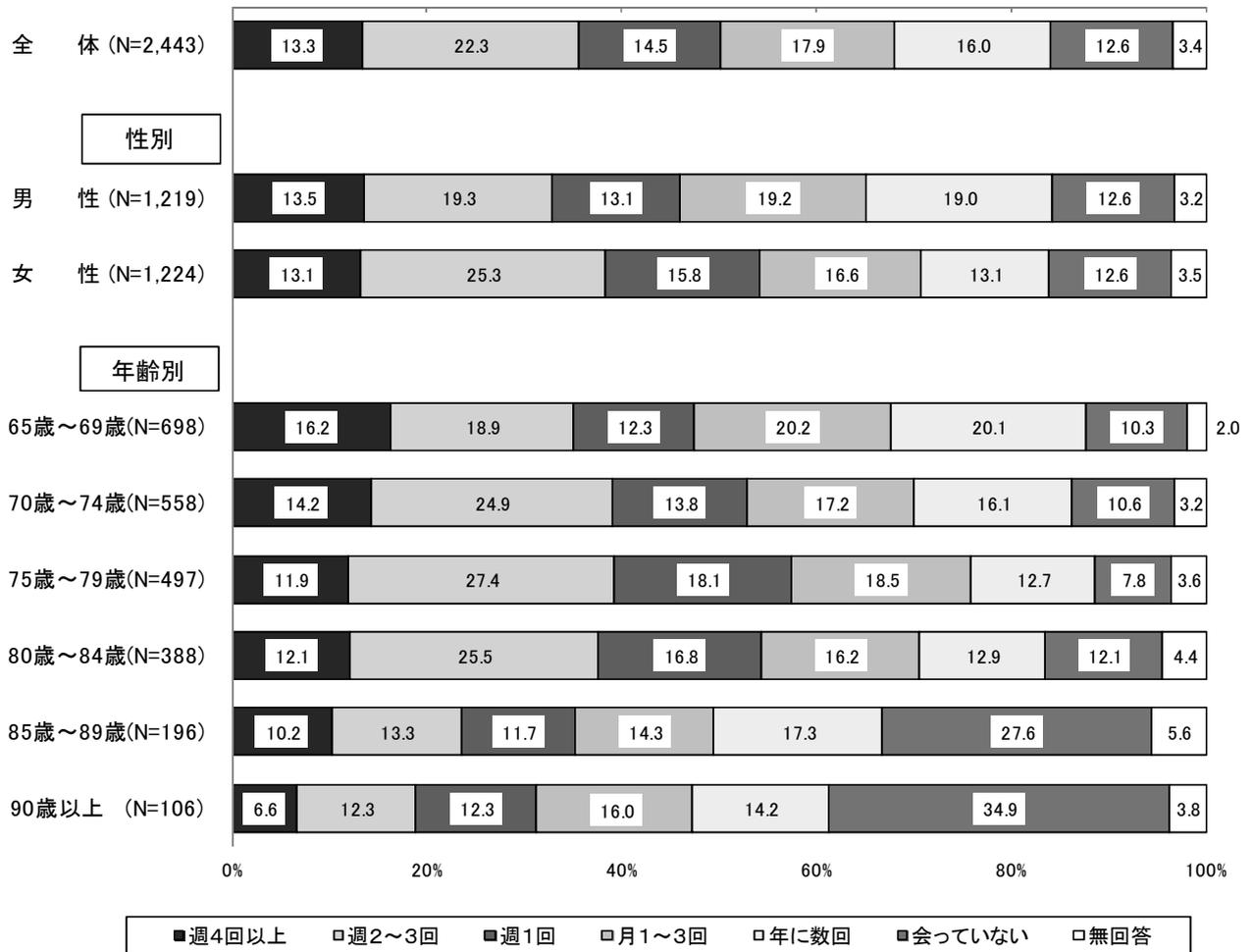


(9) 友人・知人と会う頻度

問2 (8) 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。

友人や知人と会う頻度についてみると、「週4回以上」が13.3%、「週2~3回」が22.3%、「週1回」が14.5%、「月1~3回」が17.9%、「年に数回」が16.0%、「会っていない」が12.6%となっている。  
 男女別にみると、週1回以上とした人は男性45.9%、女性54.2%と、女性の方が多くなっている。  
 年齢別にみると、週1回以上とした人は「70~85歳」で5割台と多く、「85~89歳」で35.2%、「90歳以上」で31.2%と少なくなっている。

図表 2-9 友人・知人と会う頻度



(10) 家族や友人の相談にのっているか

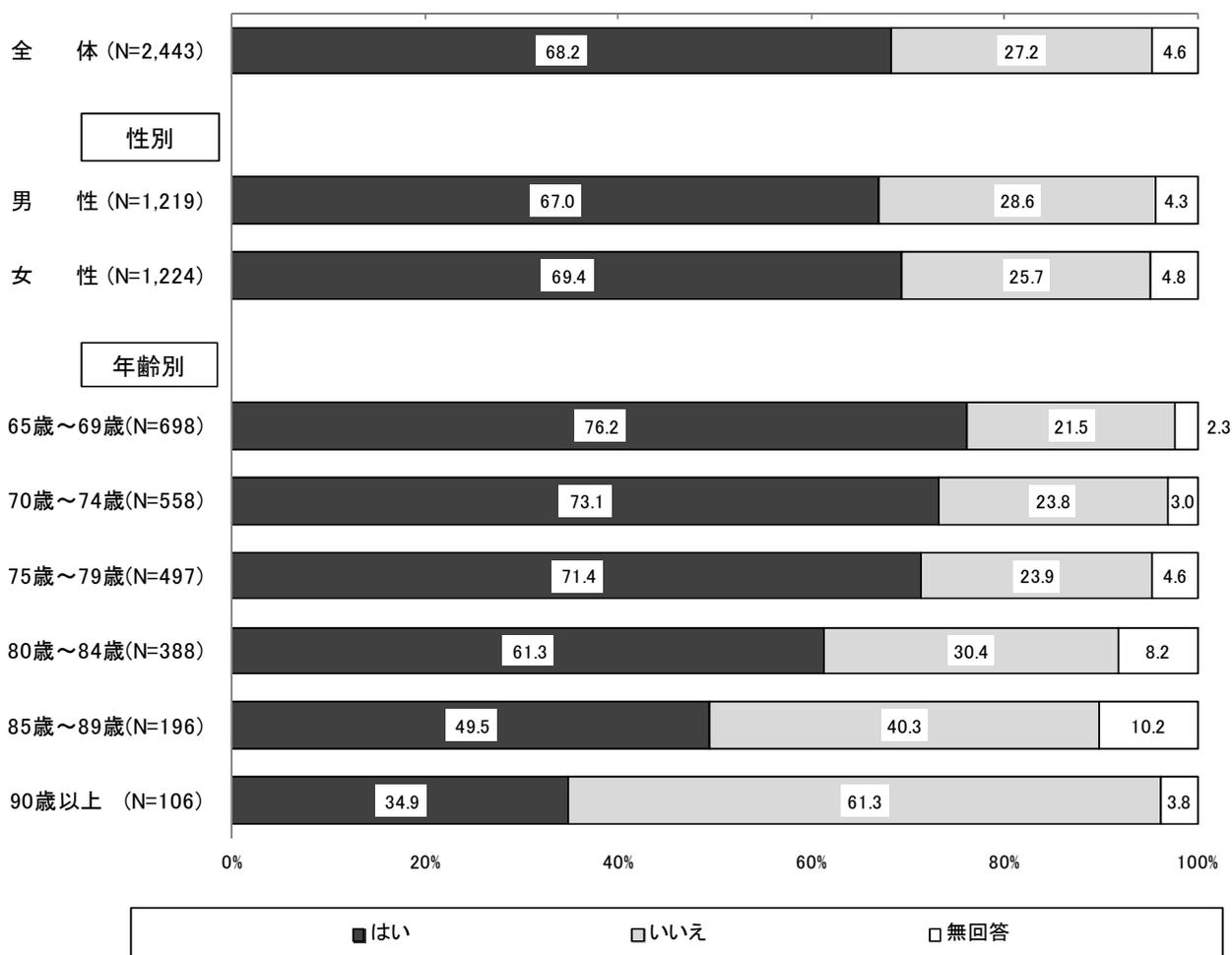
問2 (9) 家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっているかきいたところ、「はい (のっている)」が68.2%、「いいえ (のっていない)」が27.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい (のっている)」が少なくなっており、「85～89歳」で49.5%、「90歳以上」で34.9%となっている。

図表 2-10 家族や友人の相談にのっているか



### (11) 日用品の買物をしているか

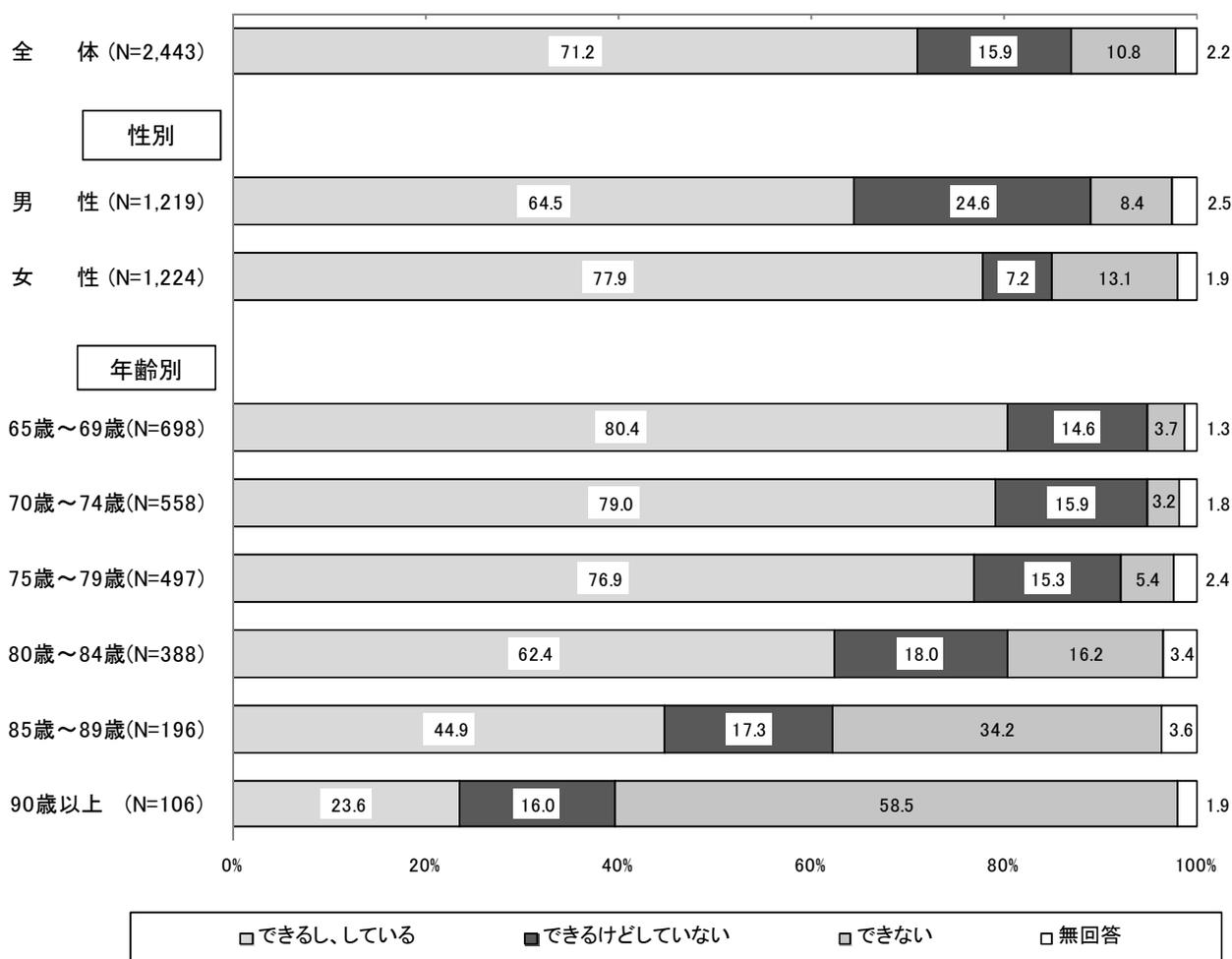
問2 (10) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

日用品の買物をしているかきいたところ、「できるし、している」が71.2%、「できるけどしていない」が15.9%、「できない」が10.8%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が77.9%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85～89歳」で44.9%、「90歳以上」で23.6%となっている。また、「できない」が「85～89歳」で34.2%、「90歳以上」で58.5%となっている。

図表 2-11 日用品の買物をしているか



(12) 代わりに買い物をする人

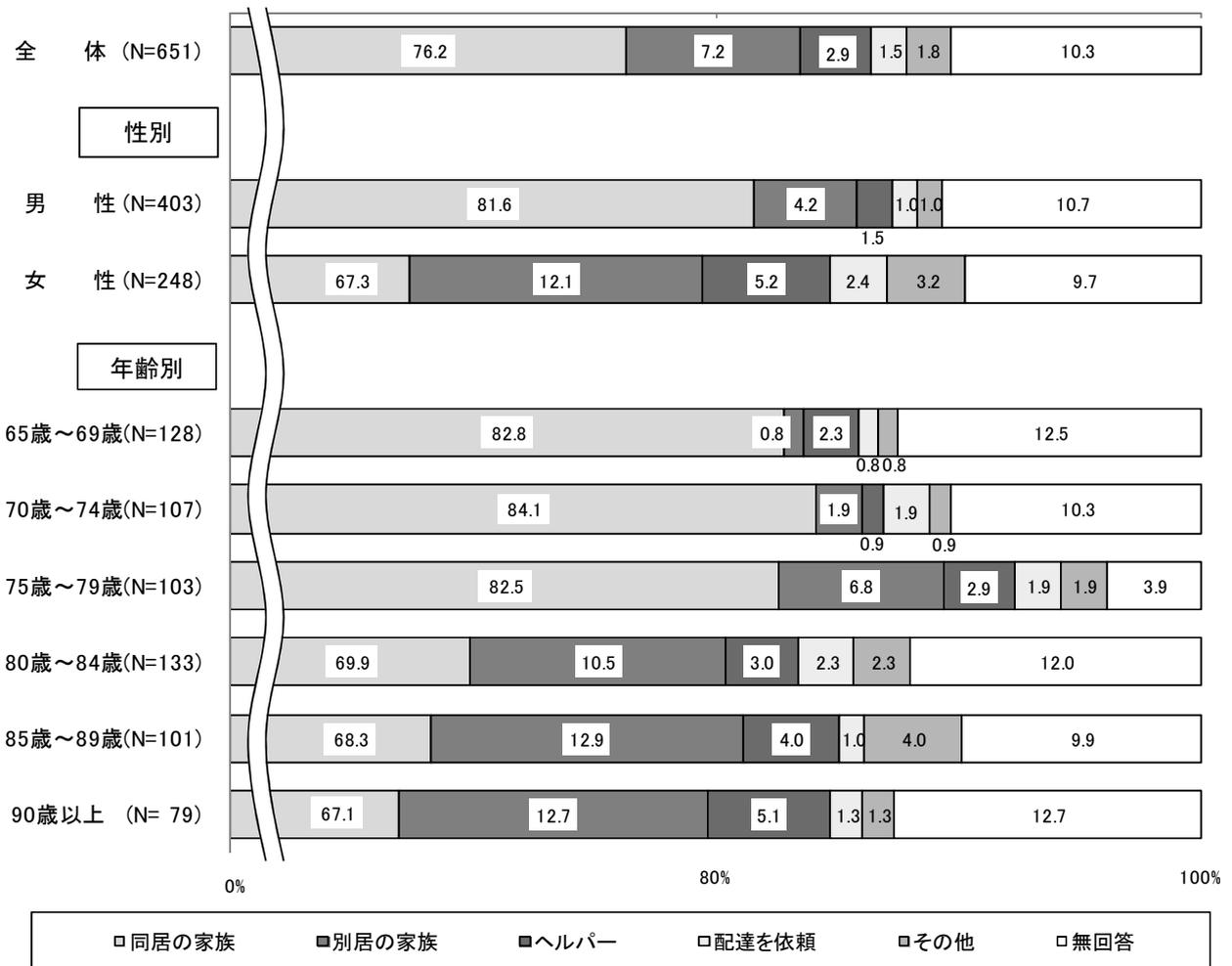
(日用品の買物をしていない、できない方のみ)  
 ①日用品の買物をする人は主にどなたですか。

日用品の買物を「できるけどしていない」、「できない」と回答した 651 人に、誰が日用品の買物をしているかきいたところ、「同居の家族」が 76.2%と大半を占め、「別居の家族」が 7.2%、「ヘルパー」が 2.9%、「配達を依頼」が 1.5%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が 81.6%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が 12.1%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。

図表 2-12 代わりに買い物をする人



### (13) 自分で食事の用意ができるか

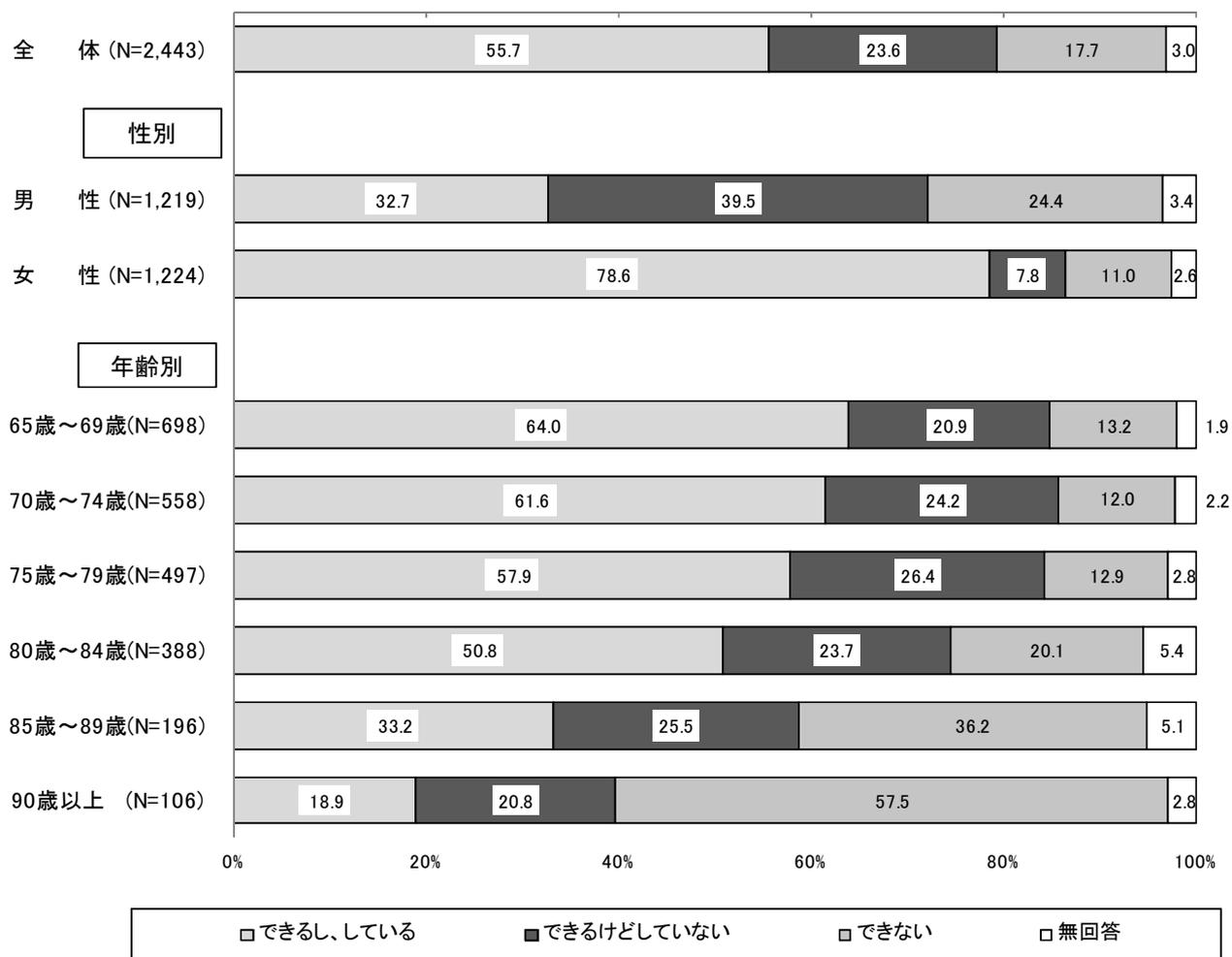
問 2 (11) 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかきいたところ、「できるし、している」が 55.7%、「できるけどしていない」が 23.6%、「できない」が 17.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 78.6%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89 歳」で 36.2%、「90 歳以上」が 57.5%となっている。

図表 2-13 自分で食事の用意ができるか



(14) 主に食事の用意をする人

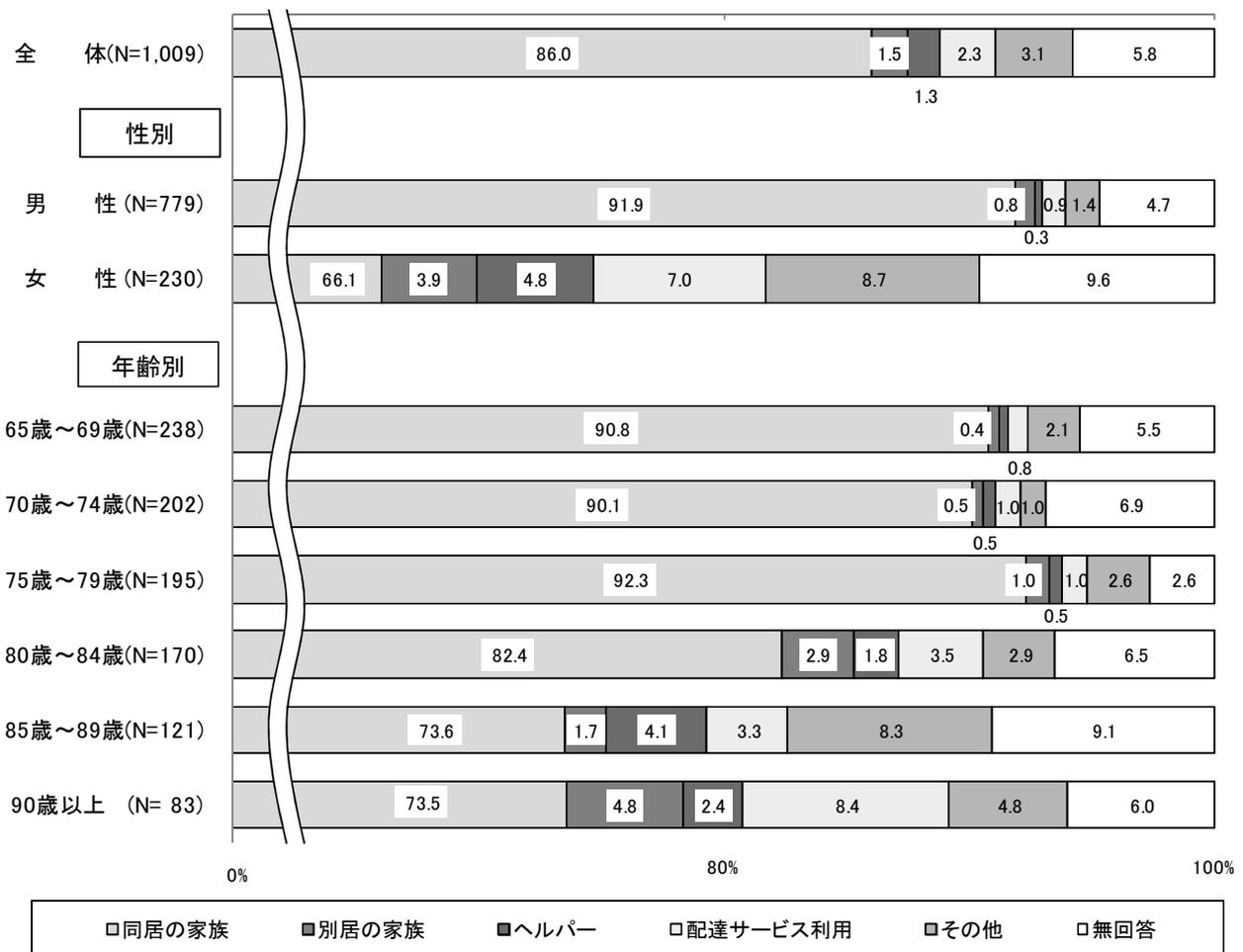
(自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)  
 ①食事の用意をする人は主にどなたですか。

自分で食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」と回答した 1,009 人に、誰が食事の用意をしているかきいたところ、「同居の家族」が 86.0%と大半を占め、「別居の家族」が 1.5%、「ヘルパー」が 1.3%、「配食サービス利用」が 2.3%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が 91.9%と女性に比べて多く、女性は「配食サービス利用」が 7.0%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。また、「90歳以上」で「配食サービス利用」が 8.4%と多くなっている。

図表 2-14 主に食事の用意をする人



(15) 運動機能

問 2 (12) あなたの運動機能について、普段から次のことはできますか。(いくつでも)

運動機能についてみると、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」が 57.1%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」が 61.4%、「5m以上歩ける」が 61.9%、「15分くらい続けて歩ける」が 69.1%となっている。

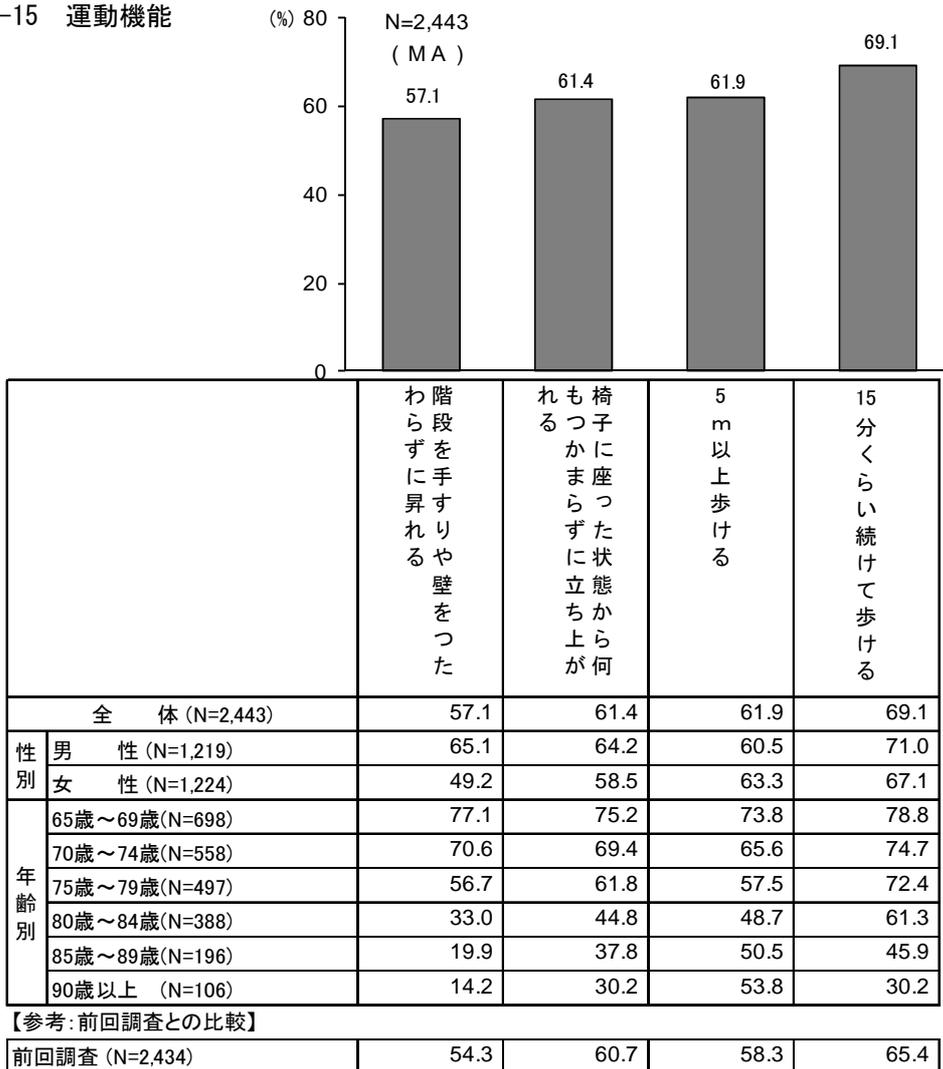
「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」について男女別にみると、男性は 65.1%と女性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～74歳」で7割台である一方、「85歳以上」は2割を下回っている。

「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」について男女別にみると男性は 64.2%と女性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～69歳」では75.2%と多い一方、「85歳以上」は3割台となっている。

「5m以上歩ける」について男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、「65～69歳」で7割台と多いが、「80歳以上」は約5割となっている。

「15分くらい続けて歩ける」について男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～79歳」は7割台である一方、「90歳以上」は30.2%となっている。

図表 2-15 運動機能



(16) 支払いを自分でしているか

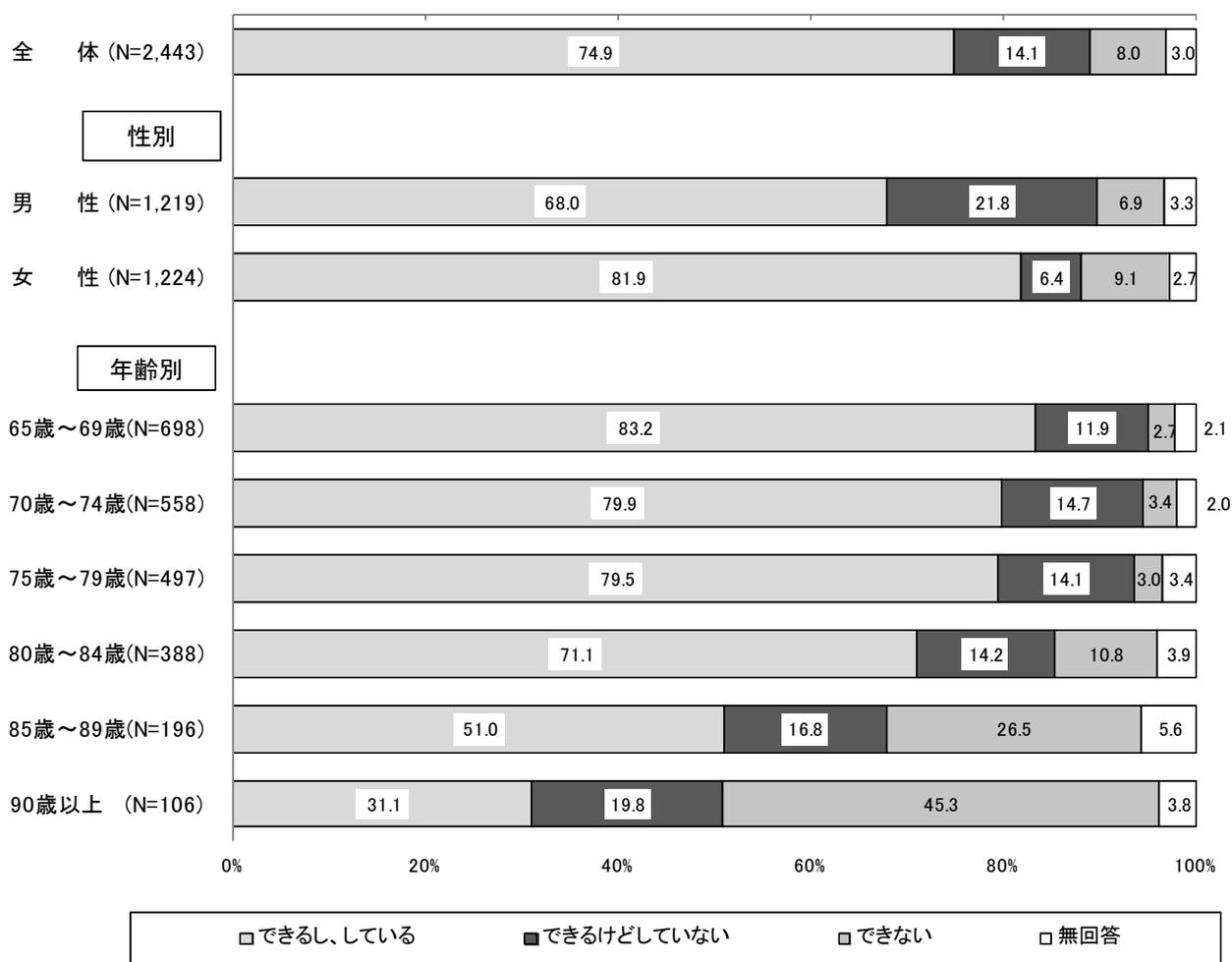
問 2 (13) 自分で請求書の支払いをしていますか。

買い物などの請求書の支払いを自分でしているかきいたところ、「できるし、している」が74.9%、「できるけどしていない」が14.1%、「できない」が8.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が81.9%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で26.5%、「90歳以上」で45.3%となっている。

図表 2-16 支払いを自分でしているか



(17) 預貯金の出し入れを自分でしているか

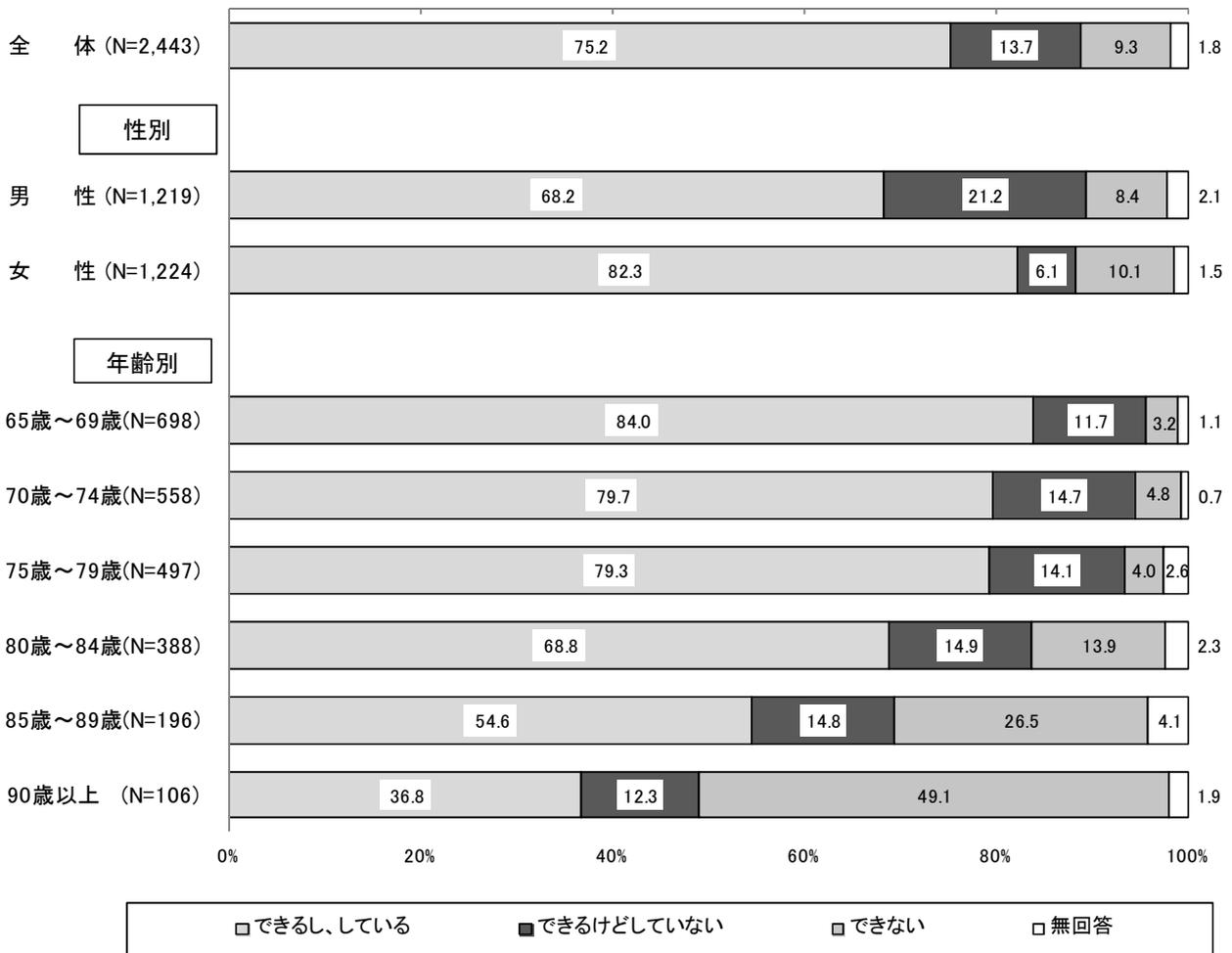
問 2 (14) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

預貯金の出し入れを自分でしているかきいたところ、「できるし、している」が 75.2%、「できるけどしていない」が 13.7%、「できない」が 9.3%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 82.3%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89 歳」で 26.5%、「90 歳以上」で 49.1%となっている。

図表 2-17 預貯金の出し入れを自分でしているか



(18) 家庭における役割

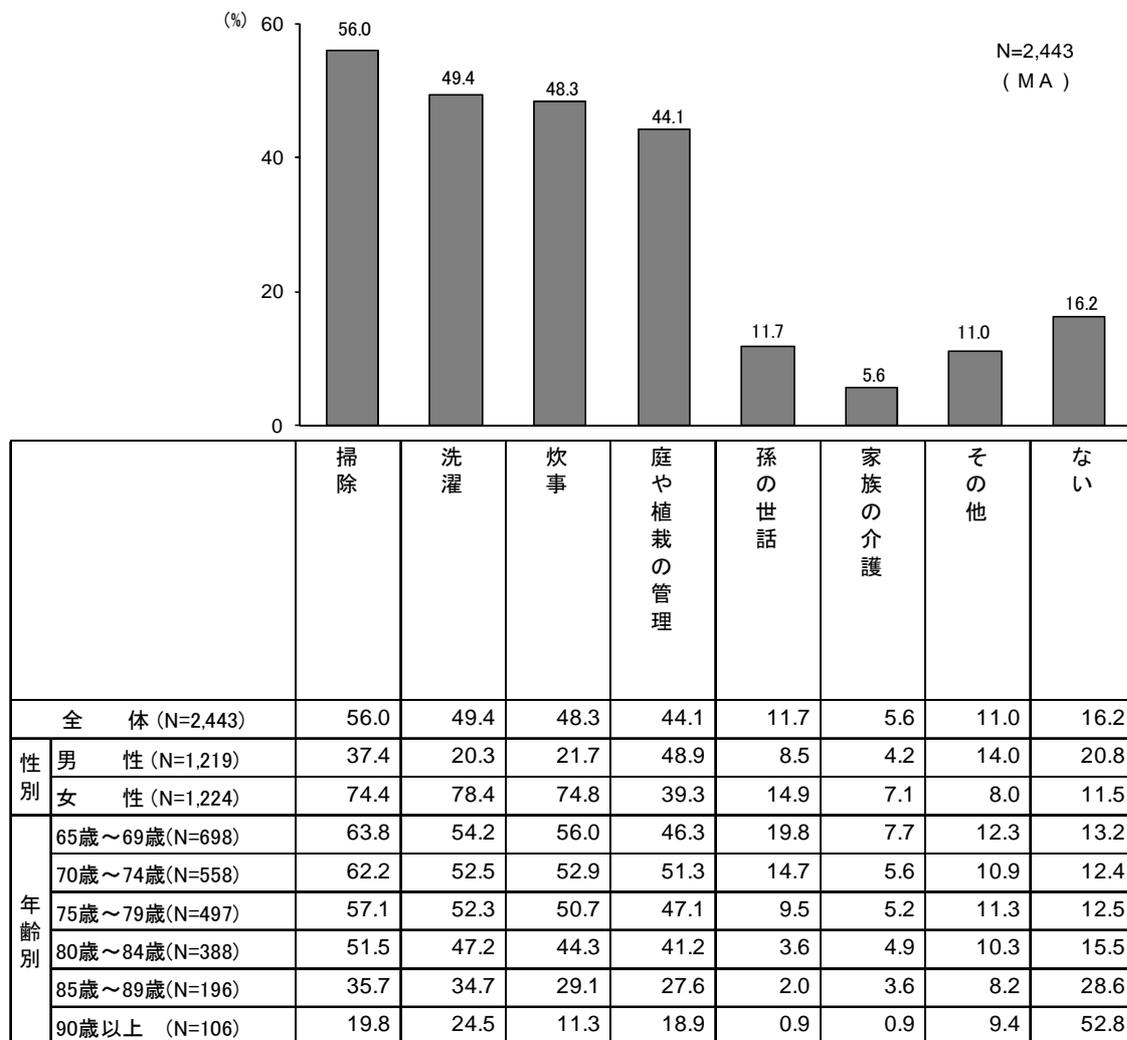
問2 (15) 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

家庭内での役割についてきいたところ、「掃除」が56.0%と最も多く、次いで「洗濯」が49.4%、「炊事」が48.3%、「庭や植栽の管理」が44.1%の順となっている。一方、「ない」が16.2%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「庭や植栽の管理」が多く、女性は男性に比べて「掃除」、「洗濯」、「炊事」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど家庭内で役割を持つ人が多くなっているが、役割が「ない」とする人は、「85～89歳」で28.6%、「90歳以上」で52.8%となっている。

図表 2-18 家庭における役割



### 3 健康について

#### (1) 現在の健康状態

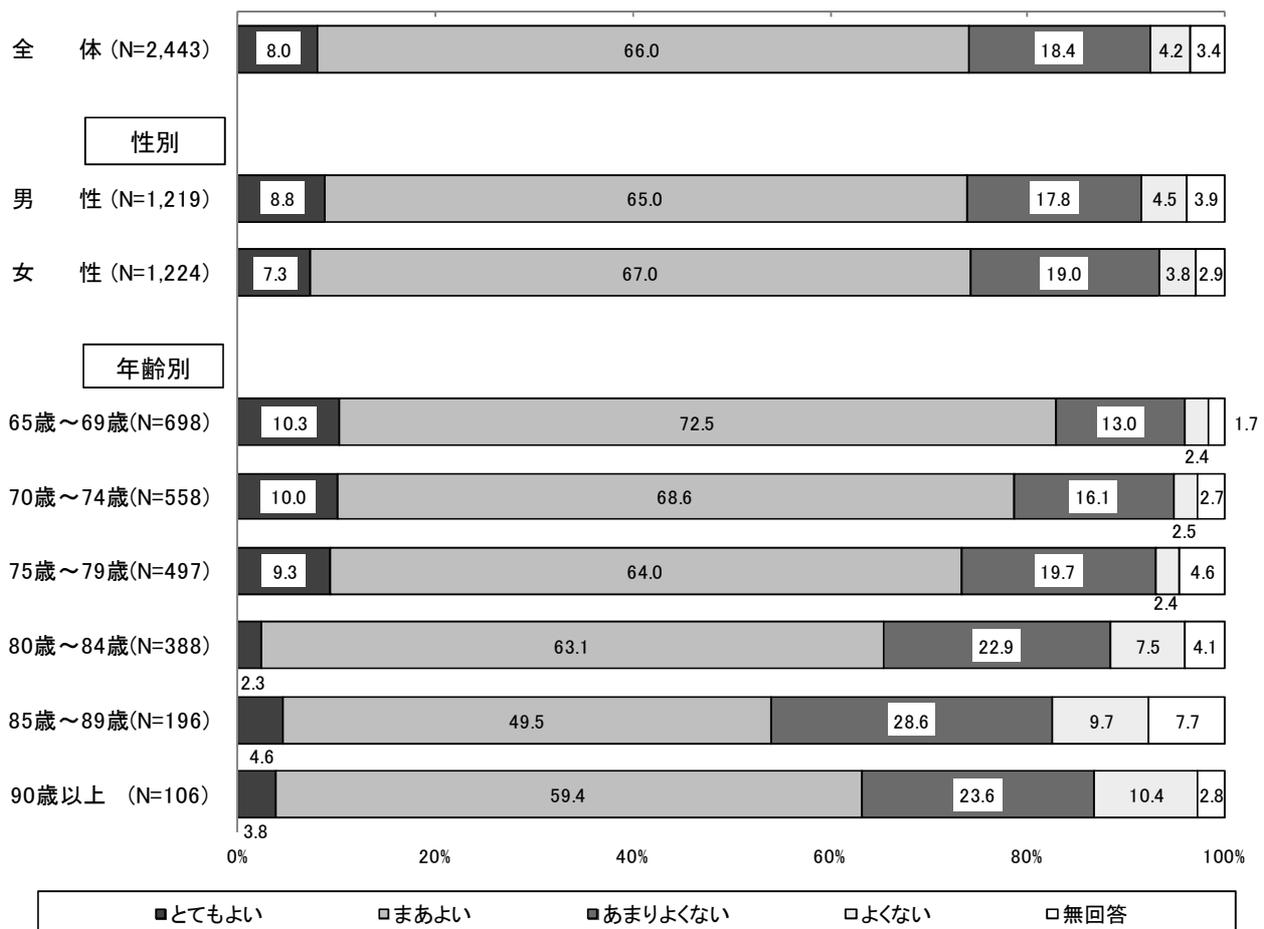
問3 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態についてきいたところ、「とてもよい」が8.0%、「まあよい」が66.0%、「あまりよくない」が18.4%、「よくない」が4.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「あまりよくない」、「よくない」が多い傾向にあり、「85～89歳」は「あまりよくない」が28.6%、「よくない」が9.7%、「90歳以上」は「あまりよくない」が23.6%、「よくない」が10.4%となっている。

図表 3-1 現在の健康状態



## (2) 現在治療中または後遺症のある病気

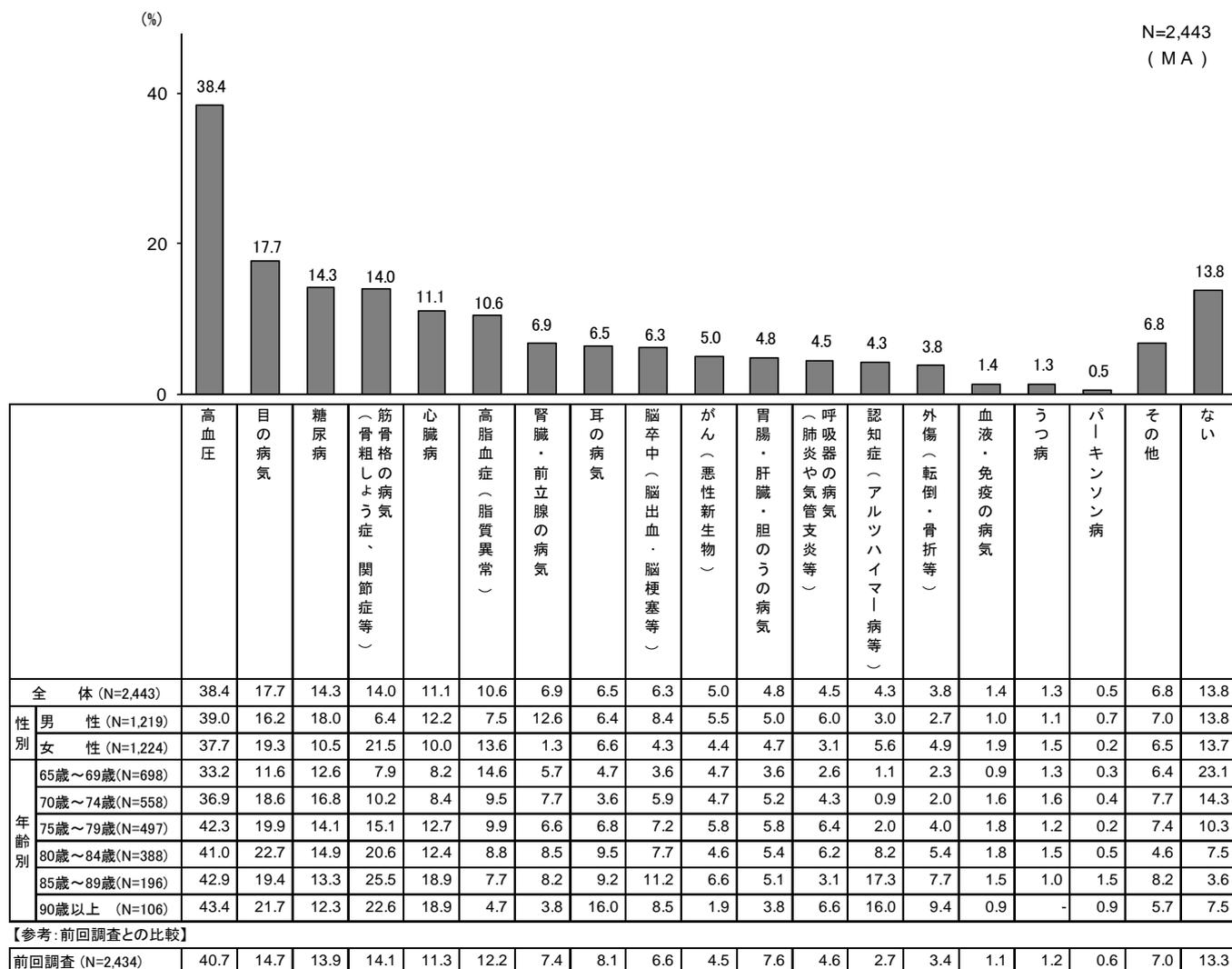
問3 (2) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気についてきいたところ、「高血圧」が38.4%と最も多く、次いで「目の病気」が17.7%、「糖尿病」が14.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が14.0%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」が多く、女性は男性に比べて「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「高脂血症(脂質異常)」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「高脂血症(脂質異常)」が多く、年代が高いほど「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「心臓病」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。

図表 3-2 現在治療中または後遺症のある病気



### (3) 健康づくりや介護予防のためにしていること

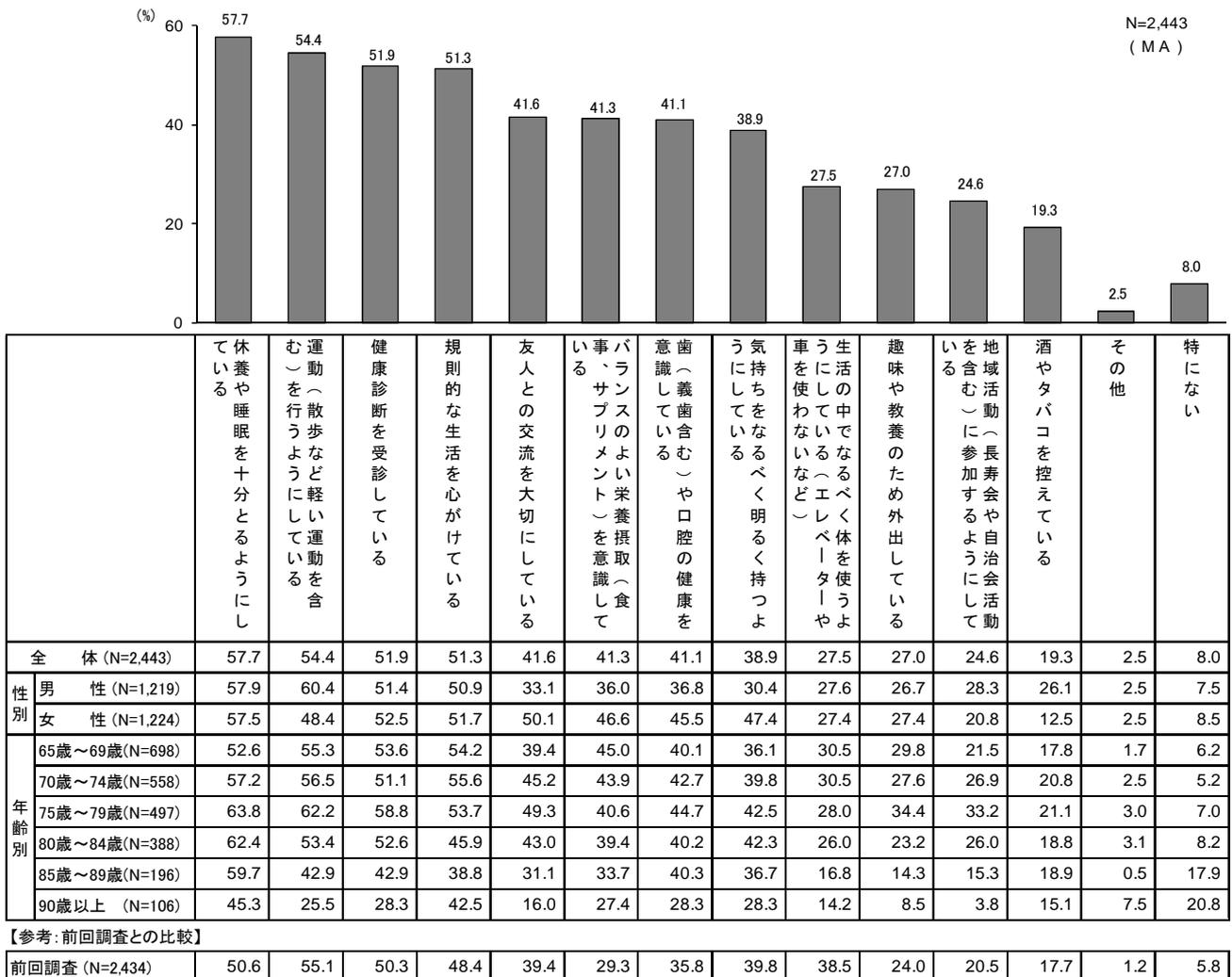
問3 (3) 健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしているかきいたところ、「休養や睡眠を十分とるようにしている」が57.7%と最も多く、次いで「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」が54.4%、「健康診断を受診している」が51.9%、「規則的な生活を心がけている」が51.3%の順となっている。一方、「特にない」が8.0%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」、「酒やタバコを控えている」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流を大切にしている」、「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」が多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」は「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」が最も多く、それ以上の年代では「休養や睡眠を十分とるようにしている」が最も多くなっている。また、年代が低いほど「バランスのよい栄養摂取（食事、サプリメント）を意識している」、「生活の中でなるべく体を使うようにしている（エレベーターや車を使わないなど）」が多い傾向にある一方、「特にない」が「85～90歳」と「90歳以上」で約2割と多くなっている。

図表 3-3 健康づくりや介護予防のためにしていること



#### (4) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと

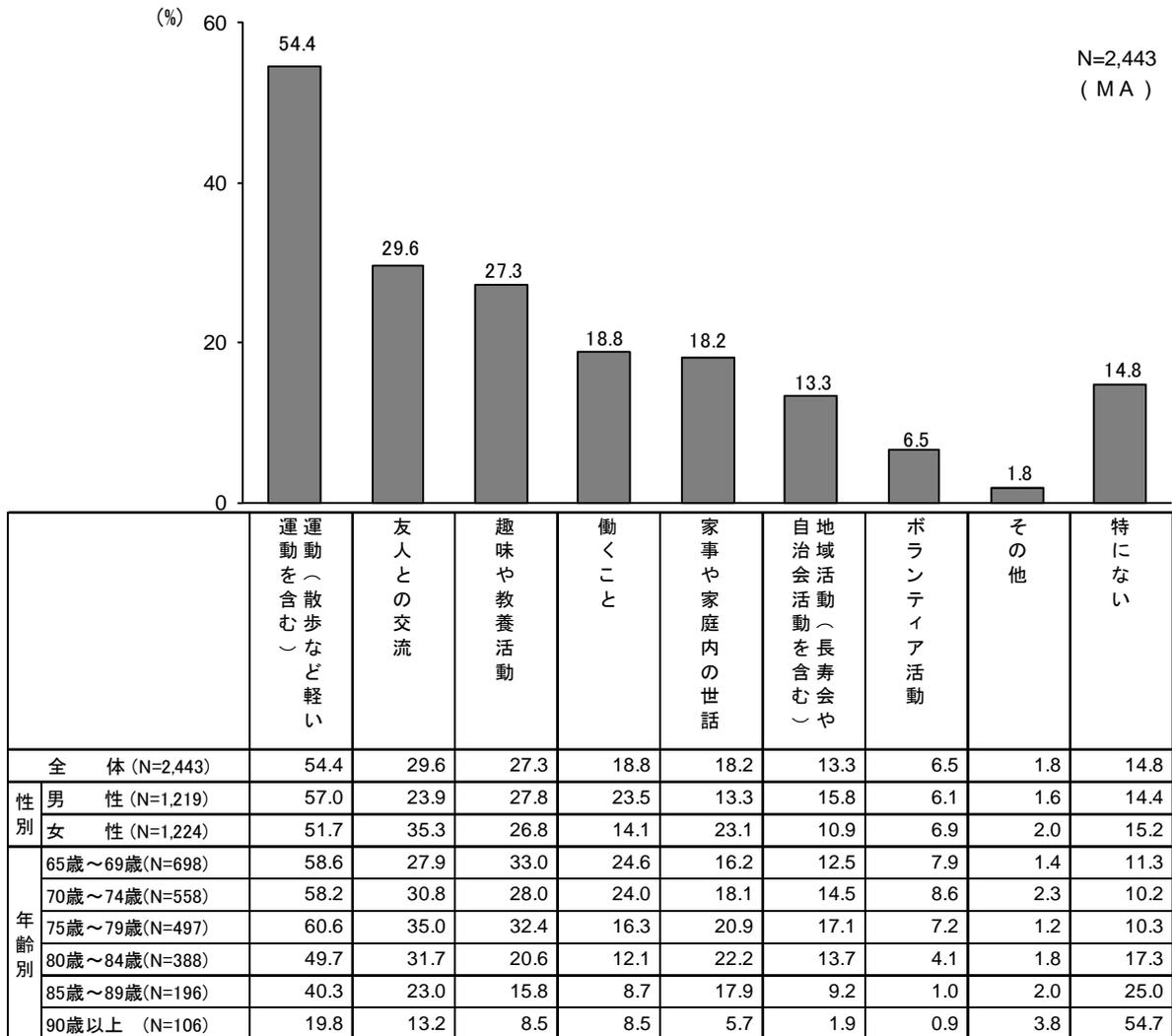
問3 (4) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについてきいたところ、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が54.4%と最も多く、次いで「友人との交流」が29.6%、「趣味や教養活動」が27.3%、「働くこと」が18.8%の順となっており、「特にない」は14.8%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）」、「働くこと」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」が多くなっている。

年齢別にみると、全年代で「運動（散歩など軽い運動を含む）」が最も多くなっている。また、年代が高いほど、「特にない」が多い傾向にあり、「85～89歳」で25.0%、「90歳以上」で54.7%となっている。

図表 3-4 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと



(5) 口腔の状態

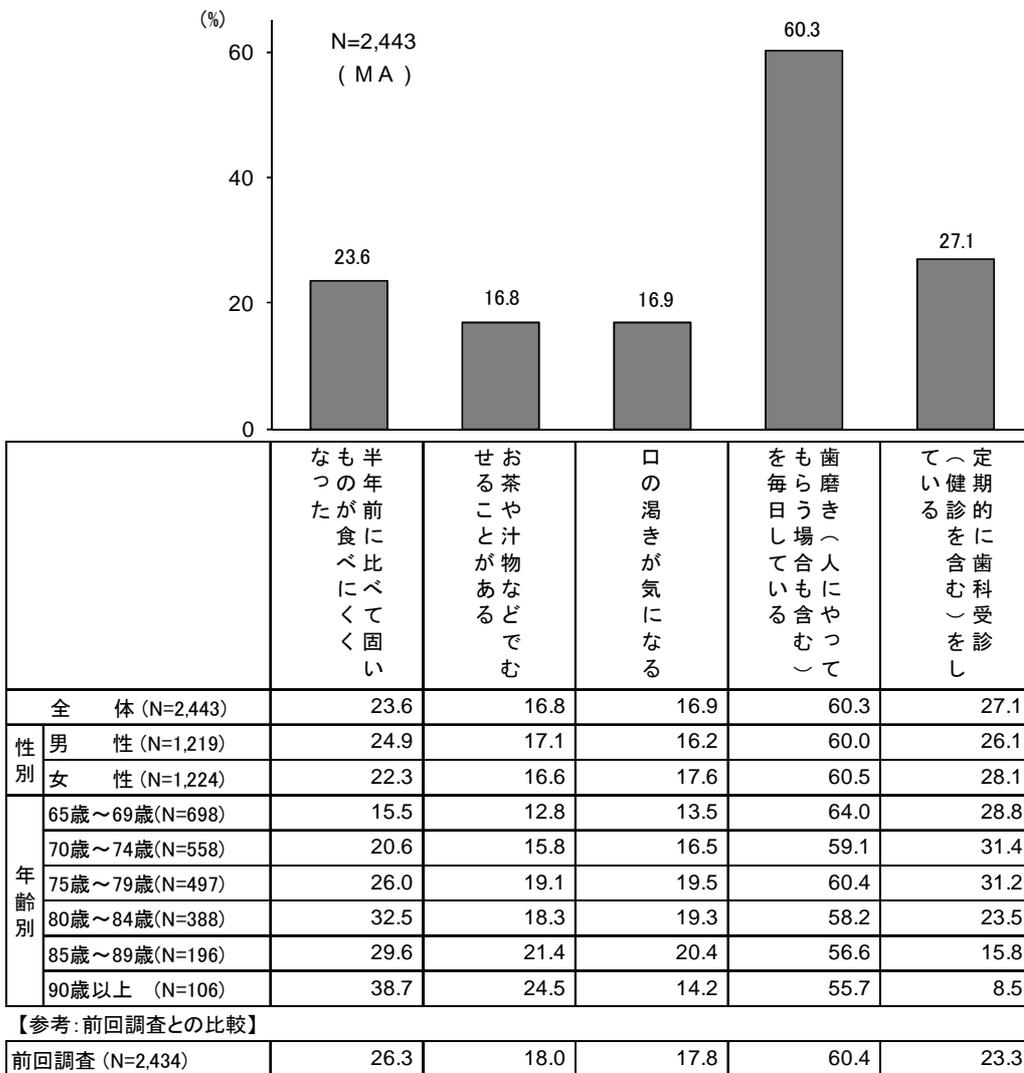
問3 (5) あなたの口腔の状態について、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

口腔の状態についてきいたところ、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が 23.6%、「お茶や汁物などでむせることがある」が 16.8%、「口の渴きが気になる」が 16.9%、「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」が 60.3%、「定期的に歯科受診をしている(健診を含む)」が 27.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物などでむせることがある」が多く、「定期的に歯科受診をしている(健診を含む)」が少ない傾向にある。

図表 3-5 口腔の状態



(6) 歯の状況

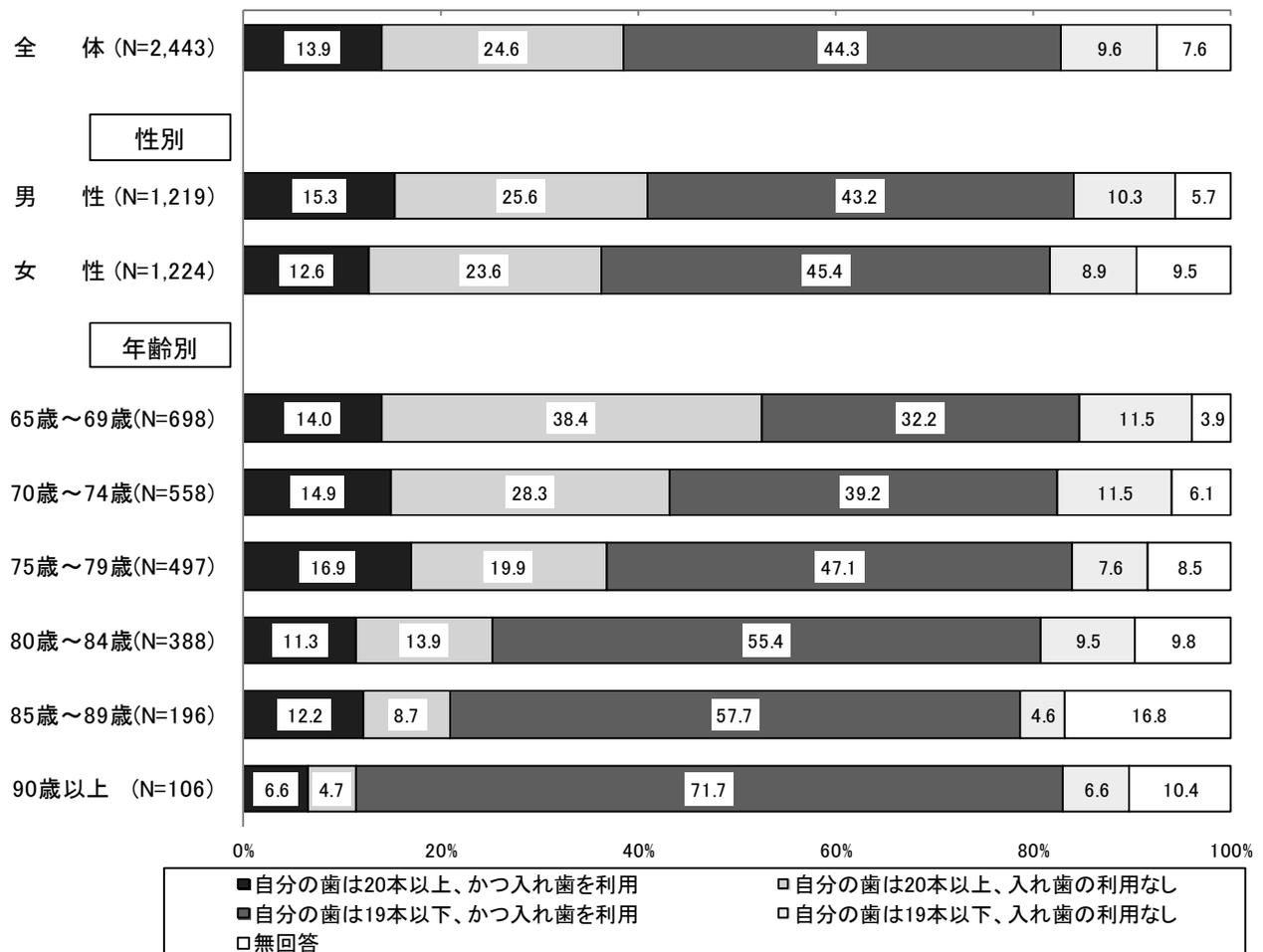
問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

歯の本数と入れ歯の使用状況についてきいたところ、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.9%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が24.6%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が44.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.6%となっている。自分の歯が20本以上の方は38.5%、19本以下の方が53.9%である。一方、入れ歯を使用している人は58.2%、使用していない人は34.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、自分の歯が20本以上の方は、年代が高いほど少なくなっており、「65歳～69歳」で半数を超えているものの、「70歳以上」で半数を下回り、「80～89歳」で2割台、「90歳以上」では11.3%となっている。また、入れ歯の使用状況については、年代が高いほど使用している人が多い傾向にあり、「65～69歳」は46.2%であるのに対し、「85～89歳」で69.9%、「90歳以上」で78.3%となっている。

図表 3-6 歯の状況



(7) 転倒（予防）

問3 (7) 転倒（予防）について、次に当てはまるものはありますか。（いくつでも）

転倒（予防）についてみると、「この1年間に転んだことがある」が20.6%、「転倒に対する不安は大きい」が26.2%、「背中が丸くなってきた」が26.5%、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」が55.5%となっている。

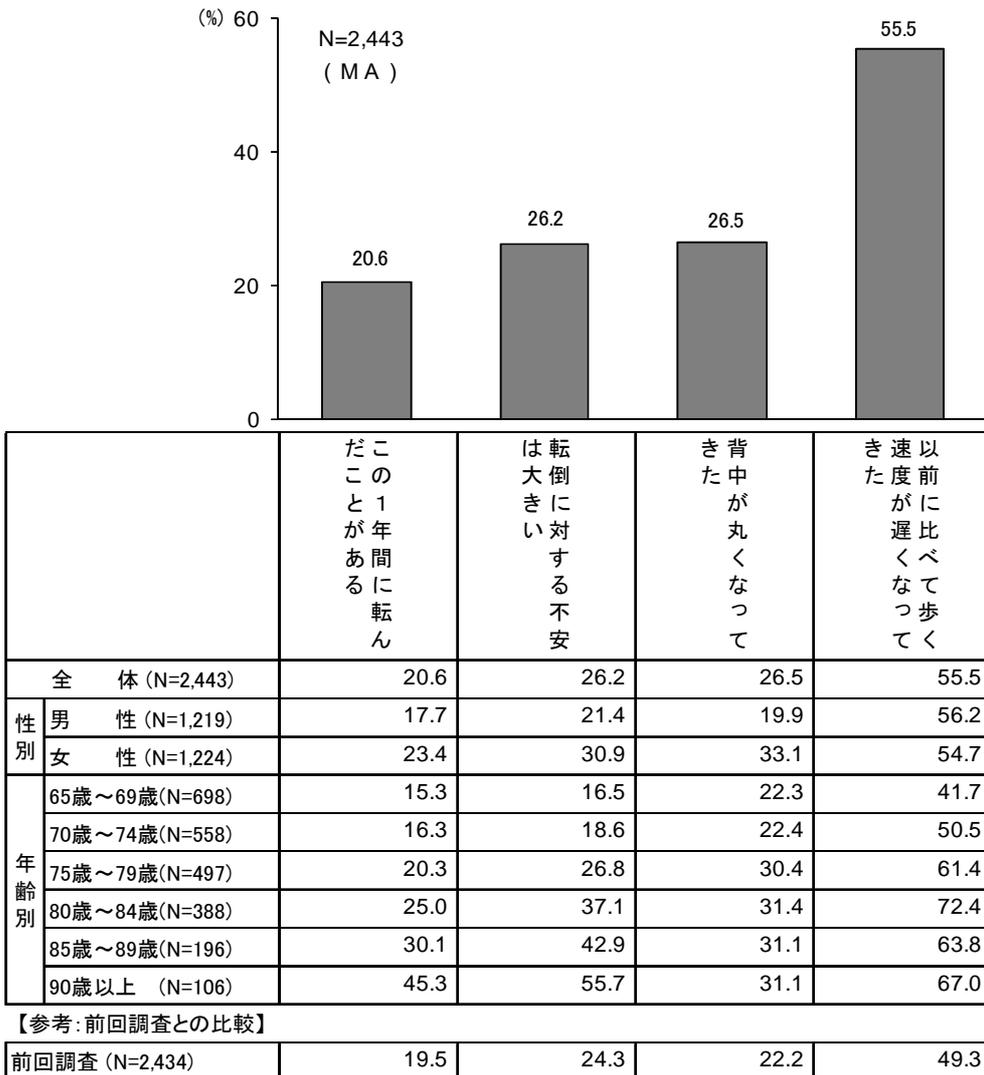
「この1年間に転んだことがある」について男女別にみると、女性は23.4%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で30.1%、「90歳以上」で45.3%となっている。

「転倒に対する不安は大きい」について男女別にみると、女性は30.9%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で42.9%、「90歳以上」で55.7%となっている。

「背中が丸くなってきた」について男女別にみると、女性は33.1%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、「65～74歳」は約2割であるのに対し、「75歳以上」で約3割となっている。

「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」について男女別にみると、大きな差はみられなかった。年齢別にみると、「80～84歳」で72.4%と多くなっている。

図表 3-7 転倒（予防）



(8) 物忘れ

問3 (8) 物忘れについて、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

物忘れの状況についてみると、「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる」が13.5%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」が57.1%、「今日が何月何日かわからない時がある」が16.8%、「5分前のことが思い出せない」が8.7%となっている。

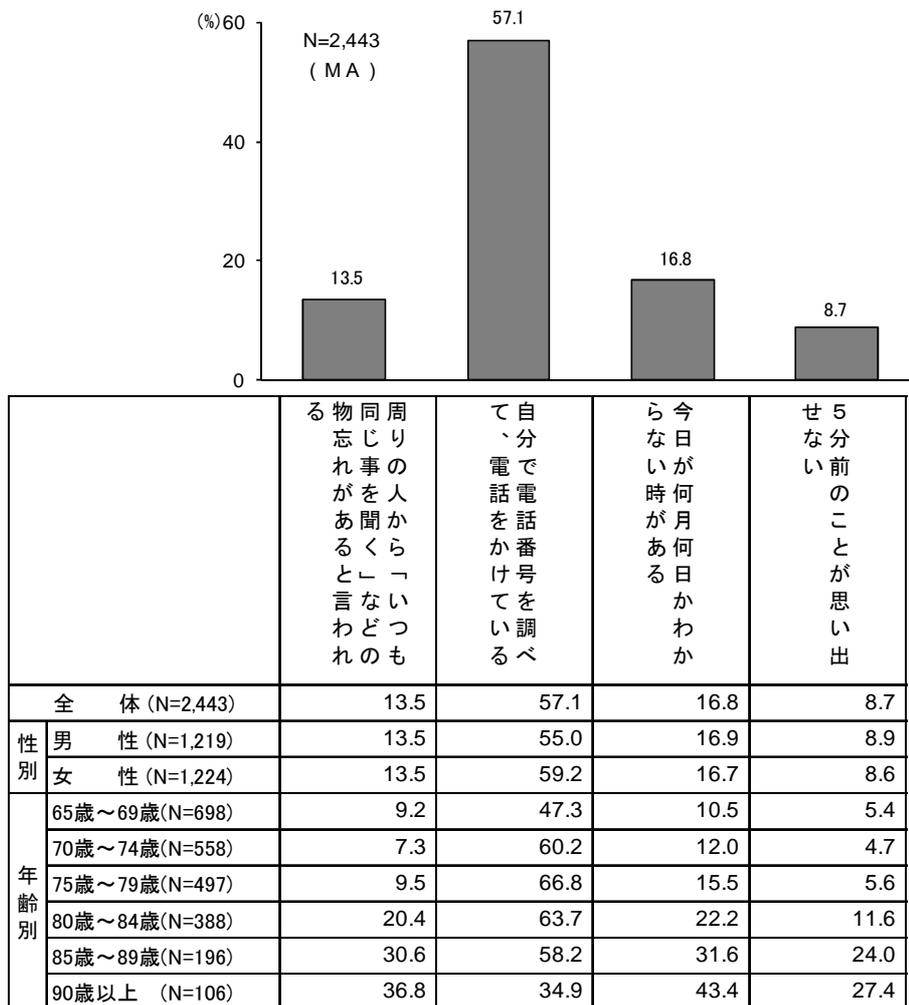
「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる」について男女別にみると、大きな差はみられなかった。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で30.6%、「90歳以上」で36.8%となっている。

「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」について男女別にみると大きな差はみられなかった。年齢別にみると、「65～69歳」で47.3%、「90歳以上」で34.9%と少なくなっている。

「今日が何月何日かわからない時がある」について男女別にみると、大きな差はみられなかった。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で31.6%、「90歳以上」で43.4%となっている。

「5分前のことが思い出せない」について男女別にみると大きな差はみられなかった。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で24.0%、「90歳以上」で27.4%となっている。

図表 3-8 物忘れ



(9) 気分が沈んだり憂うつになったこと

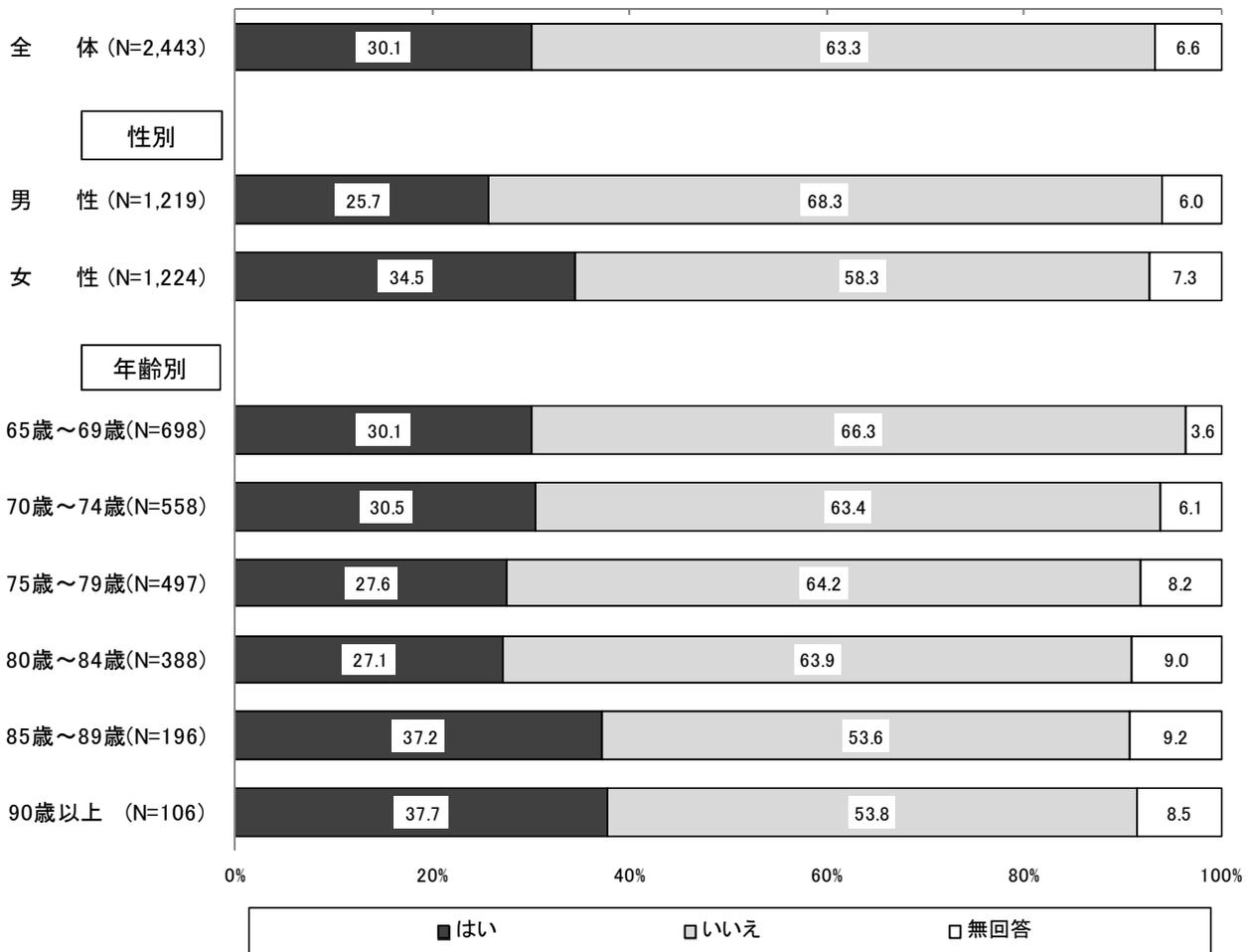
問 3 (9) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

この1か月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがあったかきいたところ、「はい(あった)」が30.1%、「いいえ(なかった)」が63.3%となっている。

男女別にみると、女性は「はい(あった)」が34.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「はい(あった)」とする人は、「85～89歳」と「90歳以上」で37%台と多くなっている。

図表 3-9 気分が沈んだり憂うつになったこと



(10) 物事に対して興味がわかなかったこと

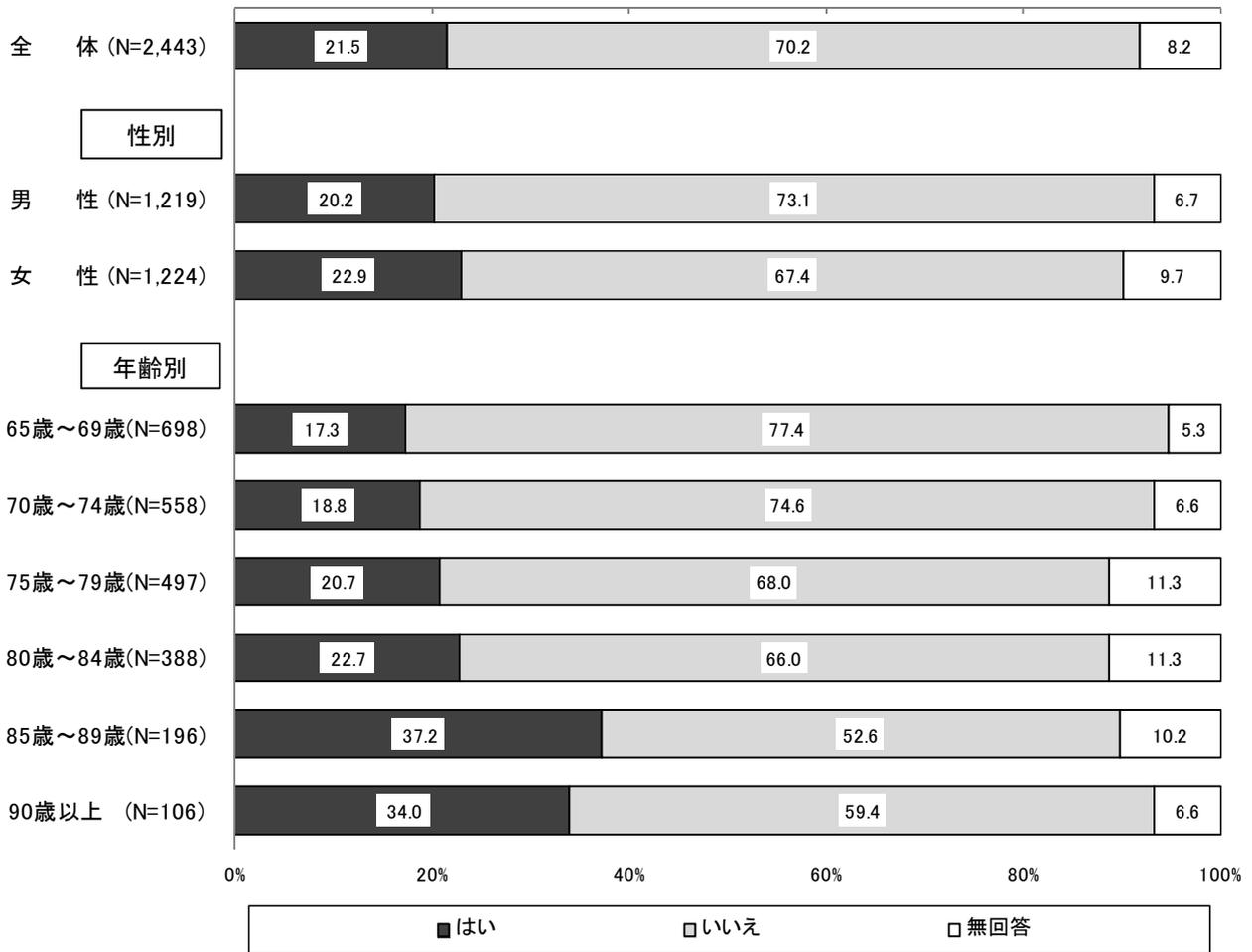
問3 (10) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかきいたところ、「はい(あった)」が21.5%、「いいえ(なかった)」が70.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「はい(あった)」とする人は「65～84歳」で約2割である一方、「85～89歳」と「90歳以上」で3割台半ばとなっている。

図表 3-10 物事に対して興味がわかなかったこと



## 4 社会参加について

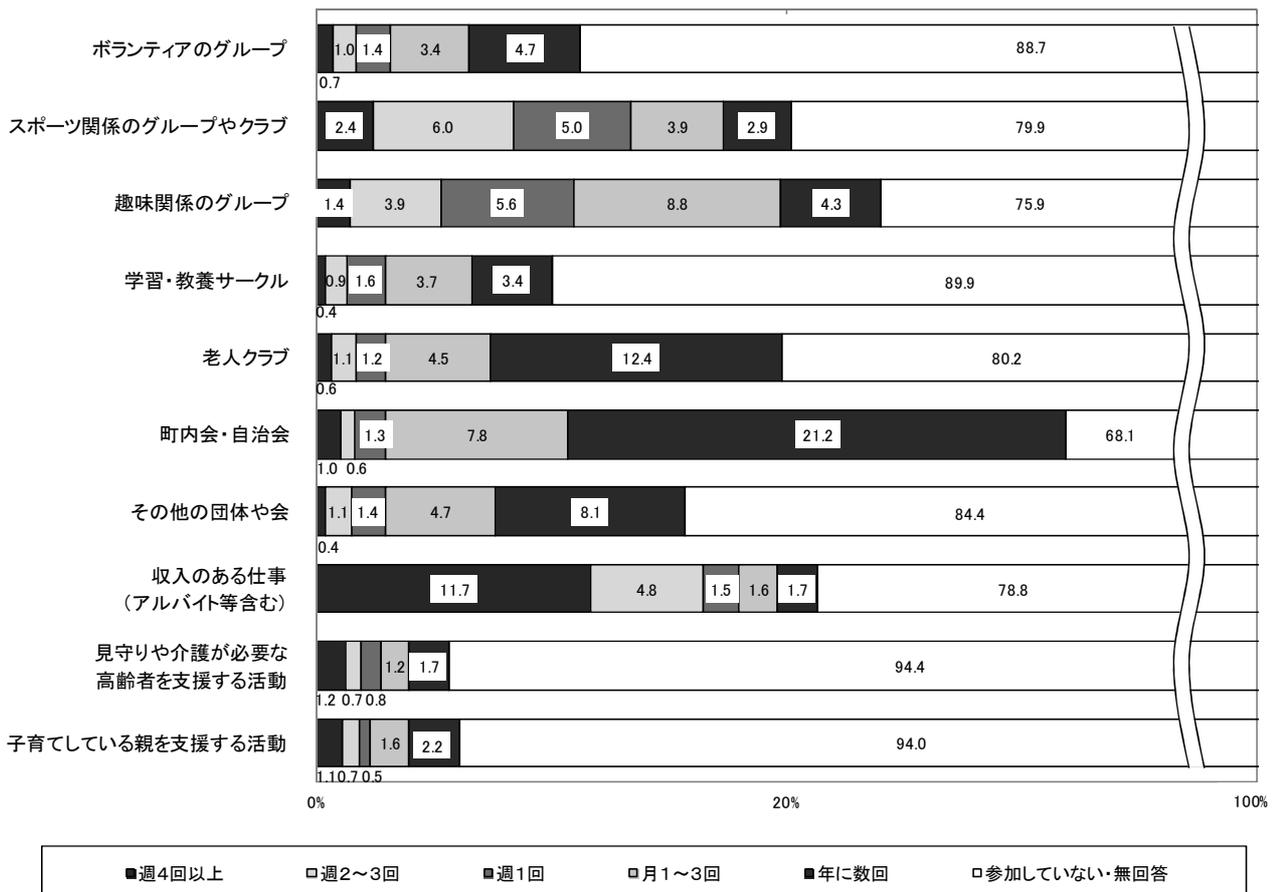
### (1) 社会参加活動への参加頻度

問4 (1) 以下のような会・グループ、活動等にどのくらいの頻度で参加していますか。

各種社会参加活動への参加状況についてきいたところ、週1回以上参加しているとした人は「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が18.0%と最も多く、「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.4%、「趣味関係のグループ」が10.9%となっている。その他の活動については1割を下回っている。

また、年に数回以上参加しているとした人は、「町内会・自治会」で31.9%と最も多く、「趣味関係のグループ」が24.0%、「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が21.3%、「スポーツ関係のグループやクラブ」20.2%、「老人クラブ」が19.8%となっているが、「子育てしている親を支援する活動」が6.1%、「見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動」が5.6%と少なくなっている。

図表 4-1-1 社会参加活動への参加頻度



週 1 回以上参加している人の割合について男女別にみると、男性は「収入のある仕事（アルバイト等含む）」で 22.2%と女性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が低いほど「スポーツ関係のグループやクラブ」と「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が多い傾向にある。

年に数回以上参加しているとした人の割合について男女別にみると、男性は「町内会・自治会」、「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が女性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が低いほど「町内会・自治会」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「ボランティアのグループ」、「収入のある仕事（アルバイト等含む）」が多い傾向にある。また、「75～79 歳」で「趣味関係のグループ」が 33.3%、「老人クラブ」が 29.9%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 4-1-2 社会参加活動への参加頻度

<週 1 回以上参加している人の割合>

(単位：%)

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループや	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	老人クラブ	町内会・自治会	その他の団体や会	収入のある仕事 (アルバイト等含む)	見守りや介護が必要な 高齢者を支援する活動	子育てしている親を支援
全 体 (N=2,443)	3.1	13.4	10.9	2.9	2.9	2.9	2.9	18.0	2.7	2.3
性別										
男 性 (N=1,219)	3.2	13.1	9.8	1.9	3.2	4.3	2.4	22.2	2.6	2.7
女 性 (N=1,224)	3.1	13.6	12.2	3.9	2.9	1.5	3.2	13.7	2.8	1.7
年齢別										
65歳～69歳(N=698)	4.2	14.2	10.5	2.6	0.4	2.9	2.5	33.6	4.2	3.3
70歳～74歳(N=558)	2.8	17.0	9.9	4.3	3.1	4.3	4.2	25.6	2.7	2.9
75歳～79歳(N=497)	4.4	15.2	16.4	3.2	4.6	2.8	2.6	9.4	2.8	2.2
80歳～84歳(N=388)	1.6	11.3	10.3	2.1	5.1	2.5	3.4	2.9	1.3	0.8
85歳～89歳(N=196)	1.0	5.1	7.7	1.5	4.1	0.5	2.0	1.5	1.0	-
90歳以上 (N=106)	1.9	1.9	2.7	2.8	1.9	1.8	-	-	0.9	0.9

<年に数回以上参加している人の割合>

(単位：%)

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループや	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	老人クラブ	町内会・自治会	その他の団体や会	収入のある仕事 (アルバイト等含む)	見守りや介護が必要な 高齢者を支援する活動	子育てしている親を支援
全 体 (N=2,443)	11.2	20.2	24.0	10.0	19.8	31.9	15.7	21.3	5.6	6.1
性別										
男 性 (N=1,219)	13.4	22.5	22.4	9.0	22.6	41.7	19.2	26.3	6.1	7.7
女 性 (N=1,224)	9.3	17.7	25.9	10.9	17.3	22.1	11.8	16.3	5.1	4.4
年齢別										
65歳～69歳(N=698)	14.8	21.4	24.4	9.0	11.7	40.5	19.5	37.9	7.6	8.7
70歳～74歳(N=558)	13.9	25.4	26.0	14.0	19.4	38.2	18.6	29.4	6.6	7.2
75歳～79歳(N=497)	12.0	23.4	33.3	11.8	29.9	34.1	15.6	13.8	6.0	5.6
80歳～84歳(N=388)	7.0	17.5	20.4	7.5	27.0	22.9	12.4	4.4	3.4	3.6
85歳～89歳(N=196)	2.5	6.6	11.7	5.6	15.8	9.7	6.6	2.0	1.0	1.0
90歳以上 (N=106)	3.7	1.9	5.5	4.7	10.4	5.5	2.8		1.8	1.8

(2) 地域づくり活動への参加（世話役として）

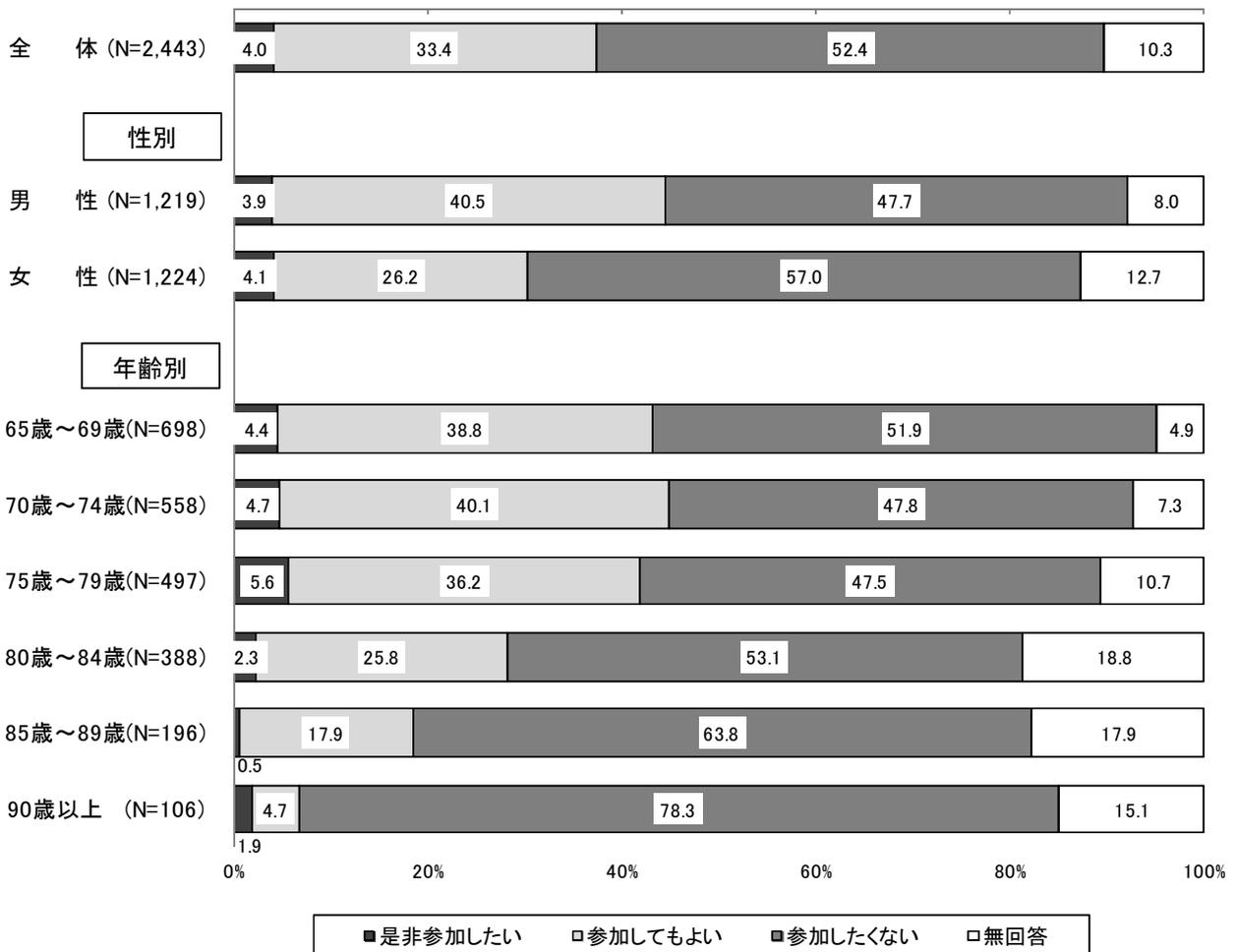
問 4（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に 企画・運営（お世話役） として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志によってグループ活動などを行うことによる、いきいきとした地域づくり活動にお世話役として参加してみたいかどうかきいたところ、「是非参加したい」が 4.0%、「参加してもよい」が 33.4%、「参加したくない」が 52.4%となっている。

男女別にみると、女性は「参加したくない」が 57.0%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「是非参加したい」と「参加してもよい」が多くなっており、合わせると「65～79 歳」は 4 割台と多い一方、「85～89 歳」で 18.4%、「90 歳以上」で 6.6%と少なくなっている。

図表 4-2 地域づくり活動への参加（世話役として）



(3) 地域づくり活動への参加（参加者として）

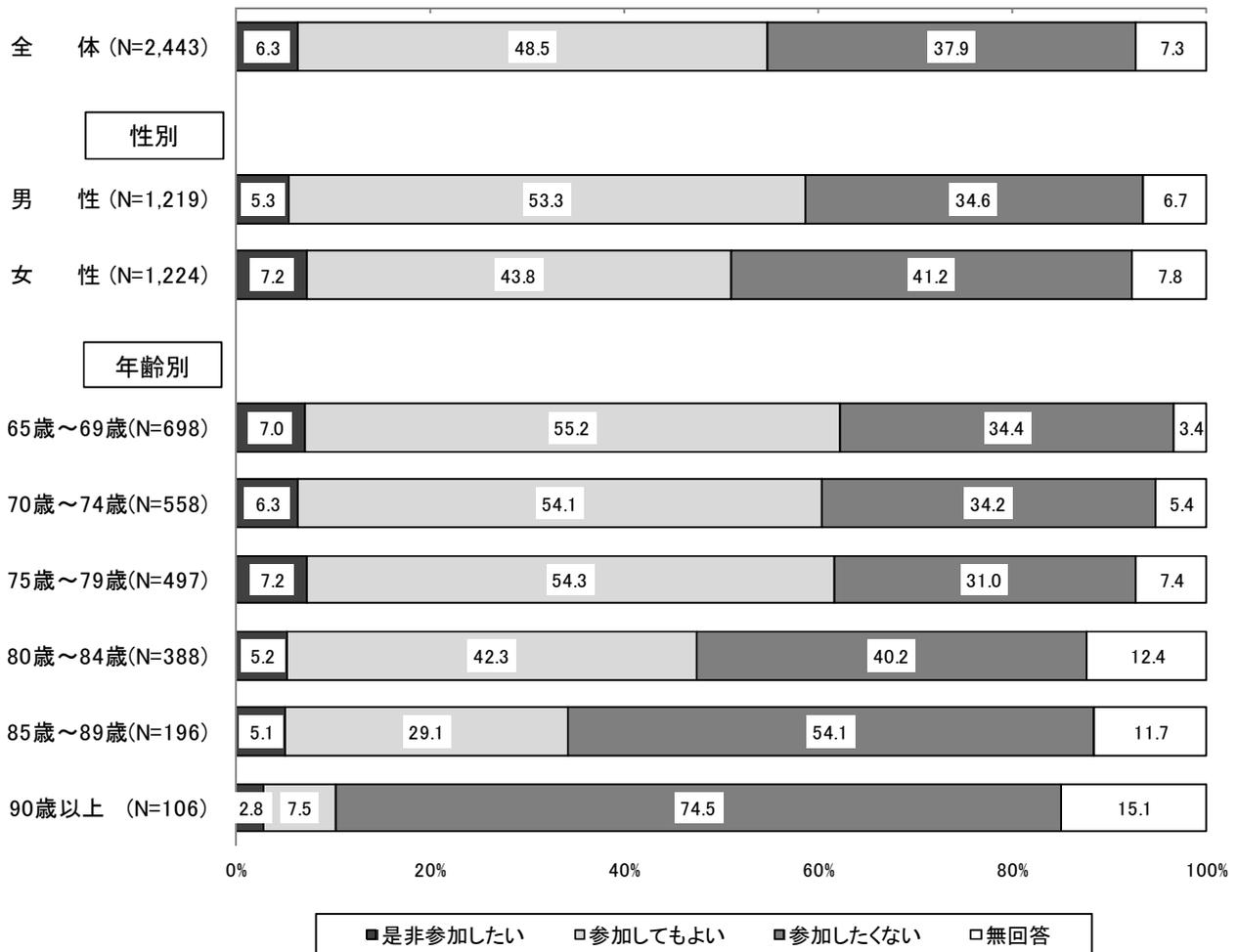
問4（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に 参加者 として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志によってグループ活動などを行うことによる、いきいきとした地域づくり活動に参加者として参加してみたいかどうかきいたところ、「是非参加したい」が6.3%、「参加してもよい」が48.5%、「参加したくない」が37.9%となっている。

男女別にみると、女性は「参加したくない」が41.2%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「是非参加したい」と「参加してもよい」が多くなっており、合わせると「65～79歳」は6割台と多い一方、「85～89歳」で34.2%、「90歳以上」で10.3%と少なくなっている。

図表 4-3 地域づくり活動への参加（参加者として）



## 5 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

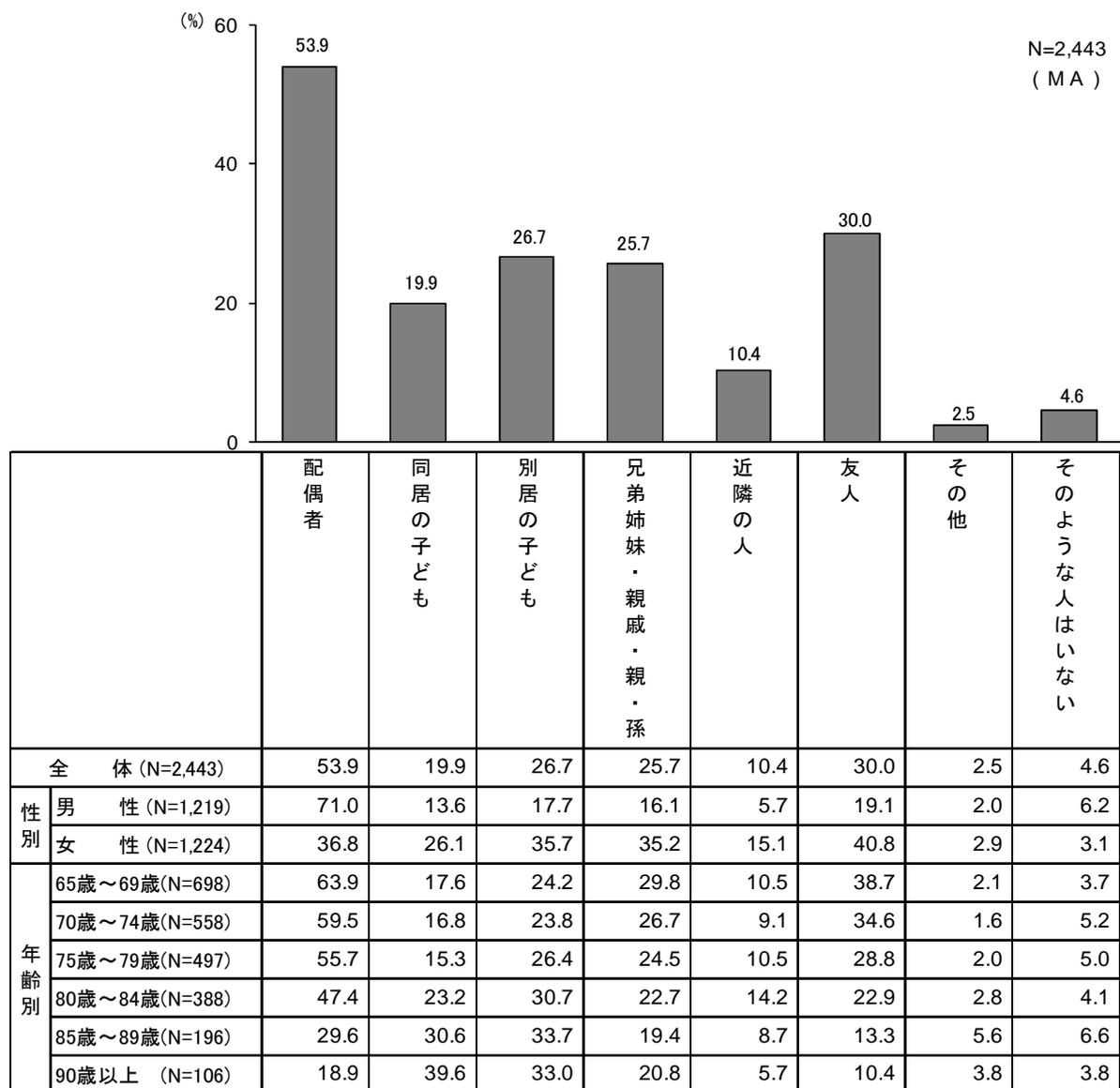
問5 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてきいたところ、「配偶者」が53.9%と最も多く、次いで「友人」が30.0%、「別居の子ども」が26.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.7%、「同居の子ども」が19.9%などとなっており、「そのような人はいない」は4.6%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が71.0%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、年代が高いほど「別居の子ども」、「同居の子ども」が多い傾向にある。

図表 5-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

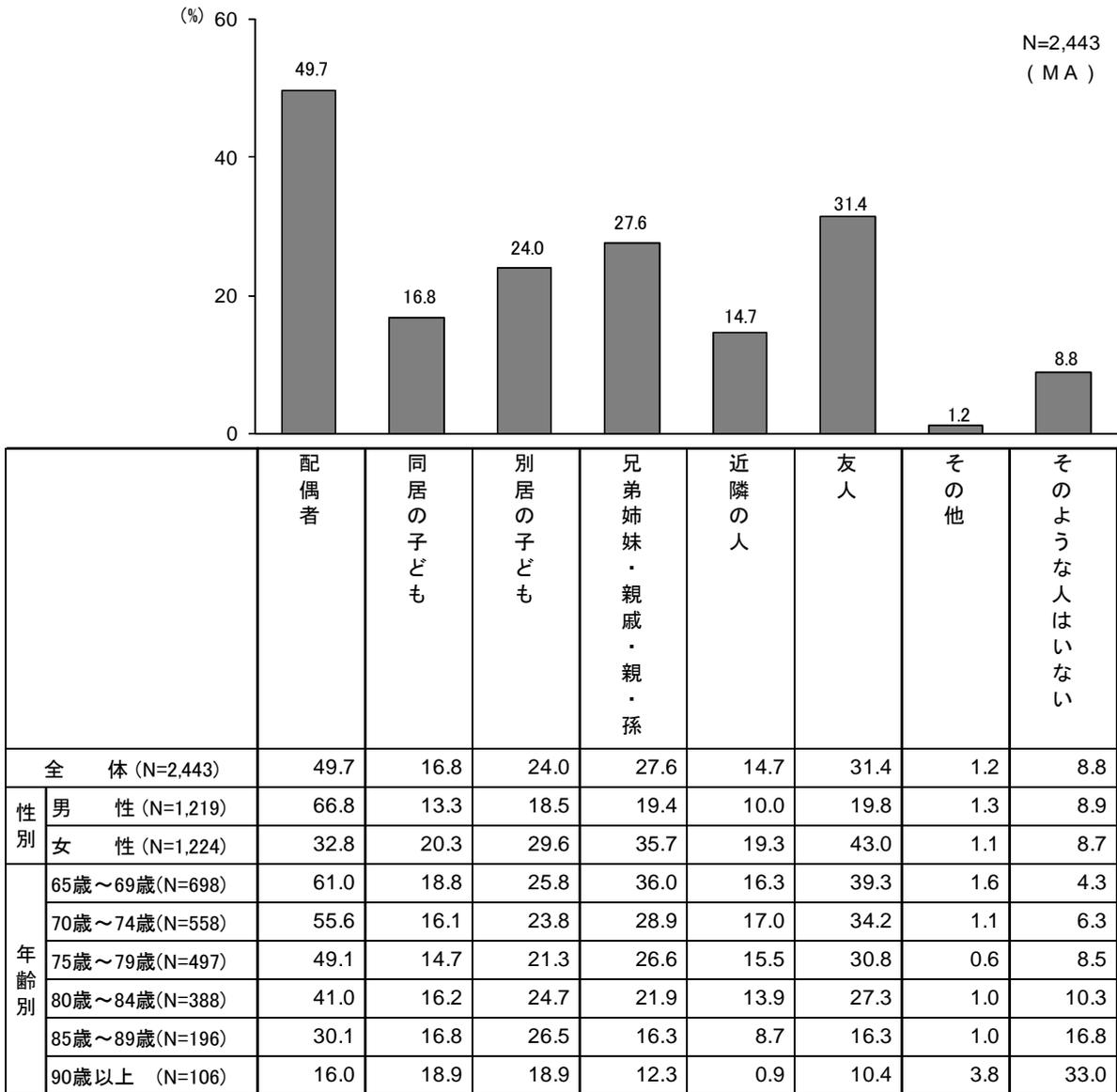
問5 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

反対に心配事や愚痴を聞いてあげる人についてきいたところ、「配偶者」が49.7%と最も多く、次いで「友人」が31.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.6%、「別居の子ども」が24.0%、「同居の子ども」が16.8%などとなっており、「そのような人はいない」は8.8%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が66.8%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多い傾向にある。

図表 5-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人



### (3) 看病や世話をしてくれる人

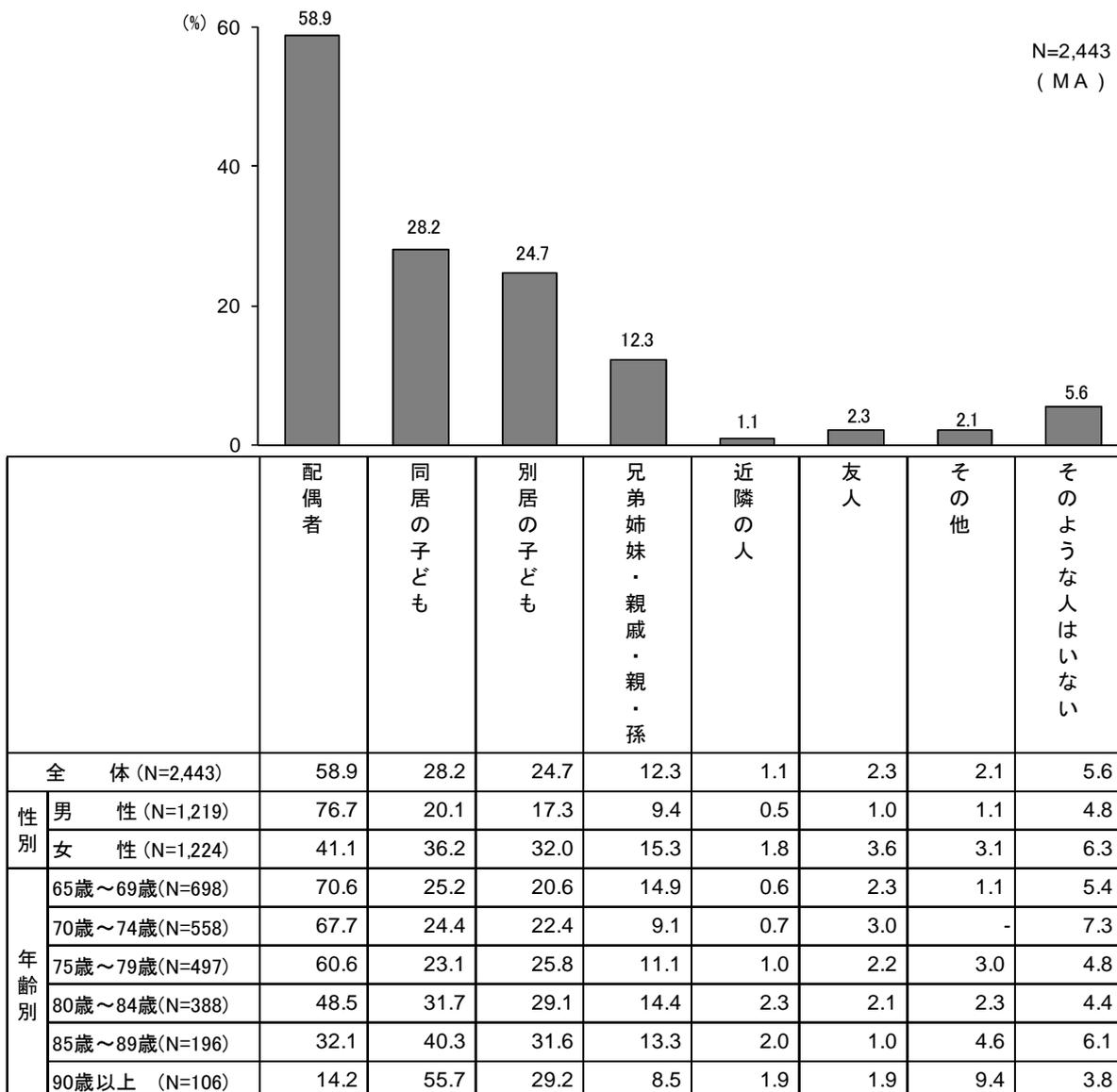
問5 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。  
(いくつでも)

看病や世話をしてくれる人についてきいたところ、「配偶者」が58.9%と最も多く、次いで「同居の子ども」が28.2%、「別居の子ども」が24.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.3%などとなっており、「そのような人はいない」は5.6%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が76.7%と女性に比べて際立って多く、女性は「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」が多く、年代が高いほど「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

図表 5-3 看病や世話をしてくれる人



(4) 看病や世話をしている人

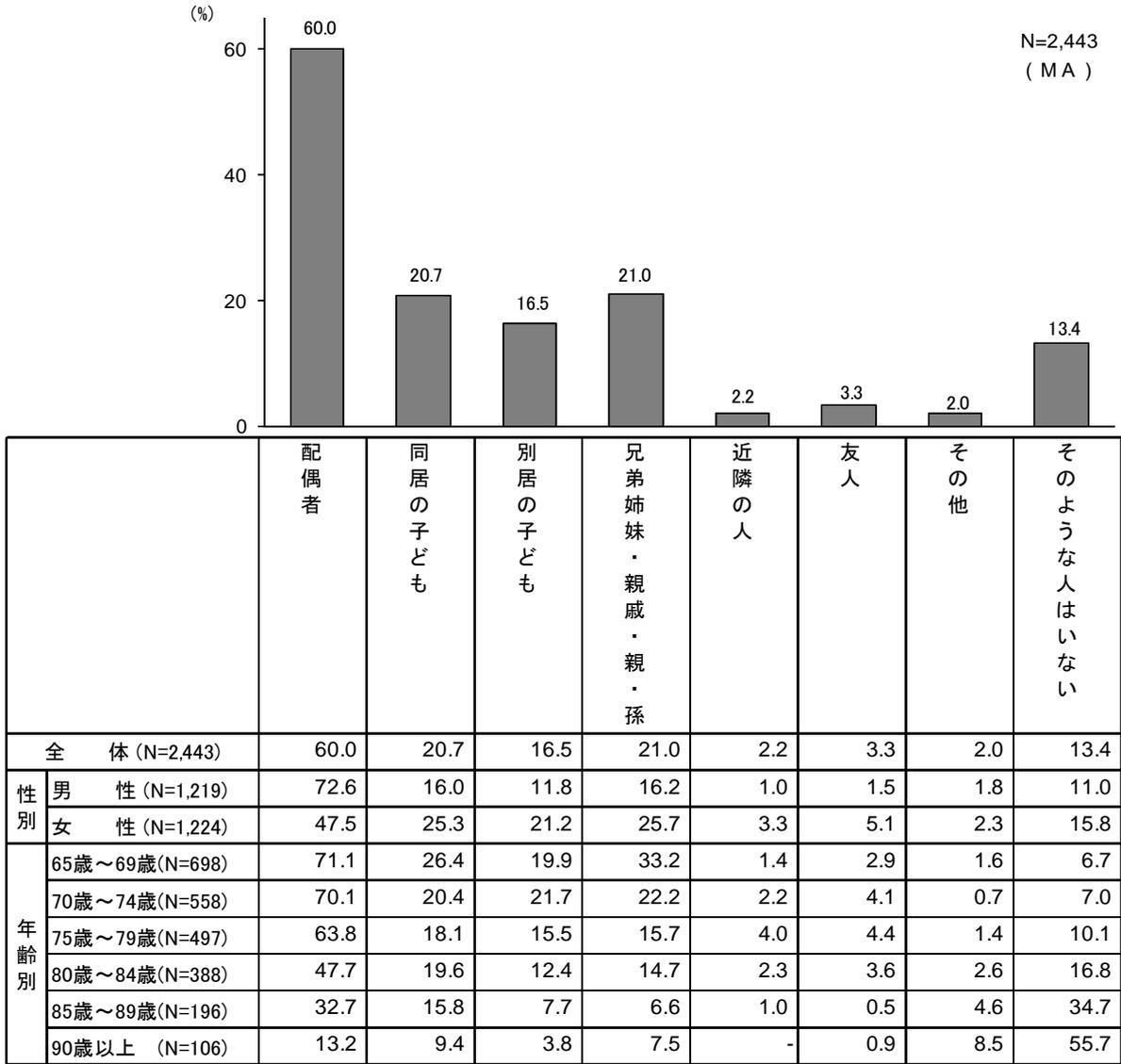
問5 (4) 反対に、あなたが看病や世話をしている人はどなたですか。(いくつでも)

反対に、看病や世話をしている人についてきいたところ、「配偶者」が60.0%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.0%、「同居の子ども」が20.7%、「別居の子ども」が16.5%、などとなっており、「そのような人はいない」は13.4%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が72.6%と女性に比べて多く、女性は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」、「別居の子ども」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

図表 5-4 看病や世話をしてくれる人



(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

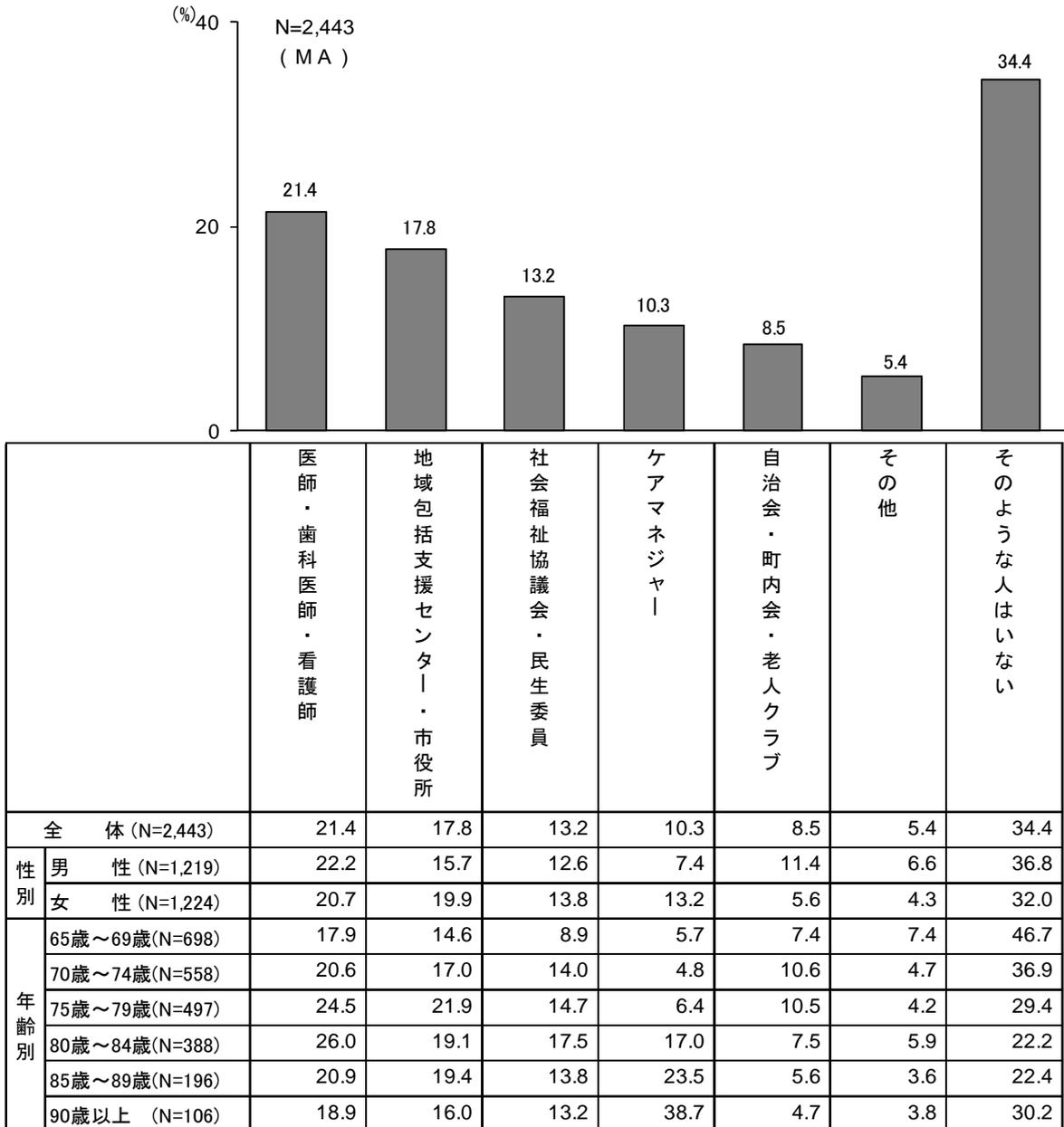
問5 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてきいたところ、「医師・歯科医師・看護師」が21.4%と多く、「地域包括支援センター・市役所」が17.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が13.2%、「ケアマネジャー」が10.3%などとなっており、「そのような人はいない」が34.4%となっている。

男女別にみると、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」が女性に比べて多く、女性は「ケアマネジャー」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で、「そのような人はいない」が46.7%と多くなっている。

図表 5-5 家族や友人・知人以外の相談相手



## 6 認知症について

### (1) 認知症について知っていること

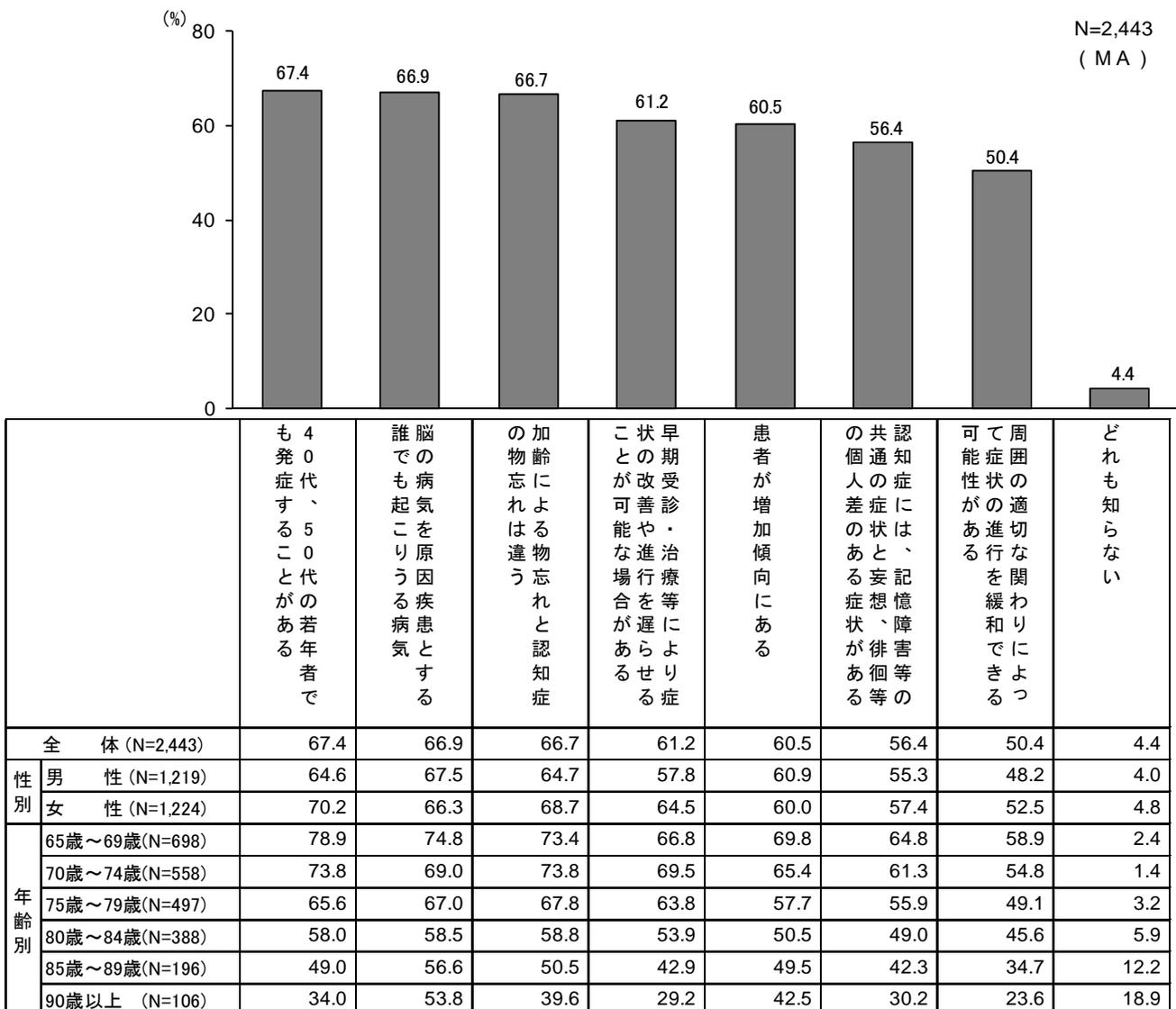
問 6 (1) 「認知症」について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

認知症について知っていることについてきいたところ、「40代、50代の若年者でも発症することがある」、「脳の病気を原因疾患とする誰でも起こりうる病気」、「加齢による物忘れと認知症の物忘れは違う」がそれぞれ67%前後と多く、「早期受診・治療等により症状の改善や進行を遅らせることが可能な場合がある」と「患者が増加傾向にある」も6割超となっており、各項目で半数を超えている。一方、「どれも知らない」は4.4%となっている。

男女別にみると、男性は「周囲の適切な関わりによって症状の進行を緩和できる可能性がある」が半数を下回っている。

年齢別にみると、年代が高いほど各項目で少ない傾向にある一方、「どれも知らない」が「85～89歳」で12.2%、「90歳以上」で18.9%となっている。

図表 6-1 認知症について知っていること



(2) 認知症発症による不安なこと

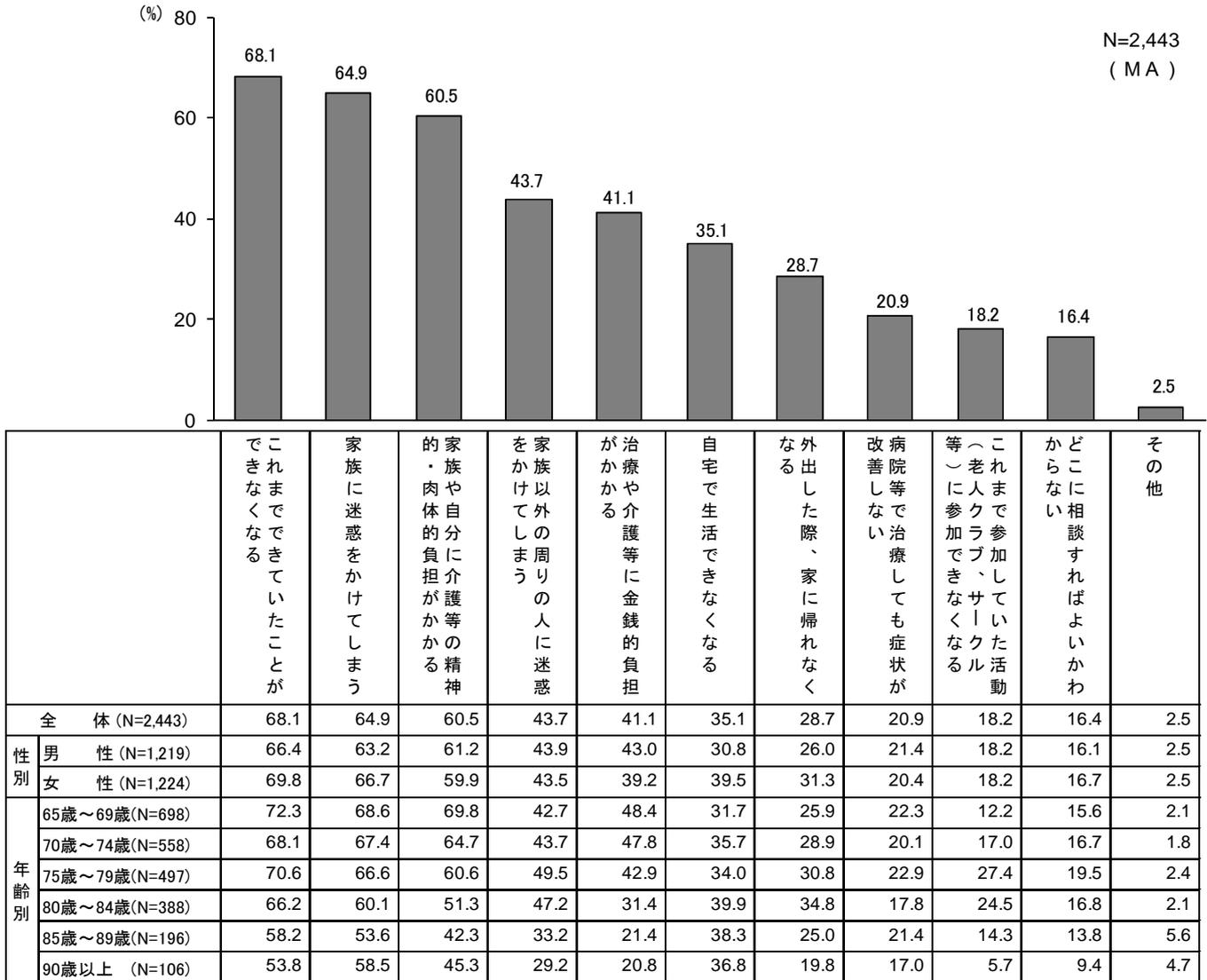
問6 (2) もし、あなたや家族が認知症になったら、どのようなことが不安ですか。  
(いくつでも)

自分や家族が認知症になった場合、不安に思うことについてきいたところ、「これまでできていたことができなくなる」が68.1%と最も多く、次いで「家族に迷惑をかけてしまう」が64.9%、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」が60.5%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまう」が43.7%、「治療や介護等に金銭的負担がかかる」が41.1%の順となっている。

男女別にみると、女性は「自宅で生活できなくなる」が39.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」、「治療や介護等に金銭的負担がかかる」が多い傾向にある。

図表 6-2 認知症発症による不安なこと



(3) 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援

問6 (3) 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思いますか。(3つまで○印を付けてください)

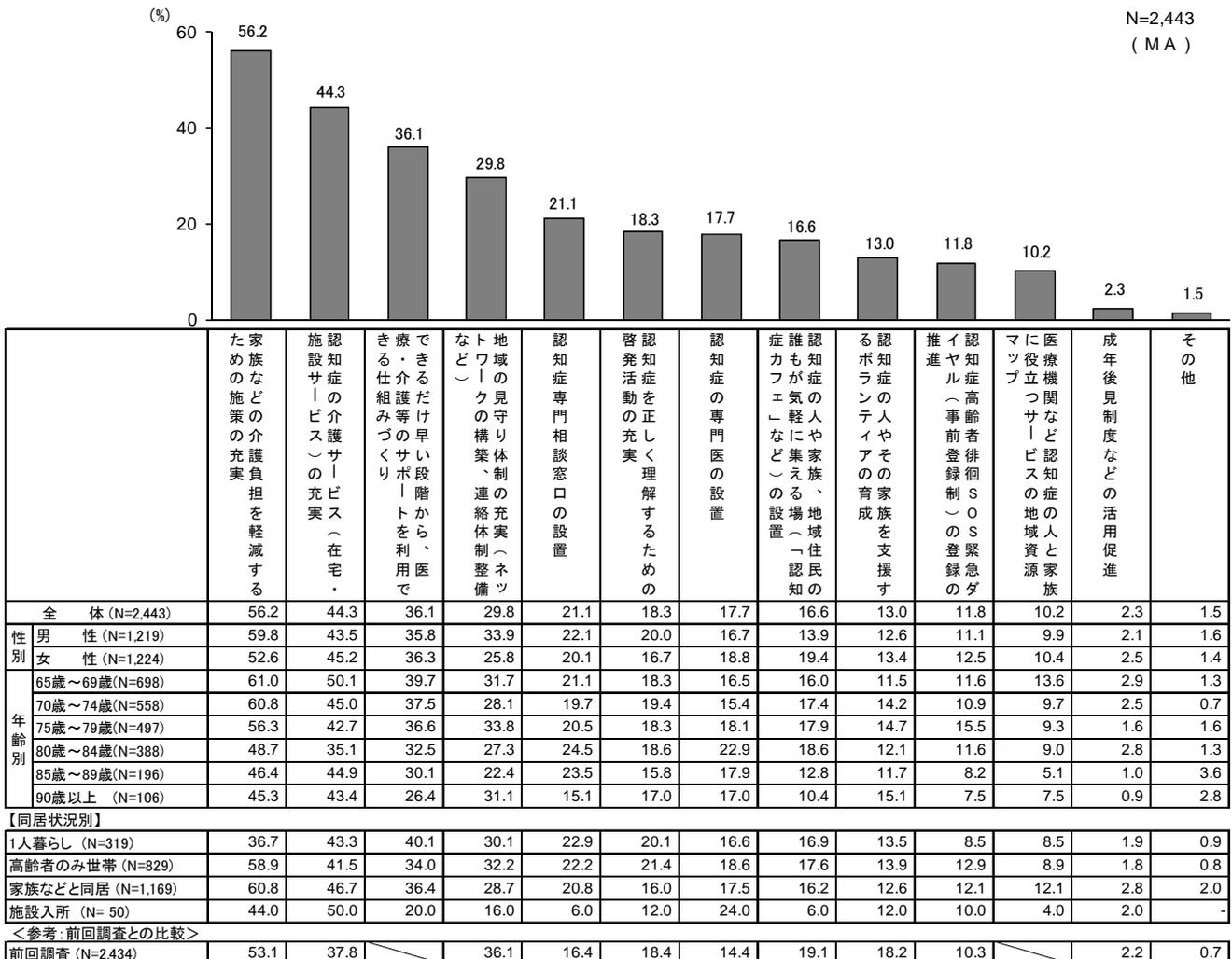
認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思うかきいたところ、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が56.2%と最も多く、次いで「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が44.3%、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」が36.1%、「地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）」が29.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は「地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）」が女性に比べて多く、女性は「認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」が多くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」と「施設入所」は「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が最も多くなっている。

図表 6-3 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援



## 7 高齢者福祉について

### (1) 地域包括支援センターの利用状況

問7(1) 身近な地域で総合的な相談ができる機関として、地域包括支援センターを利用したことがありますか。

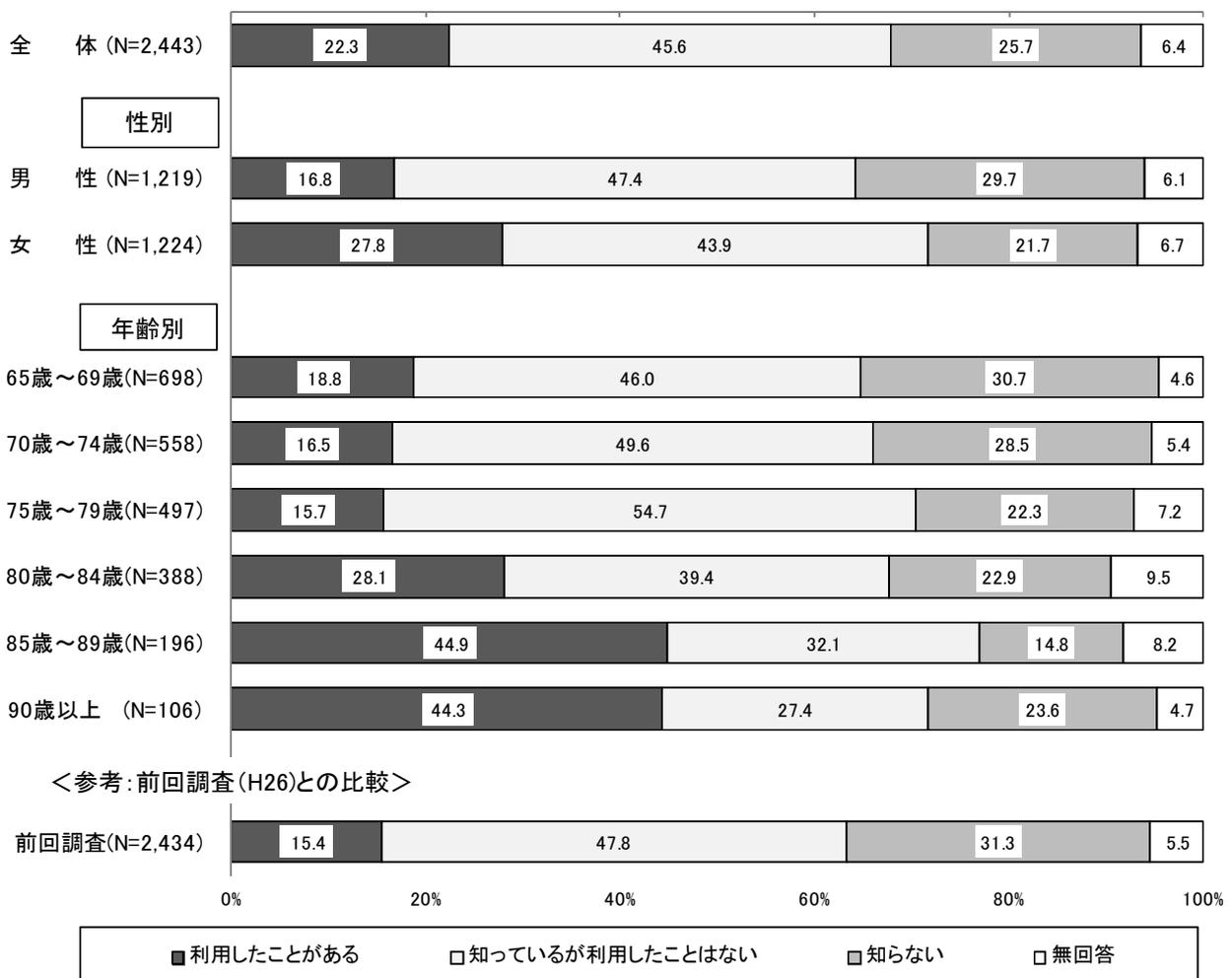
身近な地域で総合的な相談に対応できる機関として、地域包括支援センターを利用したことがあるかきいたところ、「利用したことがある」が22.3%、「知っているが利用したことはない」が45.6%、「知らない」が25.7%となっている。

男女別にみると、女性は「利用したことがある」が27.8%と男性に比べて多くなっている。

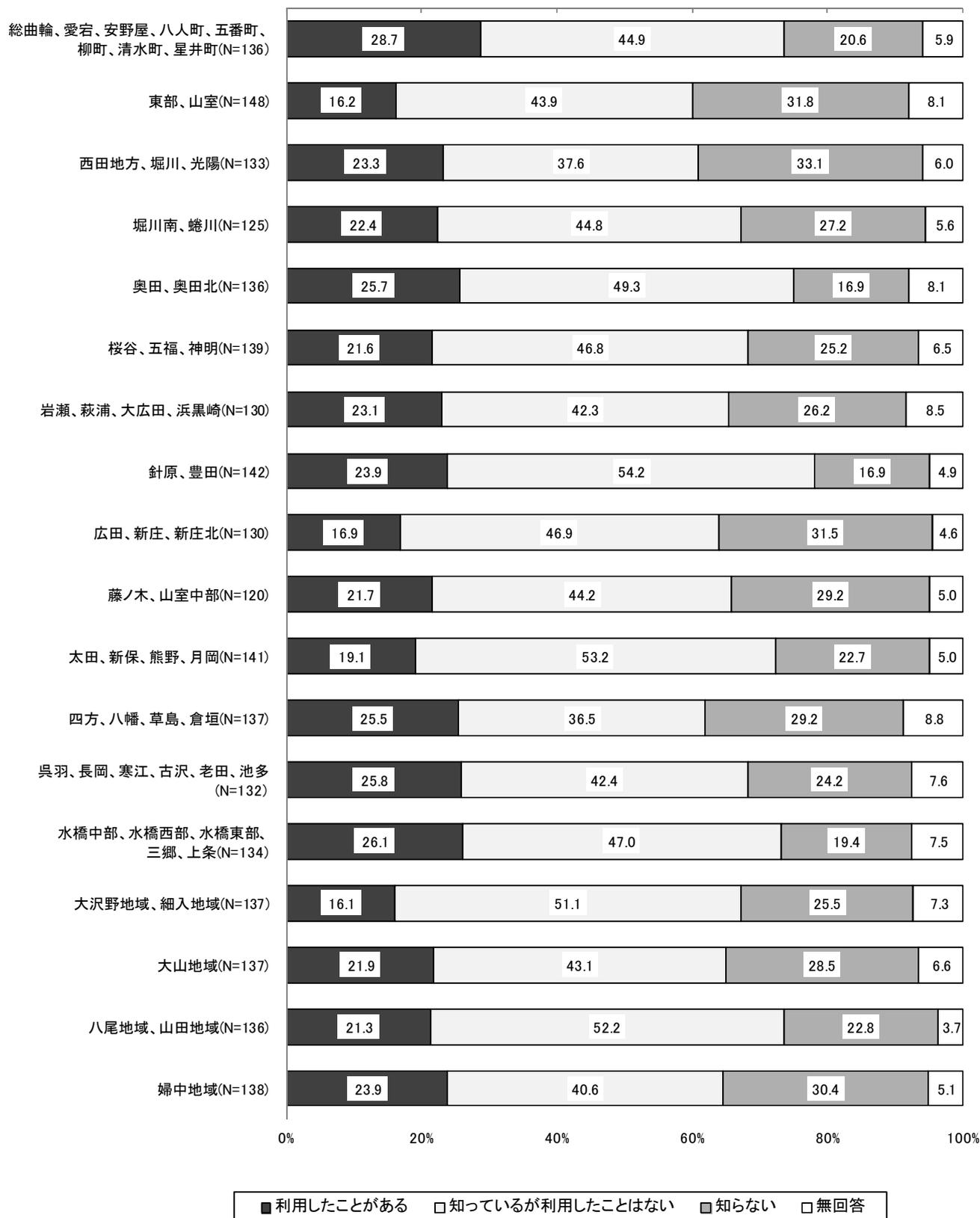
年齢別にみると、年代が高いほど「利用したことがある」とした人が多い傾向にあり、「85～89歳」と「90歳以上」で44%台となっている。

圏域別にみると、「総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町」、「水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条」、「呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多」、「奥田、奥田北」、「四方、八幡、草島、倉垣」で「利用したことがある」が2割台後半と他の地域に比べて多く、「西田地方、堀川、光陽」、「東部、山室」、「広田、新庄、新庄北」、「婦中地域」で「知らない」が3割超となっている。

図表 7-1-1 地域包括支援センターの利用状況



図表 7-1-2 地域包括支援センターの利用状況【圏域別】



(2) 地域包括支援センターに相談したい用件

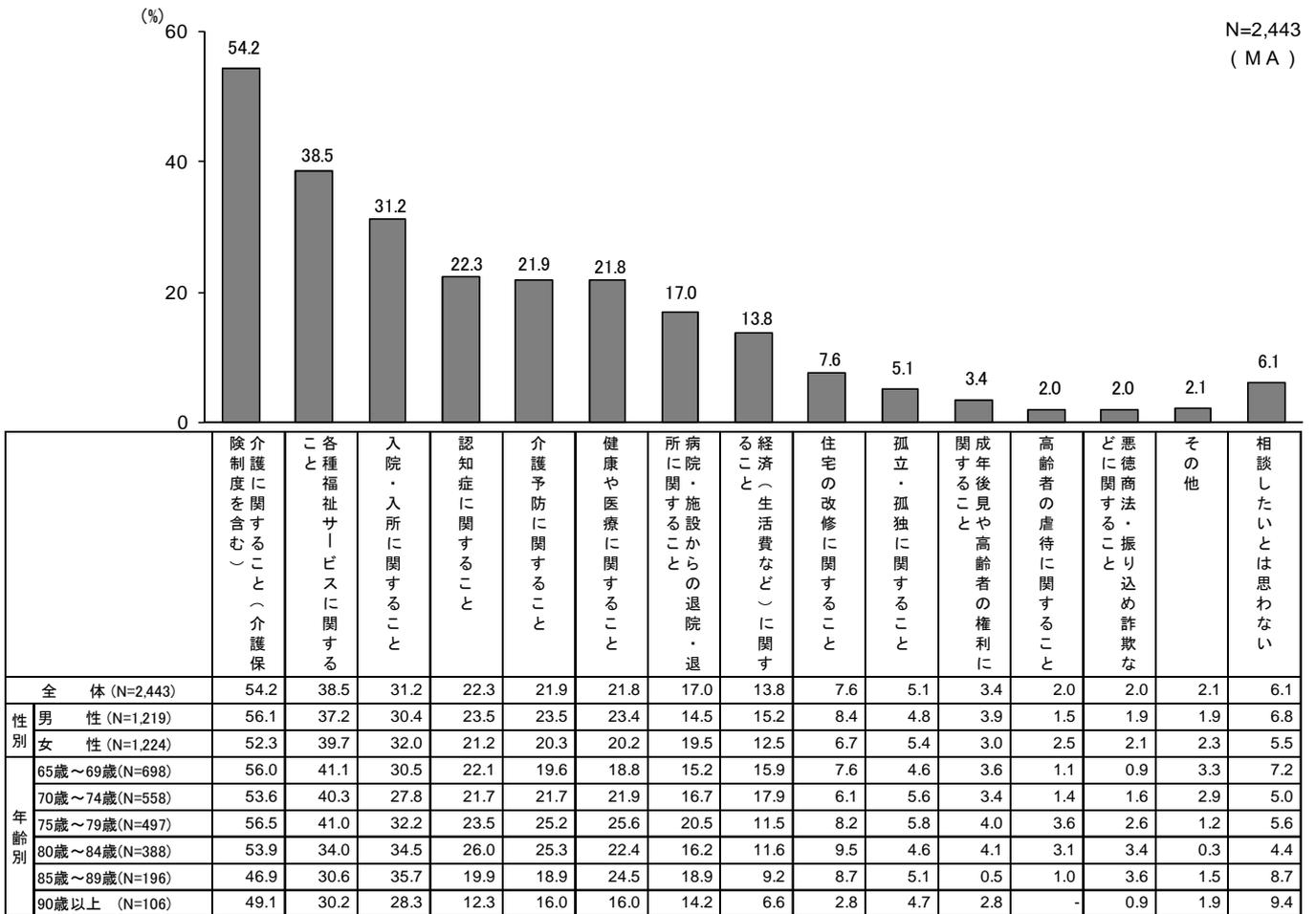
問7(2) 今後、地域包括支援センターにどのような用件で相談したいと思いますか。(いくつでも)

地域包括支援センターにどのような用件で相談したいかきいたところ、「介護に関すること（介護保険制度を含む）」が54.2%と最も多く、次いで「各種福祉サービスに関すること」が38.5%、「入院・入所に関すること」が31.2%、「認知症に関すること」が22.3%の順となっている。

男女別にみると、女性は「病院・施設からの退院・退所に関すること」が19.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「経済（生活費など）に関すること」が多い傾向にある。

図表 7-2-1 地域包括支援センターに相談したい用件



図表 7-2-2 地域包括支援センターに相談したい用件【圏域別】

	(介護に関する 制度を含む)	各種福祉サ ービスに 関すること	入院・入 所に 関すること	認知症に 関すること	介護予 防に 関すること	健康や 医療に 関すること	病院・施 設から の退院・ 退所に 関す ること	経済(生 活費な ど)に 関す ること	住宅の 改修に 関す ること	孤立・ 孤独に 関す ること	成年後 見や 高齢 者の 権利 に 関 す こ と	高齢 者の 虐待 に 関 す こ と	悪徳 商法 ・振 り込 め詐 欺な どに 関 す こ と	その他	相談 した い と は 思 わ な い
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	58.8	37.5	34.6	25.0	23.5	25.7	19.9	12.5	10.3	5.9	4.4	0.7	-	3.7	2.9
東部、山室 (N=148)	51.4	33.1	32.4	25.7	26.4	24.3	16.9	13.5	5.4	4.1	4.1	2.0	-	0.7	6.1
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	51.9	37.6	27.1	21.8	27.1	22.6	15.8	12.8	6.8	9.8	6.0	3.0	3.8	2.3	7.5
堀川南、蟻川 (N=125)	56.0	40.8	32.8	28.8	28.0	26.4	16.0	10.4	9.6	8.0	1.6	1.6	5.6	1.6	5.6
奥田、奥田北 (N=136)	57.4	48.5	34.6	17.6	17.6	22.8	23.5	5.1	6.6	3.7	2.9	0.7	1.5	2.9	1.5
桜谷、五福、神明 (N=139)	51.1	40.3	28.1	21.6	15.8	18.7	15.1	10.8	8.6	5.0	3.6	2.2	2.2	1.4	9.4
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	50.0	37.7	32.3	21.5	16.2	20.0	16.2	17.7	10.8	5.4	3.1	4.6	4.6	4.6	6.2
針原、豊田 (N=142)	56.3	41.5	23.9	24.6	22.5	23.2	12.0	20.4	4.2	9.2	6.3	3.5	2.1	2.1	5.6
広田、新庄、新庄北 (N=130)	53.1	33.8	35.4	29.2	24.6	25.4	19.2	21.5	4.6	3.8	2.3	2.3	1.5	1.5	7.7
藤ノ木、山室中部 (N=120)	66.7	45.8	32.5	24.2	17.5	25.0	21.7	9.2	6.7	2.5	0.8	-	2.5	-	5.0
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	55.3	35.5	27.7	14.9	26.2	17.0	12.8	12.1	5.0	5.7	3.5	2.8	1.4	2.1	7.1
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	50.4	40.1	29.2	18.2	16.1	15.3	18.2	13.1	8.8	2.9	2.9	1.5	1.5	3.6	7.3
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=132)	58.3	38.6	28.8	29.5	23.5	20.5	18.9	11.4	9.1	3.0	0.8	0.8	0.8	2.3	4.5
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=134)	50.7	40.3	35.8	15.7	20.9	22.4	17.2	18.7	6.7	5.2	2.2	1.5	1.5	3.0	6.7
大沢野地域、細入地域 (N=137)	51.8	34.3	31.4	17.5	21.9	18.2	14.6	15.3	4.4	5.8	4.4	1.5	0.7	2.2	5.8
大山地域 (N=137)	51.1	35.0	38.7	27.0	24.8	19.7	14.6	19.0	7.3	4.4	6.6	2.2	3.6	2.2	9.5
八尾地域、山田地域 (N=136)	60.3	33.1	27.2	20.6	22.1	25.7	16.9	14.0	14.0	3.7	1.5	3.7	2.2	-	6.6
婦中地域 (N=138)	48.6	42.0	30.4	19.6	20.3	19.6	17.4	10.9	8.0	4.3	3.6	0.7	1.4	1.4	5.8

### (3) 望ましい介護の生活形態

問 7 (3) 介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。  
(最も近いもの1つのみ○印を付けてください)

介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思うかきいたところ、「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 23.6%、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が 30.7%、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が 7.5%、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい」が 11.7%、「特別養護老人ホームなどで、安心した生活を送りたいが、個室にはこだわらない」が 6.8%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい」が 4.2%などとなっており、約6割の人が、住み慣れた地域での生活を望んでいる。

男女別にみると、男性は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 28.5%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「85～89 歳」と「90 歳以上」で「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」がそれぞれ 28.6%、34.0%と最も多くなっている。

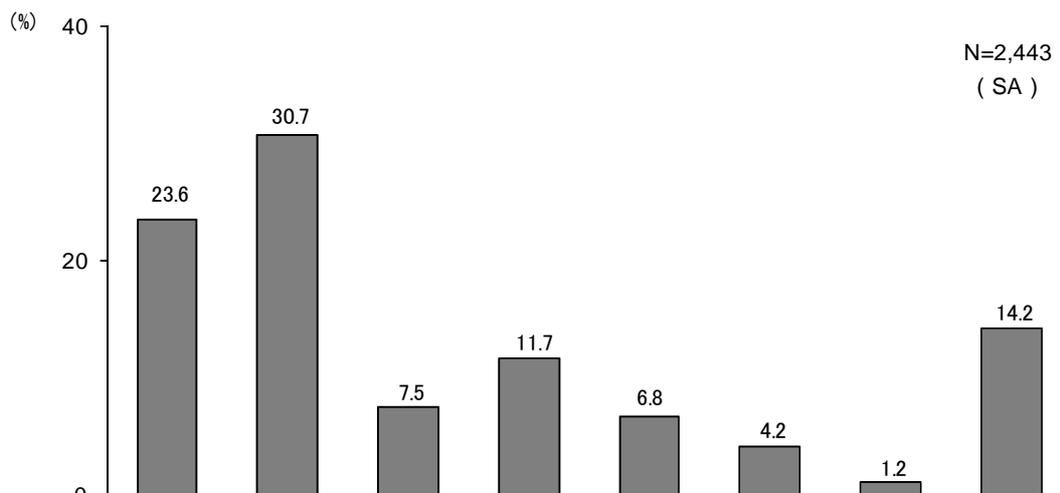
同居状況別にみると、「家族など同居」の人は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 27.4%と多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい」が 12.4%と、受けている人に比べて多くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」人は、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が 66.5%と、他に比べてやや多くなっている。

前回調査と比較すると、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が前回の 2 位から今回は 1 位に、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が前回の 6 位から今回は 4 位に順位を上げている。

図表 7-3 望ましい介護の生活形態



N=2,443  
( SA )

	在宅で、 家族の介護を受けながら、 暮らしたい	施設に宿泊するサービス を活用しながら暮らしたい	自宅の近くにある小規模な グループホーム（認知症対応の 施設）で安心した生活を送 りたい	特別養護老人ホームなどの プライバシーの確保された個 室で安心した生活を送りた い	特別養護老人ホームなどで 安心して生活を送りたいが 個室にはこだわらない	有料老人ホームやサービス 付き高齢者向け住宅などで 暮らしたい	その他	無 回 答
全 体 (N=2,443)	23.6	30.7	7.5	11.7	6.8	4.2	1.2	14.2
性別								
男 性 (N=1,219)	28.5	28.7	6.2	11.2	7.1	3.5	1.2	13.6
女 性 (N=1,224)	18.7	32.8	8.9	12.2	6.5	4.9	1.2	14.9
年齢別								
65歳～69歳(N=698)	21.1	30.5	9.7	14.9	7.3	4.2	1.7	10.6
70歳～74歳(N=558)	22.8	31.5	7.7	11.1	7.5	3.8	1.1	14.5
75歳～79歳(N=497)	22.3	32.2	8.5	10.9	6.6	3.4	1.4	14.7
80歳～84歳(N=388)	25.8	31.2	5.9	9.5	6.2	3.4	-	18.0
85歳～89歳(N=196)	28.6	24.5	3.1	10.2	7.1	7.7	1.5	17.3
90歳以上 (N=106)	34.0	31.1	1.9	7.5	0.9	7.5	1.9	15.1
同居 状況別								
1人暮らし (N=319)	12.5	35.4	6.3	11.6	10.7	5.3	2.2	16.0
高齢者のみ世帯 (N=829)	24.5	30.3	6.9	12.4	6.6	4.0	0.8	14.5
家族など同居 (N=1,169)	27.4	31.1	8.1	10.6	5.5	3.1	1.1	13.1
施設入所 (N= 50)	4.0	6.0	2.0	28.0	12.0	28.0	4.0	16.0
【要介護認定の状況別】								
受けていない (N=2,094)	23.4	30.6	8.0	12.4	6.9	3.8	1.1	13.8
受けている (N=335)	24.8	32.5	4.5	7.8	6.0	6.9	1.8	15.8
【介護・介助の必要性別】								
介護・介助は必要ない (N=1,866)	22.9	30.7	8.0	12.7	7.2	3.8	1.3	13.4
何らかの介護・介助は必要だが、 現在は受けていない (N=164)	28.7	30.5	7.3	10.4	4.3	1.8	-	17.1
現在、何らかの介護・介助を受け ている (N=283)	26.5	32.5	4.2	7.1	4.9	7.8	1.8	15.2
<参考:前回調査との比較>								
前回調査 (N=2,434)	31.3	26.3	4.5	12.0	6.1	4.6	2.0	13.2

(4) 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと

問7(4) 介護サービスなどを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思えますか。(いくつでも)

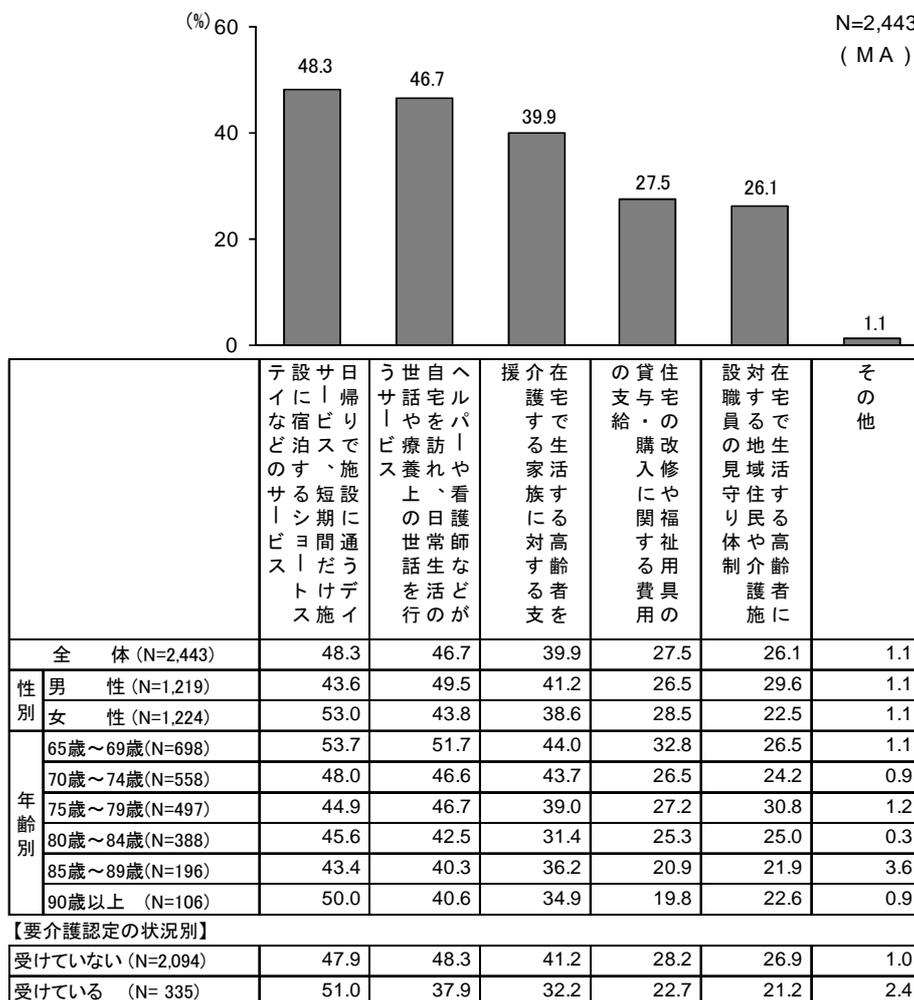
介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なことについてきいたところ、「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が48.3%と最も多く、次いで「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス」が46.7%、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が39.9%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス」が多く、女性は男性に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス」が多い傾向にある。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」がやや多くなっている。一方、受けていない人は「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス」、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が多くなっている。

図表 7-4-1 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと



図表 7-4-2 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと【圏域別】

	シス ヨ、 ト短 期で ス施 テだ けに な通 どの サ宿 泊サ ビス する	の訪 世れ 話を 行日 う常 サ生 ー活 ビス のサ ー世 ビス 話の や が 療 養 上 を	る在 家宅 族で に生 対活 する 支高 援齡 者 を 介 護 す	購住 入宅 にの 関改 する修 費や 福福 祉社 用具 の貸 与・ 給	り地 体域 制住 民宅 で生 や活 介高 護施 設設 職員 にの 対見 守す	そ の 他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	54.4	53.7	32.4	33.8	30.1	1.5
東部、山室 (N=148)	44.6	40.5	35.1	22.3	24.3	2.0
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	47.4	53.4	30.1	21.8	29.3	0.8
堀川南、蜷川 (N=125)	55.2	51.2	47.2	32.8	28.0	-
奥田、奥田北 (N=136)	56.6	54.4	33.1	25.0	22.8	0.7
桜谷、五福、神明 (N=139)	47.5	49.6	44.6	20.9	27.3	0.7
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	47.7	41.5	43.8	36.9	20.0	-
針原、豊田 (N=142)	40.8	45.1	40.8	20.4	20.4	1.4
広田、新庄、新庄北 (N=130)	40.0	47.7	41.5	26.2	28.5	0.8
藤ノ木、山室中部 (N=120)	52.5	52.5	40.8	27.5	27.5	0.8
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	43.3	42.6	43.3	31.2	27.0	1.4
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	49.6	41.6	38.0	25.5	21.9	1.5
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=132)	50.0	47.0	40.9	29.5	25.8	0.8
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=134)	46.3	50.0	41.0	29.1	28.4	3.0
大沢野地域、細入地域 (N=137)	46.0	40.1	38.0	22.6	27.7	-
大山地域 (N=137)	43.8	48.2	47.4	27.0	32.8	2.2
八尾地域、山田地域 (N=136)	48.5	39.0	44.1	33.8	23.5	1.5
婦中地域 (N=138)	58.7	45.7	35.5	29.0	24.6	1.4

(5) 住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な支援やサービス

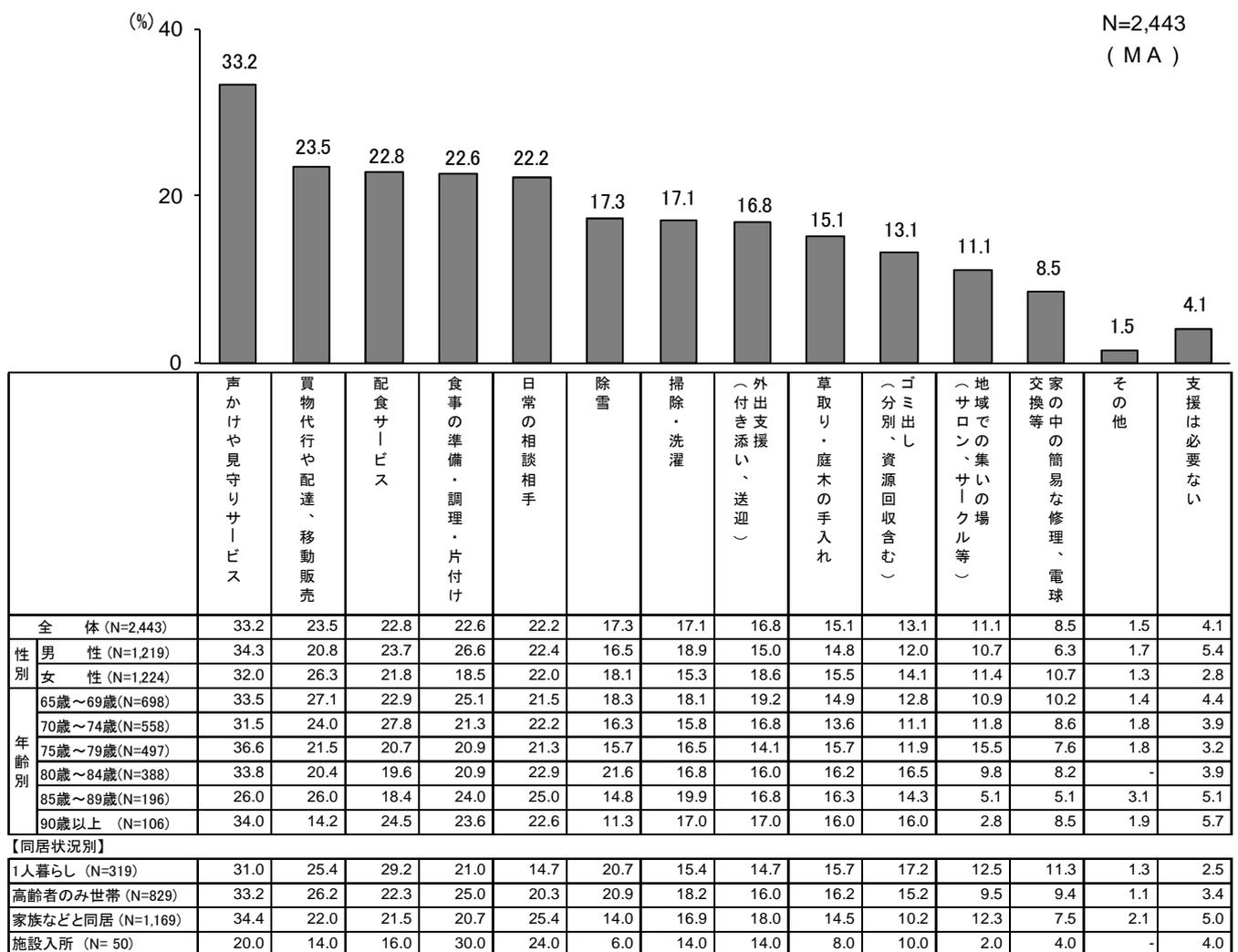
問7 (5) あなたがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのような生活支援やサービス等が必要だと思いますか。  
(特に当てはまるもの3つまで○印を付けてください)

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス等についてきいたところ、「声かけや見守りサービス」が33.2%と最も多く、次いで「買物代行や配達、移動販売」、「配食サービス」、「食事の準備・調理・片付け」、「日常の相談相手」がそれぞれ22~23%台となっている。

男女別にみると、男性は「食事の準備・調理・片付け」が26.6%と女性に比べて多く、女性は「買物代行や配達、移動販売」が26.3%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「80~84歳」で「除雪」が21.6%、「85~89歳」で「日常の相談相手」が25.0%、「掃除・洗濯」が19.9%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 7-5-1 住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な支援やサービス



図表 7-5-2 住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な支援やサービス【圏域別】

	声かけや見守りサービス	買物代行や配達、移動販売	配食サービス	食事の準備・調理・片付け	日常の相談相手	除雪	掃除・洗濯	外出支援（付き添い、送迎）	草取り・庭木の手入れ	ゴミ出し（分別、資源回収含む）	地域での集いの場（サロン、サークル等）	家の中の簡易な修理、電球交換等	その他	支援は必要ない
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	30.9	22.1	19.9	19.9	23.5	16.2	17.6	16.2	2.9	20.6	13.2	8.8	3.7	6.6
東部、山室 (N=148)	35.1	20.3	19.6	23.6	18.2	27.0	18.2	11.5	18.2	12.2	8.8	9.5	1.4	5.4
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	25.6	19.5	21.1	31.6	18.8	15.0	20.3	15.8	16.5	20.3	10.5	10.5	0.8	6.8
堀川南、蜷川 (N=125)	36.0	25.6	20.8	26.4	21.6	20.8	11.2	17.6	16.8	13.6	12.8	13.6	0.8	3.2
奥田、奥田北 (N=136)	33.8	23.5	24.3	23.5	19.1	10.3	24.3	18.4	11.0	17.6	13.2	8.8	2.2	5.1
桜谷、五福、神明 (N=139)	34.5	16.5	26.6	18.7	23.7	19.4	17.3	15.1	12.9	15.1	7.2	10.8	0.7	5.0
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	29.2	27.7	23.8	22.3	22.3	11.5	16.9	18.5	16.2	16.2	8.5	6.2	-	3.8
針原、豊田 (N=142)	29.6	24.6	25.4	22.5	16.9	15.5	19.0	15.5	16.2	16.2	9.9	7.7	1.4	2.8
広田、新庄、新庄北 (N=130)	35.4	23.8	25.4	24.6	24.6	13.8	16.9	13.1	11.5	11.5	10.8	7.7	2.3	3.8
藤ノ木、山室中部 (N=120)	35.8	22.5	29.2	30.0	24.2	19.2	18.3	20.8	17.5	11.7	8.3	6.7	-	2.5
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	29.8	19.9	19.9	19.1	26.2	14.9	16.3	14.9	19.1	9.2	12.1	7.8	2.1	2.8
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	36.5	29.2	24.8	19.7	19.7	10.9	14.6	24.8	14.6	9.5	10.9	12.4	2.2	3.6
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=132)	34.1	20.5	26.5	21.2	22.0	16.7	13.6	15.2	24.2	10.6	13.6	4.5	0.8	3.0
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=134)	28.4	26.9	22.4	19.4	17.2	16.4	16.4	17.9	20.1	9.0	12.7	9.7	3.0	3.7
大沢野地域、細入地域 (N=137)	36.5	26.3	21.9	24.1	27.0	18.2	16.8	14.6	10.2	10.9	9.5	9.5	1.5	1.5
大山地域 (N=137)	37.2	32.8	21.9	24.8	22.6	22.6	16.8	21.2	10.2	6.6	13.1	5.1	1.5	5.8
八尾地域、山田地域 (N=136)	36.8	21.3	19.1	15.4	32.4	26.5	19.1	16.9	13.2	11.0	13.2	4.4	0.7	2.9
婦中地域 (N=138)	31.9	20.3	18.8	21.0	20.3	15.9	13.8	15.9	21.7	12.3	11.6	9.4	2.2	5.1

(6) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援

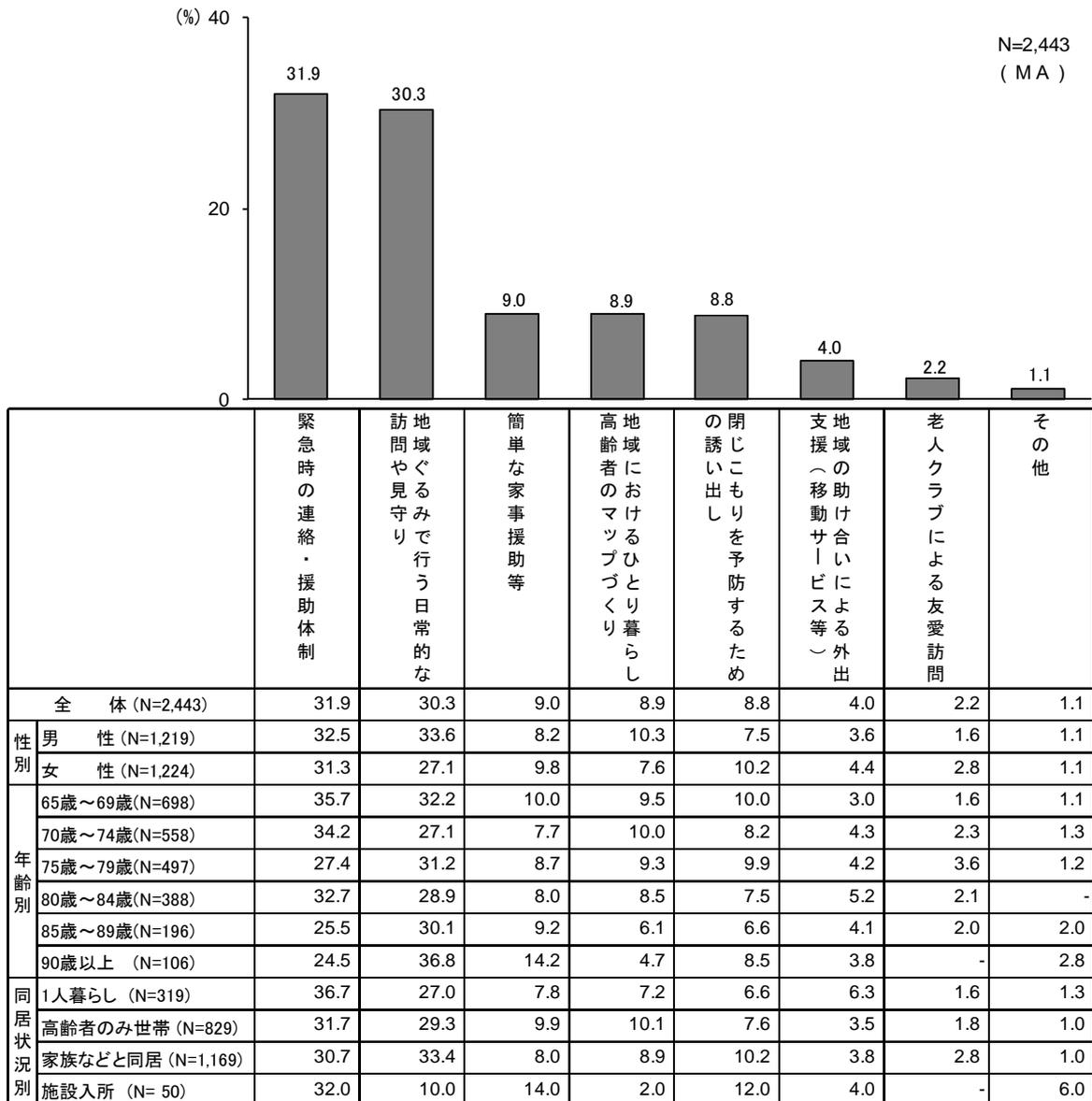
問7 (6) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、地域においてどのような支援が必要だと思いますか。(1つのみ○印を付けてください)

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、どのような見守りや支援が必要だと思うか聞いたところ、「緊急時の連絡・援助体制」と「地域ぐるみで行う日常的な訪問や見守り」が3割台と多くなっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「地域ぐるみで行う日常的な訪問や見守り」が多くなっている。年齢別にみると、「90歳以上」で「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が多い。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は「緊急時の連絡・援助体制」が36.7%と、他に比べて多くなっている。

図表 7-6 ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援



(7) 地域の高齢者の見守り等への参加

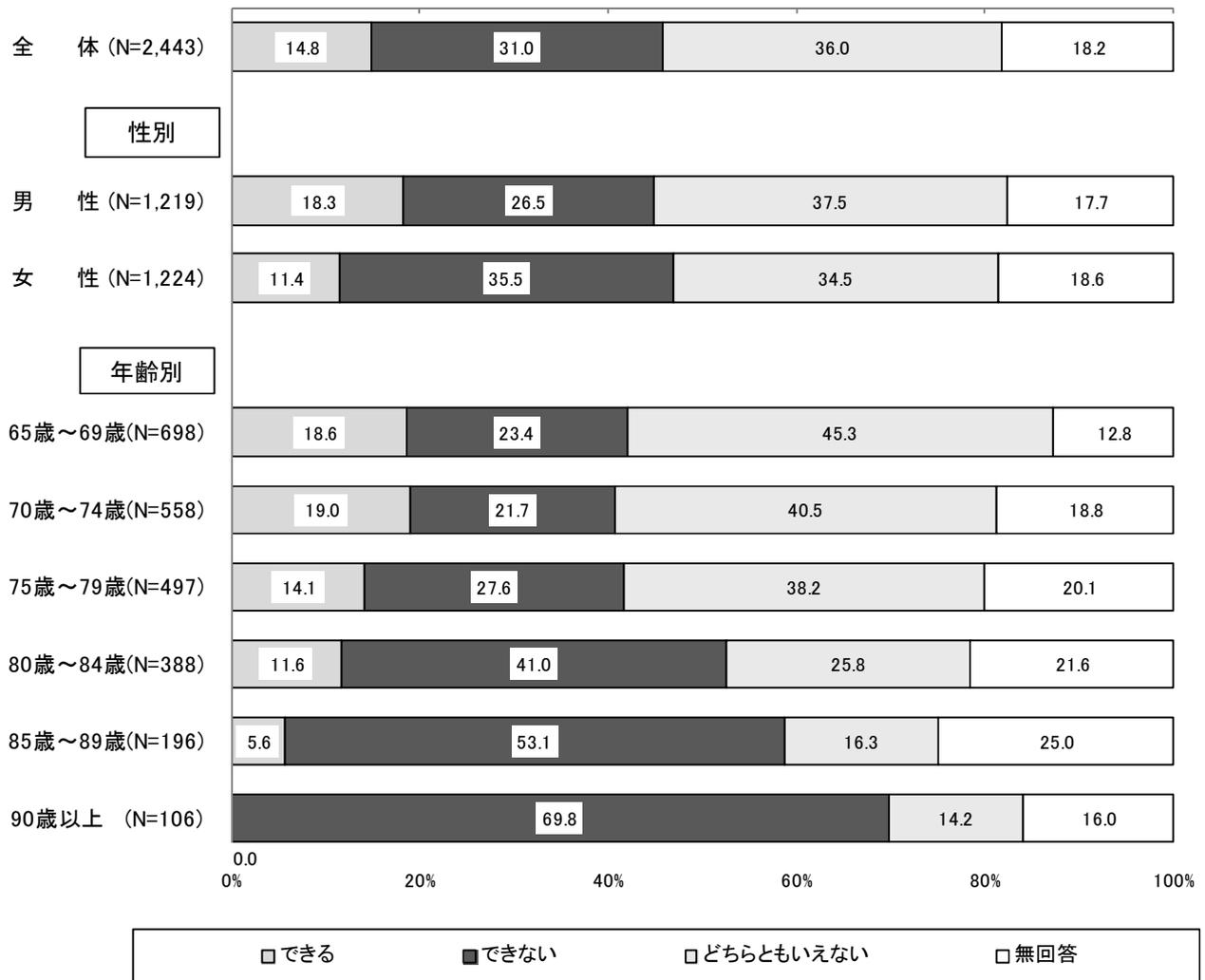
①あなたは、地域における高齢者の見守り等の支援活動に参加できますか。

地域における高齢者の見守り等の支援活動に参加できるかきいたところ、「できる」が14.8%、「できない」が31.0%、「どちらともいえない」が36.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できない」が35.5%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できる」が少なくなる傾向にあり、「85～89歳」で5.6%、「90歳以上」で「できる」と回答した人はいなかった。

図表 7-7 地域の高齢者の見守り等への参加



(8) 介護保険制度における費用負担の考え方

問7 (7) あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。  
(1つのみ○印を付けてください)

介護保険制度における費用負担の考え方についてきいたところ、「現状程度の費用負担が適当である」が34.1%、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が33.9%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が12.5%などとなっている。

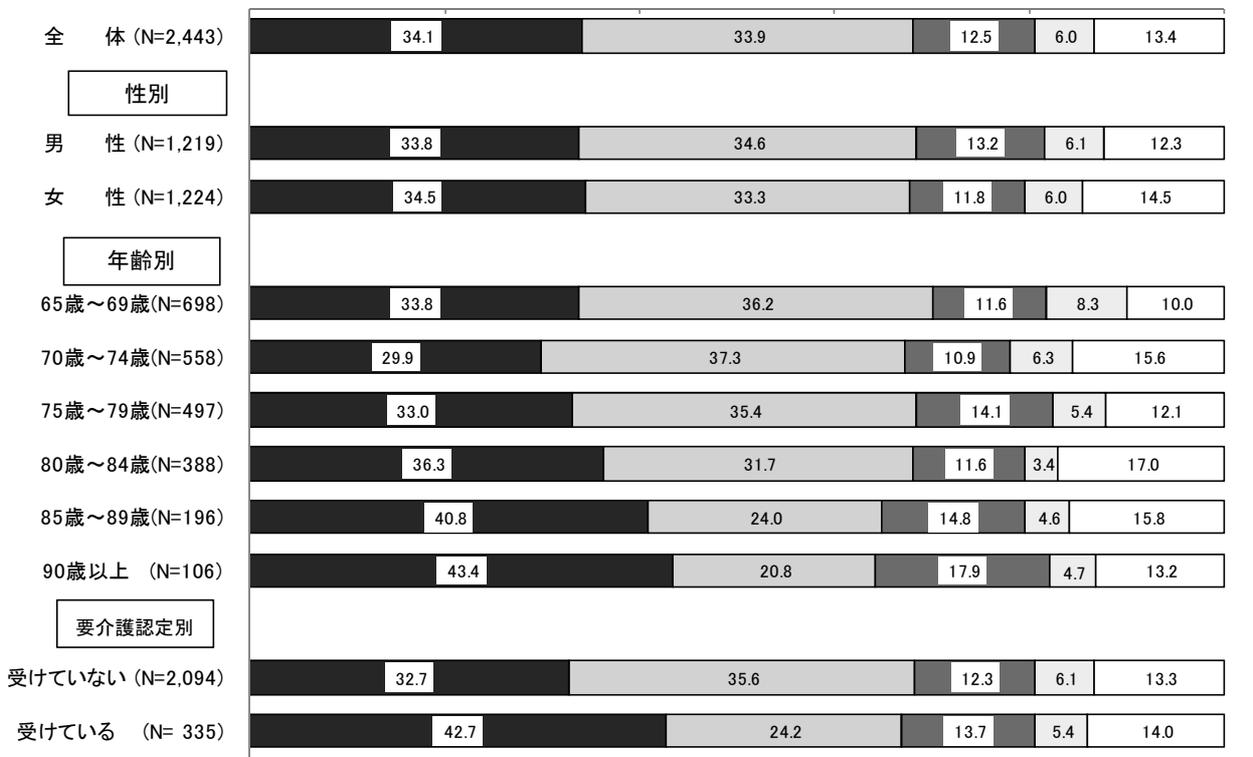
男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「現状程度の費用負担が適当である」が多く、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が少なくなる傾向にある。

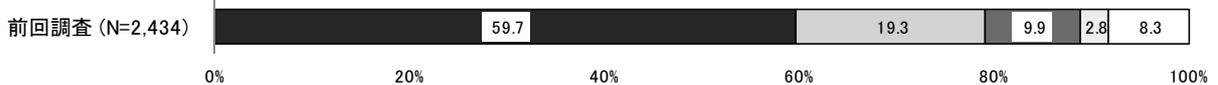
要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は「現状程度の費用負担が適当である」が42.7%と多く、要介護認定を受けていない人は「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が35.6%と多くなっている。

前回調査と比較すると、「現状程度の費用負担が適当である」が前回59.7%から今回34.1%と少なくなっている一方、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が前回19.3%から今回33.9%と多くなっている。

図表 7-8 介護保険制度における費用負担の考え方



<参考: 前回調査 (H26) との比較>



■現状程度の費用負担が適当である      □サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい  
 ■それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい      □その他  
 □無回答

(9) 身近に整備してほしい介護・福祉施設

問7(8) あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

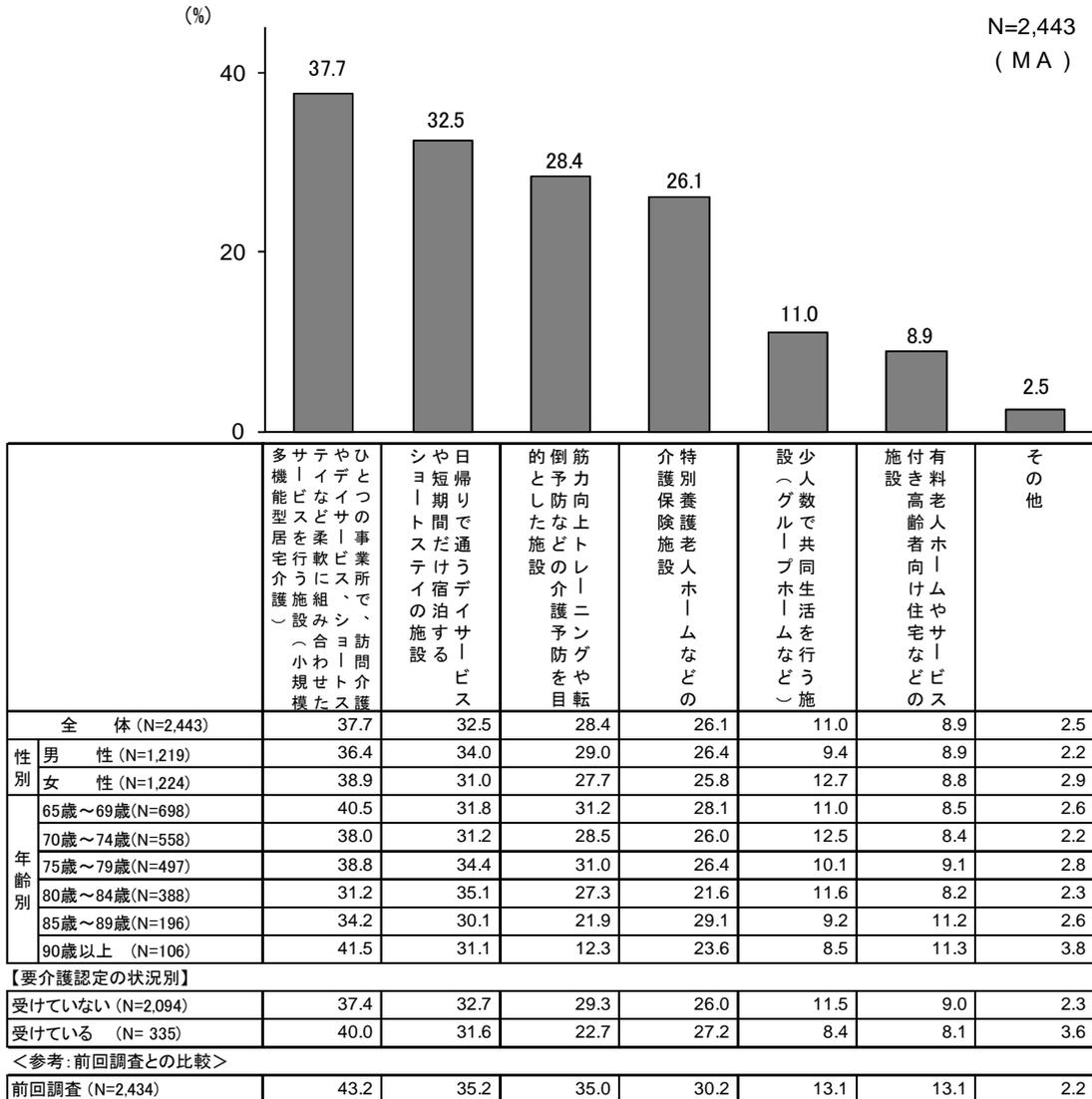
身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等についてきいたところ、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が37.7%と最も多く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が32.5%、「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が28.4%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が26.1%の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「80～84歳」で「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が35.1%と最も多くなっている。また、「85～89歳」で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が29.1%と他の年代に比べて多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が29.3%と、受けている人に比べて多くなっている。

図表 7-9-1 身近に整備してほしい介護・福祉施設



図表 7-9-2 身近に整備してほしい介護・福祉施設【圏域別】

	（小規模多機能型居宅介護）	ひとりの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたいサービスを行う施設	日帰り通うデイサービスや短期宿泊するショートステイの施設	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設	少人数で共同生活を行う施設（グループホームなど）	その他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	39.0	34.6	33.8	33.1	13.2	10.3	5.9	
東部、山室 (N=148)	36.5	28.4	28.4	35.1	11.5	6.8	2.7	
西田地方、堀川、光陽 (N=133)	36.1	28.6	24.1	34.6	8.3	9.0	3.0	
堀川南、蟻川 (N=125)	33.6	37.6	35.2	31.2	9.6	17.6	0.8	
奥田、奥田北 (N=136)	46.3	33.8	27.2	22.8	12.5	5.9	2.2	
桜谷、五福、神明 (N=139)	36.7	30.9	28.8	25.9	7.9	7.9	1.4	
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=130)	36.9	28.5	26.9	24.6	9.2	7.7	2.3	
針原、豊田 (N=142)	30.3	32.4	26.8	26.8	9.2	10.6	3.5	
広田、新庄、新庄北 (N=130)	39.2	32.3	30.0	30.8	6.2	13.1	1.5	
藤ノ木、山室中部 (N=120)	39.2	30.0	25.8	34.2	13.3	11.7	2.5	
太田、新保、熊野、月岡 (N=141)	39.0	26.2	18.4	25.5	8.5	7.1	3.5	
四方、八幡、草島、倉垣 (N=137)	39.4	30.7	19.7	27.7	8.0	8.8	1.5	
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=132)	39.4	33.3	25.0	31.8	6.8	18.9	2.3	
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=134)	35.1	32.8	27.6	23.9	9.7	11.9	4.5	
大沢野地域、細入地域 (N=137)	35.8	32.1	17.5	22.6	8.0	16.1	1.5	
大山地域 (N=137)	38.7	42.3	21.9	30.7	7.3	12.4	1.5	
八尾地域、山田地域 (N=136)	42.6	38.2	23.5	25.7	2.9	14.7	2.2	
婦中地域 (N=138)	35.5	33.3	28.3	25.4	8.7	8.7	2.9	

## 8 医療について

### (1) 通院状況

#### ① 通院の頻度

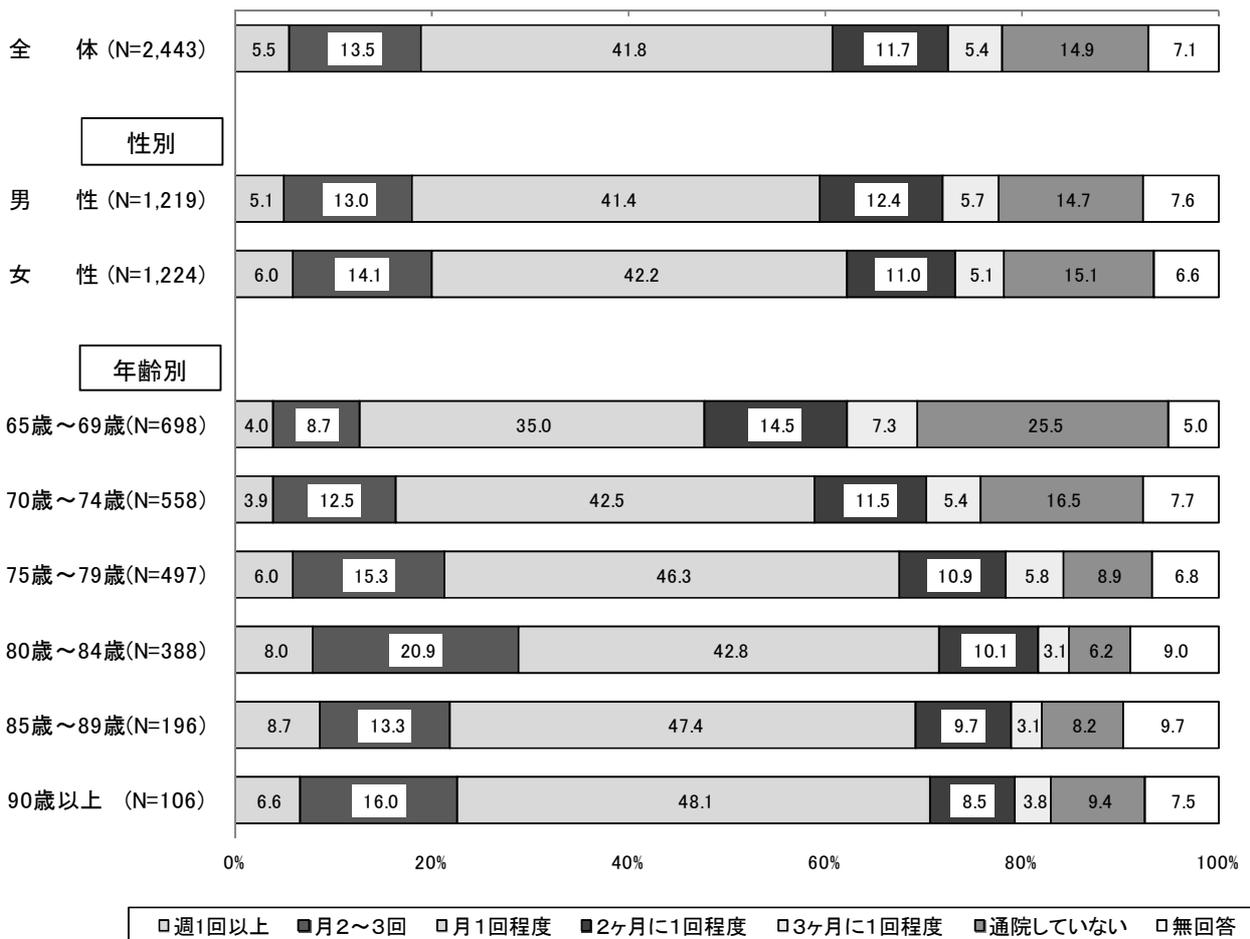
問 8 (1) 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

病院・医院（診療所、クリニック）への通院状況についてきいたところ、「週 1 回以上」が 5.5%、「月 2～3 回」が 13.5%、「月 1 回程度」が 41.8%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 11.7%、「3 ヶ月に 1 回程度」が 5.4%となっている。また、「通院していない」が 14.9%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「80～84 歳」で「週 1 回以上」が 8.0%、「月 2～3 回」が 20.9%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 8-1 通院の頻度



②通院している医療機関数

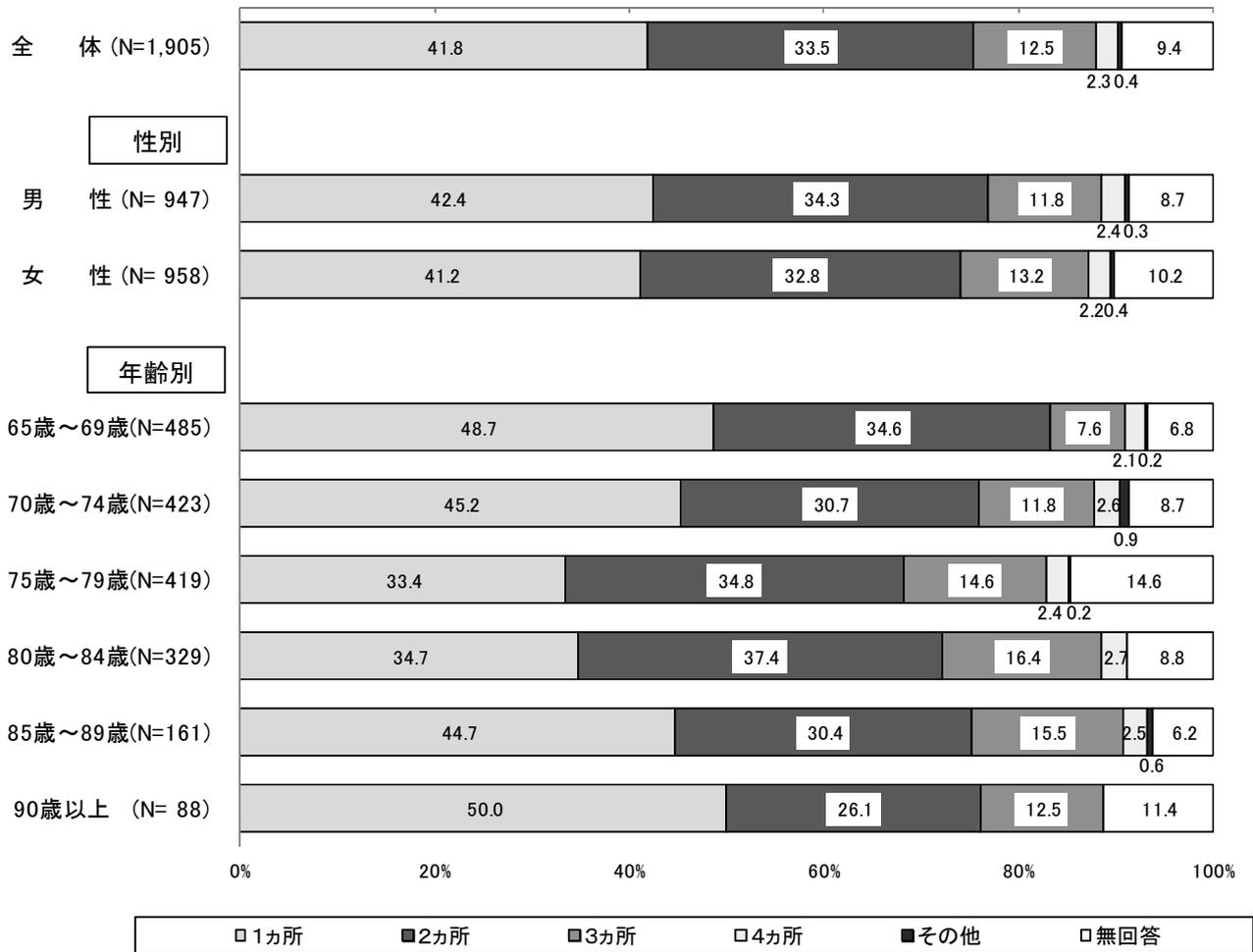
(通院している方のみ) ①現在、何カ所の医療機関にかかっていますか。

病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているとした 1,905 人に、通院している医療機関数をきいたところ、「1カ所」が 41.8%、「2カ所」が 33.5%、「3カ所」が 12.5%、「4カ所」が 2.3%、「その他（5カ所以上）」が 0.4%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、2カ所以上とした人は「75～84歳」で半数を超えている。

図表 8-2 通院している医療機関数



(2) かかりつけ医の有無

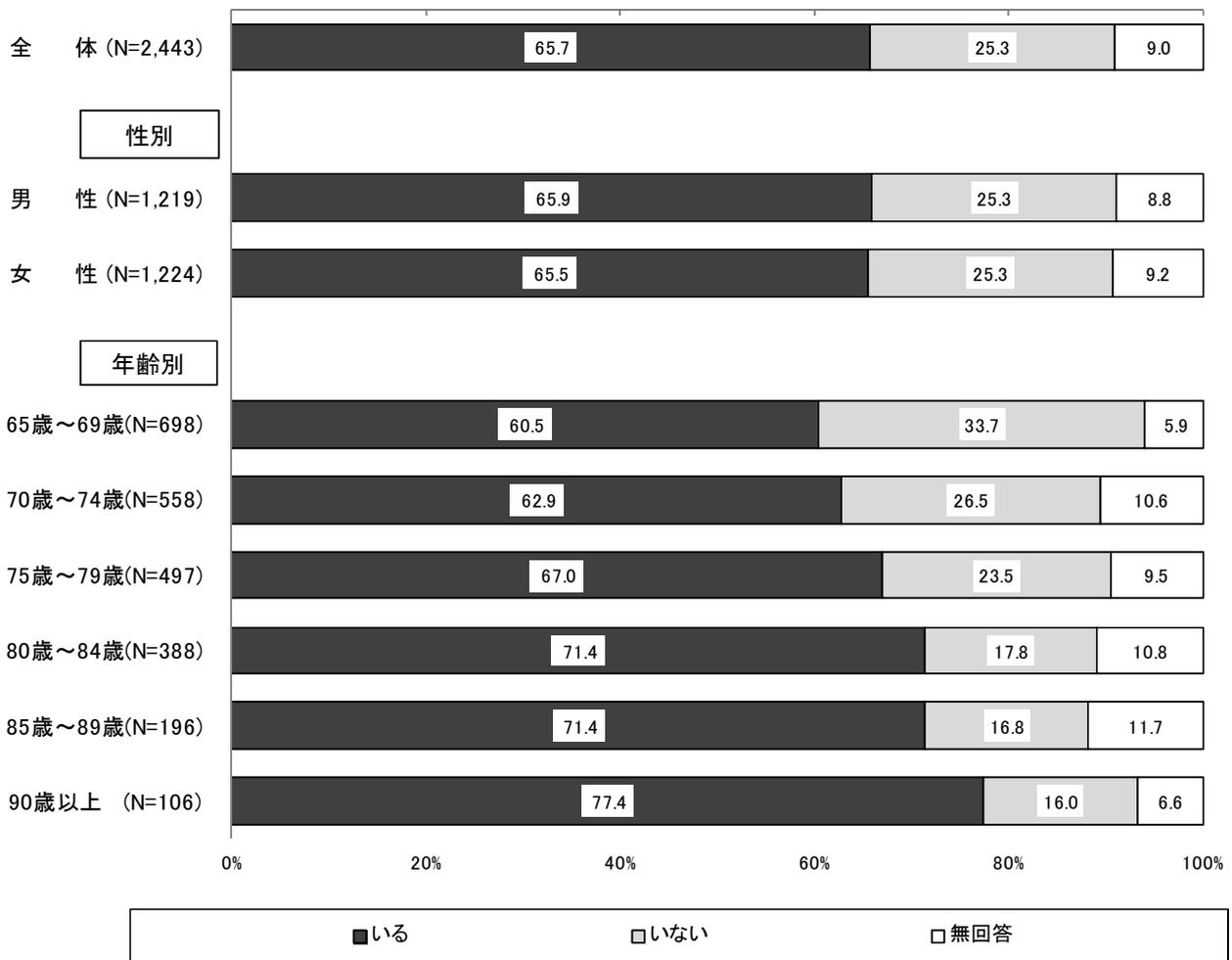
問 8 (2) ①現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

身近に何でも相談できる「かかりつけ医」がいるかどうかきいたところ、「いる」が 65.7%、「いない」が 25.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「いる」が多い傾向にあり、「80～89歳」で 71.4%、「90歳以上」で 77.4%となっている。

図表 8-3 かかりつけ医の有無



(3) かかりつけ医に求めること

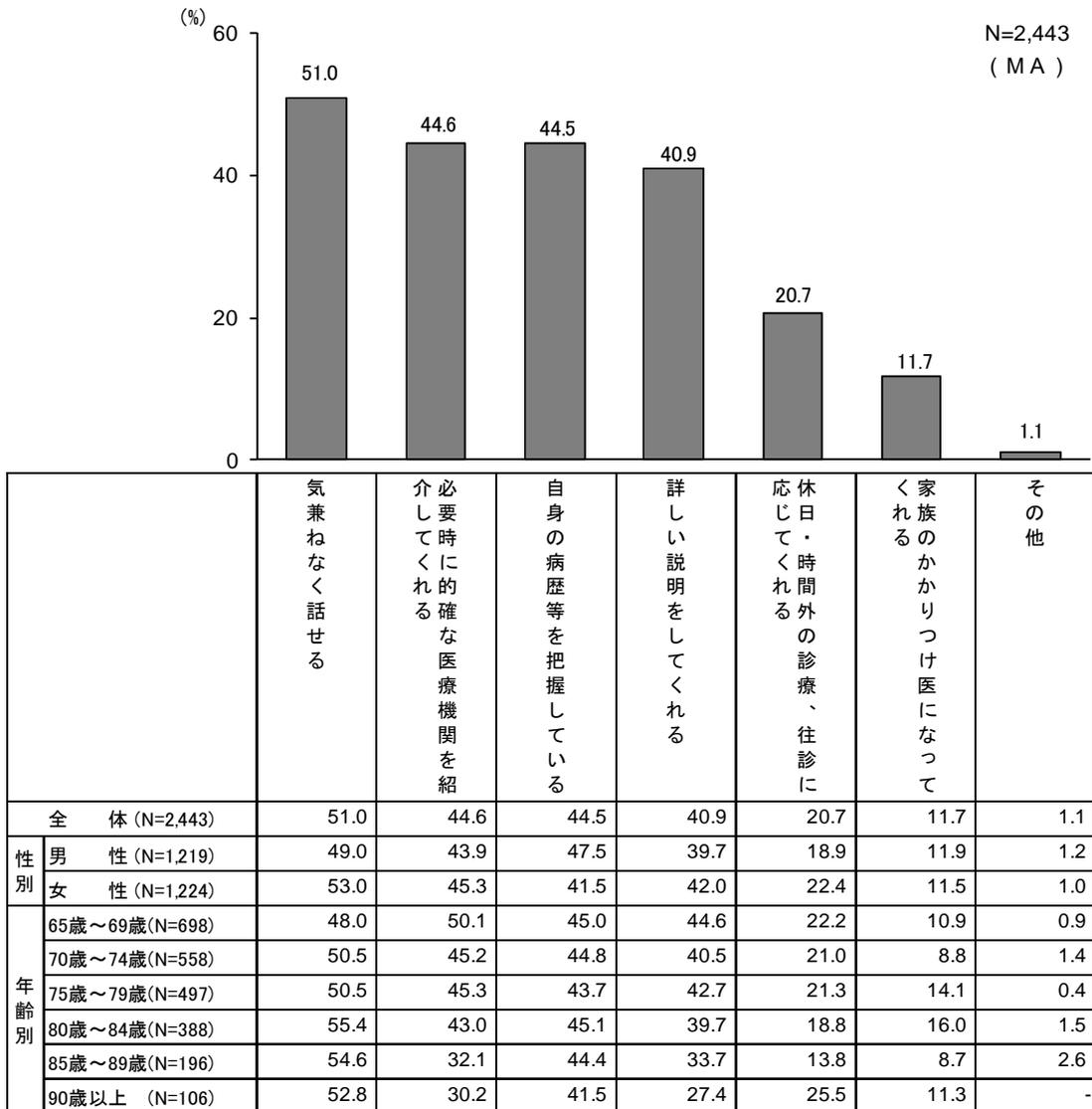
②あなたが、「かかりつけ医」に求めることは何ですか。(いくつでも)

かかりつけ医に求めることについてきいたところ、「気兼ねなく話せる」が51.0%と最も多く、次いで「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」が44.6%、「自身の病歴等を把握している」が44.5%、「詳しい説明をしてくれる」が40.9%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自身の病歴等を把握している」が47.5%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」が50.1%と最も多くなっている。

図表 8-4 かかりつけ医に求めること



(4) 病気になった場合の希望療養先

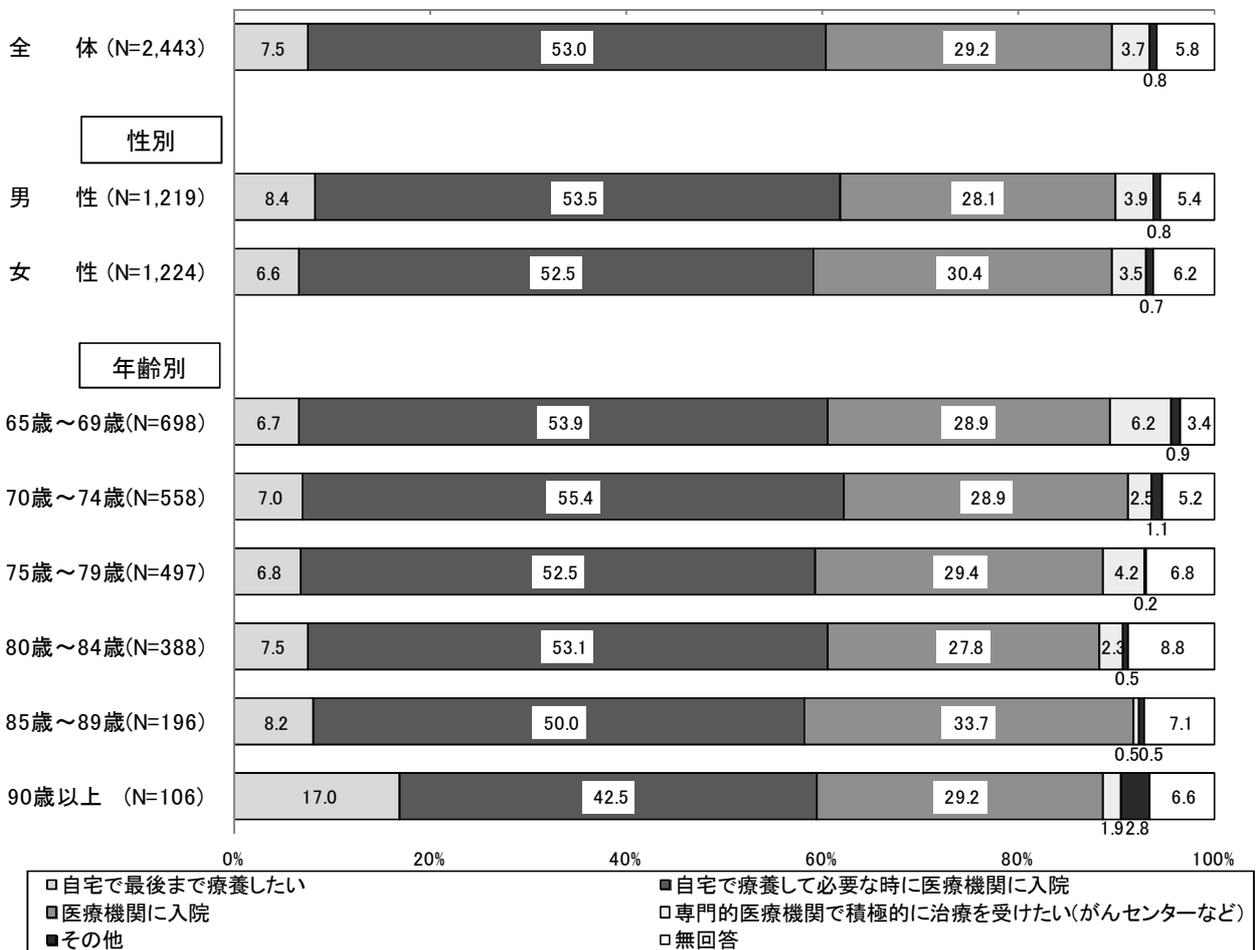
問 8 (3) あなたは、病気になった場合、どこでの療養を希望しますか。

病気になった場合、どこでの療養を希望するか聞いたところ、「自宅で最後まで療養したい」が7.5%、「自宅で療養して必要な時に医療機関に入院」が53.0%、「医療機関に入院」が29.2%、「専門的医療機関で積極的に治療を受けたい(がんセンターなど)」が3.7%などとなっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」で「自宅で最後まで療養したい」が17.0%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 8-5 病気になった場合の希望療養先



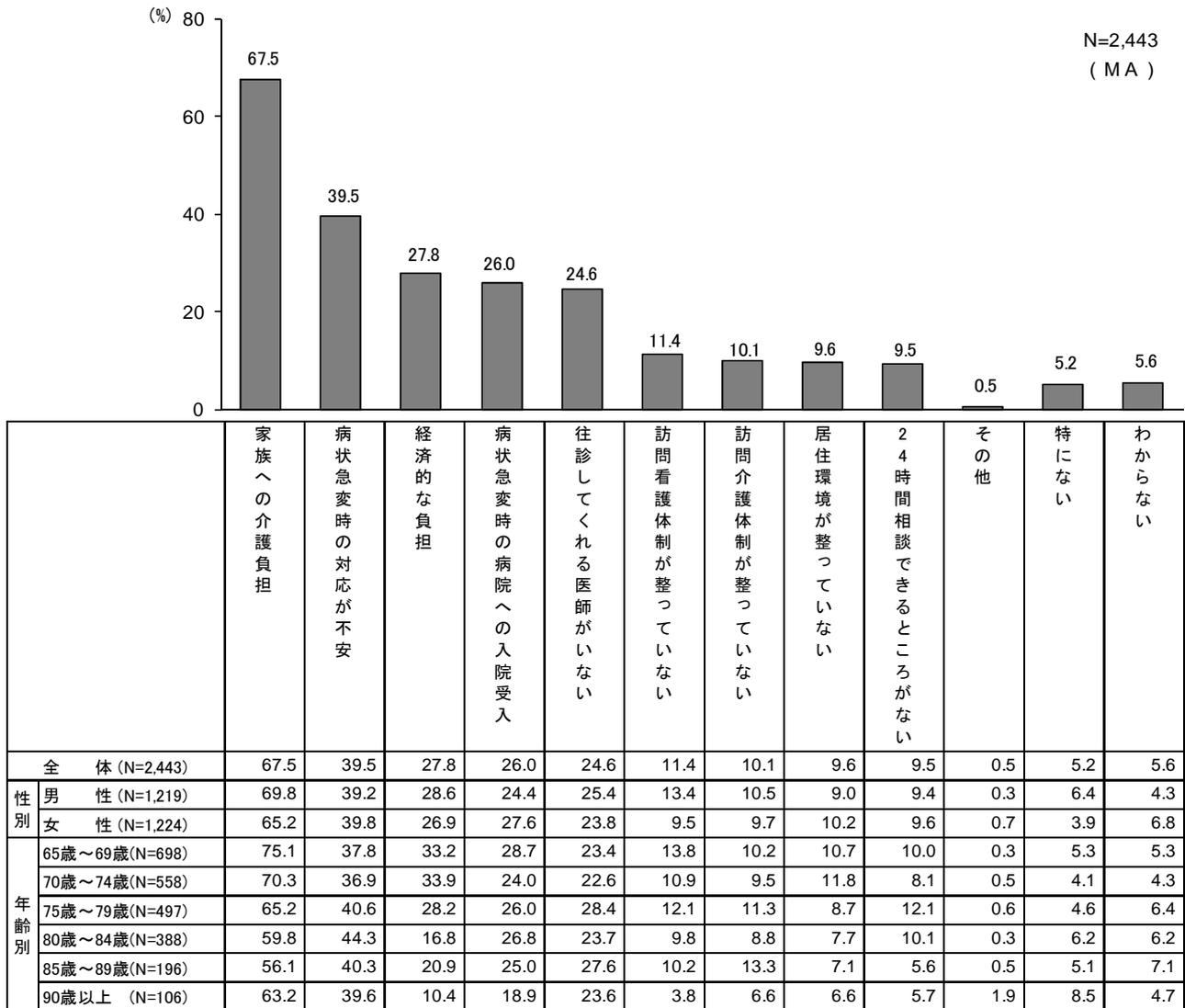
(5) 自宅で療養する上での課題

問8(4) 自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。(いくつでも)

自宅で療養する場合にどんな不安や課題があるかきいたところ、「家族への介護負担」が67.5%と最も多く、次いで「病状急変時の対応が不安」が39.5%、「経済的な負担」が27.8%、「病状急変時の病院への入院受入」が26.0%の順となっている。一方、「特にない」が5.2%、「わからない」が5.6%となっている。

男女別にみると、女性は「病状急変時の病院への入院受入」が27.6%と3番目に多くなっている。年齢別にみると、年代が低いほど「家族への介護負担」や「経済的な負担」が多い傾向にある。

図表 8-6 自宅で療養する上での課題



(6) どこで最期を迎えたいか

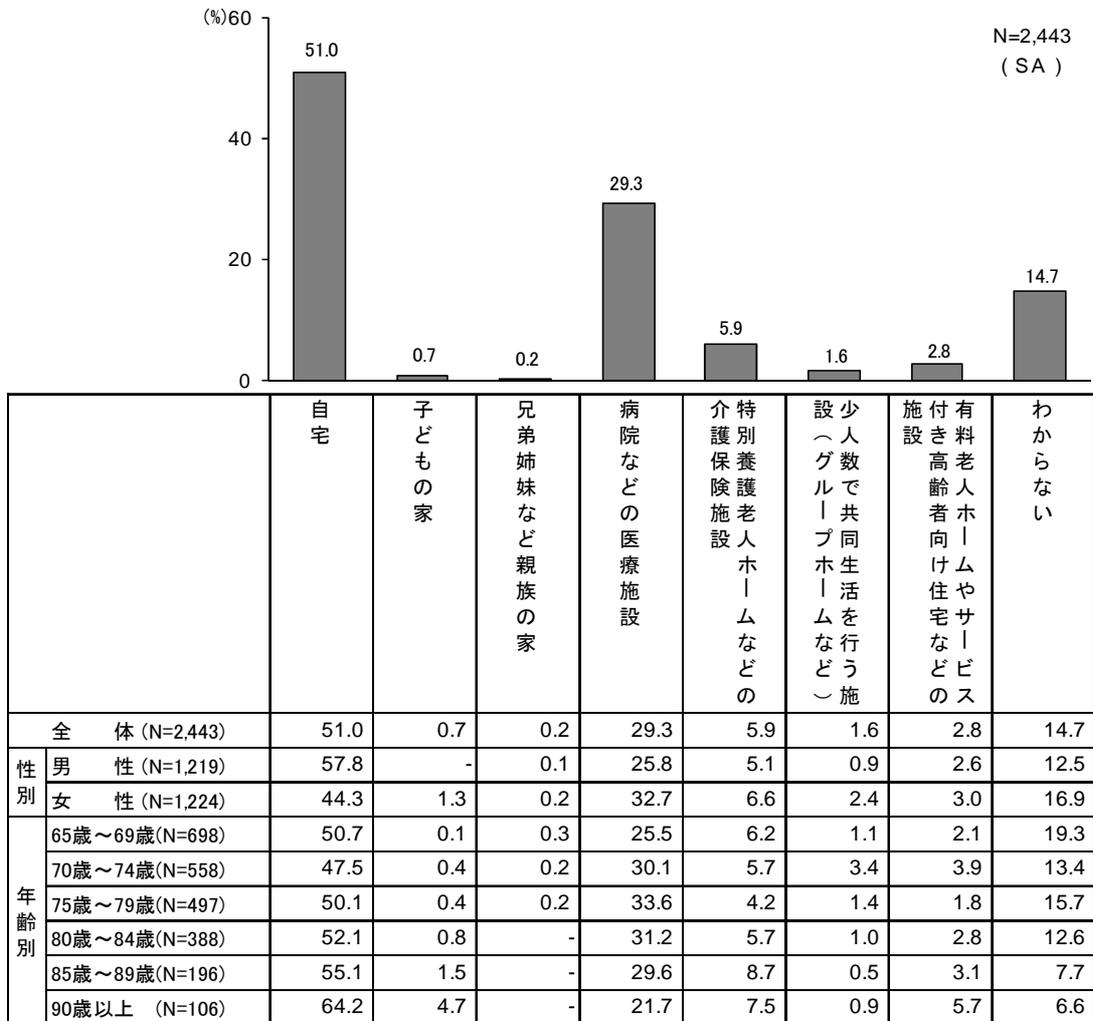
問8 (5) あなたは、どこで最期を迎えることを望みますか。

どこで最期を迎えることを望むかきいたところ、「自宅」が51.0%と最も多く、次いで「病院などの医療施設」が29.3%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が5.9%などとなっている。一方、「わからない」が14.7%となっている。

男女別にみると、男性は「自宅」が57.8%と女性に比べて多く、女性は「病院などの医療施設」が32.7%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「自宅」が多い傾向にある一方、年代が低いほど「わからない」が多い傾向にある。

図表 8-7 どこで最期を迎えたいか





## IV 調査票



# 高齢者保健福祉実態調査

平成 29 年 2 月  
富 山 市

※回答は、この用紙の該当する答えの番号に直接○印をつけてください。(別に回答用紙はありません)

## 設問のはじめに

(1) このアンケートに記入いただく方を教えてください。

1. あなた (ご本人)
2. ご家族 (ご本人からの聞き取りにより記入)
3. その他 (ご本人からの聞き取りにより記入)

(2) あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

(3) あなたの満年齢を教えてください (平成 29 年 1 月 1 日現在)。

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上   |

(4) あなたはどの地域にお住まいですか。

- |                                     |                          |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. 総曲輪、愛宕、安野屋、八人町<br>五番町、柳町、清水町、星井町 | 10. 藤ノ木、山室中部             |
| 2. 東部、山室                            | 11. 太田、新保、熊野、月岡          |
| 3. 西田地方、堀川、光陽                       | 12. 四方、八幡、草島、倉垣          |
| 4. 堀川南、蛭川                           | 13. 呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多    |
| 5. 奥田、奥田北                           | 14. 水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 |
| 6. 桜谷、五福、神明                         | 15. 大沢野地域、細入地域           |
| 7. 岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎                    | 16. 大山地域                 |
| 8. 針原、豊田                            | 17. 八尾地域、山田地域            |
| 9. 広田、新庄、新庄北                        | 18. 婦中地域                 |

(5) あなたは、介護認定を受けていますか。

また、受けている場合、要介護度は次のどれにあたりますか。

1. 受けていない
2. 要支援 1、2
3. 要介護 1、2
4. 要介護 3 以上

## 問1 あなたの家族や生活状況について

(1) あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)

- |             |                    |                    |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 1. 1人暮らし    | 2. 配偶者 (夫・妻 65歳以上) | 3. 配偶者 (夫・妻 64歳以下) |
| 4. 息子       | 5. 娘               | 6. 子の配偶者           |
| 7. 孫        | 8. 兄弟・姉妹           | 9. 親               |
| 10. その他 ( ) |                    |                    |

【(1)において家族など同居されている方のみ】

①日中、高齢者(65歳以上)のみになることがありますか。

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

②日中、一人になることがありますか。

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)

【(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答された方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)<br><small>のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく</small> | 2. 心臓病                                       |
| 3. がん (悪性新生物)  | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)<br><small>はいきしゅ</small>  |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等)   | 6. 認知症 (アルツハイマー病等)<br><small>にんちしょう</small>  |
| 7. パーキンソン病   | 8. 糖尿病<br><small>とうりょうびょう</small>            |
| 9. 腎疾患 (透析)  | 10. 視覚・聴覚障害<br><small>しかく ちょうかくしょうがい</small> |
| 11. 骨折・転倒<br><small>こっせつ てんとう</small>                      | 12. 脊椎損傷<br><small>せきついそんしょう</small>         |
| 13. 高齢による衰弱<br><small>すいじゃく</small>                        | 14. その他 ( )                                  |
| 15. 不明   |  |

【(2)で「3. 何らかの介護・介助を受けている」と回答された方のみ】

②主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻)   | 2. 息子      | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫       | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 ( ) |          |

【(2)で「3. 何らかの介護・介助を受けている」と回答された方のみ】

③主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。

- |          |           |           |          |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～74歳 | 3. 75～84歳 | 4. 85歳以上 |
|----------|-----------|-----------|----------|

(3) お住まいは、次のどれにあたりますか。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 持家 (一戸建て)<br><small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 2. 持家 (集合住宅)<br><small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 3. 公営賃貸住宅<br><small>みんかんちんたいじゅうたく</small>    | 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)                             |
| 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)                             | 6. 借間  |
7. 介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設)  
8. 有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅  
9. その他

(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- |             |           |        |
|-------------|-----------|--------|
| 1. 苦しい      | 2. やや苦しい  | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. ゆとりがある |        |

(5) あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

1. 病気に関する不安
2. 寝たきりになること不安
3. 認知症にんちしょうになること不安
4. 孤独に関する不安(ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど)
5. いざという時に頼れる人がいないことへの不安
6. 家族の介護に関する不安
7. 経済(生活費など)に関する不安
8. 住宅の維持管理(除雪、庭木の手入れ、修繕など)に関する不安
9. 人権侵害じんけんしんがいに対する不安(暴力、無視、金銭の要求・無断使用 など)
10. 犯罪に対する不安(「オレオレ詐欺」、「振り込め詐欺」 など)
11. 災害(地震、火事、水害など)に関する不安
12. 特にない
13. その他 ( )

(6) 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

- |                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 玄関や敷居等の段差                   | 2. 庭木の手入れや除草     |
| 3. 冬期の除雪                       | 4. 住宅の修繕などの維持・管理 |
| 5. 生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど) |                  |
| 6. 近くに医療機関や介護保険施設などが無い         |                  |
| 7. 特に困っていることはない                | 8. その他 ( )       |

## 問2 毎日の生活について

(1) 新聞や本、雑誌を読んでいますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 趣味や生きがいはありますか。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. ある ( ) | 2. ない・思いつかない |
|-----------|--------------|





(3) 健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

1. 運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている
2. 生活の中でなるべく体を使うようにしている(エレベーターや車を使わないなど)
3. バランスのよい栄養摂取(食事、サプリメント)を意識している
4. 休養や睡眠を十分とるようにしている
5. 規則的な生活を心がけている
6. 歯(義歯含む)や口腔の健康を意識している
7. 健康診断を受診している
8. 気持ちをなるべく明るく持つようにしている
9. 酒やタバコを控えている
10. 趣味や教養のため外出している
11. 地域活動(長寿会や自治会活動を含む)に参加するようにしている
12. 友人との交流を大切にしている
13. 特にない
14. その他( )

(4) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

1. 運動(散歩など軽い運動を含む)
2. 働くこと
3. 家事や家庭内の世話
4. ボランティア活動
5. 趣味や教養活動
6. 友人との交流
7. 地域活動(長寿会や自治会活動を含む)
8. 特にない
9. その他( )

(5) あなたの口腔の状態について、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物などでむせることがある
3. 口の渇きが気になる
4. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している
5. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしている

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(7) 転倒(予防)について、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. この1年間に転んだことがある
2. 転倒に対する不安は大きい
3. 背中が丸くなってきた
4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきた

(8) 物忘れについて、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされる
2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけている
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことが思い出せない

(9) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ

(10) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. はい
2. いいえ

#### 問4 社会参加について

(1) 以下のような会・グループ、活動等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑩それぞれに回答してください。

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦その他の団体や会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事(アルバイト等含む)	1	2	3	4	5	6
⑨見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6
⑩子育てしている親を支援する活動 (例 通学児童の見守りなど)	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に 企画・運営(お世話役) として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に 参加者 として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない

**問5****たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」について、お伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人       | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人       | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人       | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人       | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- |                  |                   |            |
|------------------|-------------------|------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員   | 3. ケアマネジャー |
| 4. 医師・歯科医師・看護師   | 5. 地域包括支援センター・市役所 | 6. その他     |
| 7. そのような人はいない    |                   |            |

**問6****認知症について**

(1) 「認知症」について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

1. 脳の病気を原因疾患とする誰でも起こりうる病気
2. 患者が増加傾向にある
3. 加齢による物忘れと認知症の物忘れは違う
4. 認知症には、記憶障害等の共通の症状と妄想、徘徊等の個人差のある症状がある
5. 早期受診・治療等により症状の改善や進行を遅らせることが可能な場合がある
6. 周囲の適切な関わりによって症状の進行を緩和できる可能性がある
7. 40代、50代の若年者でも発症することがある
8. どれも知らない

(2) もし、あなたや家族が認知症になったら、どのようなことが不安ですか。

(いくつでも)

1. これまでできていたことができなくなる
2. 病院等で治療しても症状が改善しない
3. どこに相談すればよいかわからない
4. 家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる
5. 治療や介護等に金銭的負担がかかる
6. 自宅で生活できなくなる
7. 外出した際、家に帰れなくなる
8. 家族に迷惑をかけてしまう
9. 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまう
10. これまで参加していた活動（老人クラブ、サークル等）に参加できなくなる
11. その他（ )

(3) 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思いますか。(3つまで○印を付けてください)

1. 地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）
2. 認知症を正しく理解するための啓発活動の充実
3. 家族などの介護負担を軽減するための施策の充実
4. 認知症専門相談窓口の設置
5. 認知症の専門医の設置
6. 認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実
7. 認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤル（事前登録制）の登録の推進
8. 成年後見制度などの活用促進
9. 認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置
10. 認知症の人やその家族を支援するボランティアの育成
11. できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり
12. 医療機関など認知症の人と家族に役立つサービスの地域資源マップ
13. その他（ )

## 問7 高齢者福祉について

(1) 身近な地域で総合的な相談ができる機関として、地域包括支援センターを利用したことがありますか。

1. 利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らない

(2) 今後、地域包括支援センターにどのような用件で相談したいと思いますか。(いくつでも)

1. 介護に関すること（介護保険制度を含む）
2. 介護予防に関すること
3. 健康や医療に関すること
4. 各種福祉サービスに関すること
5. 病院・施設からの退院・退所に関すること
6. 入院・入所に関すること
7. 認知症に関すること
8. 住宅の改修に関すること
9. 高齢者の虐待に関すること
10. 成年後見や高齢者の権利に関すること
11. 悪徳商法・振り込め詐欺などに関すること
12. 孤立・孤独に関すること
13. 経済（生活費など）に関すること
14. 相談したいとは思わない
15. その他（ )

(3) 介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。  
(最も近いもの1つのみ○印を付けてください)

1. 在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい
2. 在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい
3. 自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい
4. 特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい
5. 特別養護老人ホームなどで安心した生活を送りたいが個室にはこだわらない
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい
7. その他 ( )

(4) 介護サービスなどを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思いませんか。(いくつでも)

1. 在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制
2. ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス
3. 日帰りで施設に通うデイサービス、短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス
4. 住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給
5. 在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援
6. その他 ( )

(5) あなたがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのような生活支援やサービス等が必要だと思いませんか。(特に当てはまるもの3つまで○印を付けてください)

- |                 |                          |                     |
|-----------------|--------------------------|---------------------|
| 1. 声かけや見守りサービス  | 2. 日常の相談相手               | 3. 食事の準備・調理・片付け     |
| 4. 配食サービス       | 5. 掃除・洗濯                 | 6. ゴミ出し (分別、資源回収含む) |
| 7. 買物代行や配達、移動販売 | 8. 外出支援 (付き添い、送迎)        |                     |
| 9. 草取り・庭木の手入れ   | 10. 家の中の簡易な修理、電球交換等      |                     |
| 11. 除雪          | 12. 地域での集いの場 (サロン、サークル等) |                     |
| 13. 支援は必要ない     | 14. その他 ( )              |                     |

(6) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、地域においてどのような支援が必要だと思いませんか。(1つのみ○印を付けてください)

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 地域ぐるみで行う日常的な訪問や見守り       | 2. 閉じこもりを予防するための誘い出し |
| 3. 地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり   | 4. 老人クラブによる友愛訪問      |
| 5. 緊急時の連絡・援助体制              | 6. 簡単な家事援助等          |
| 7. 地域の助け合いによる外出支援 (移動サービス等) | 8. その他 ( )           |

①あなたは、地域における高齢者の見守り等の支援活動に参加できますか。

- |        |         |              |
|--------|---------|--------------|
| 1. できる | 2. できない | 3. どちらともいえない |
|--------|---------|--------------|

(7) あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。

(1つのみ○印を付けてください)

1. 現状程度の費用負担が適当である
2. サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい
3. それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい
4. その他 ( )

(8) あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

1. 筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設
2. 日帰りを通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設
3. ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設 (小規模多機能型居宅介護)
4. 少人数で共同生活を行う施設 (グループホームなど)
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設
7. その他 ( )

## 問8 医療について

(1) 現在、病院・医院 (診療所、クリニック) に通院していますか。

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 週1回以上    | 2. 月2~3回    | 3. 月1回程度   |
| 4. 2ヵ月に1回程度 | 5. 3ヵ月に1回程度 | 6. 通院していない |

【(1)において通院している方のみ】

①現在、何カ所の医療機関にかかっていますか。

- |        |        |        |        |              |
|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 1. 1カ所 | 2. 2カ所 | 3. 3カ所 | 4. 4カ所 | 5. その他 ( )カ所 |
|--------|--------|--------|--------|--------------|

(2) かかりつけ医について

①現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

②あなたが、「かかりつけ医」に求めることは何ですか。(いくつでも)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 詳しい説明をしてくれる      | 2. 自身の病歴等を把握している       |
| 3. 気兼ねなく話せる         | 4. 必要時に的確な医療機関を紹介してくれる |
| 5. 家族のかかりつけ医になってくれる | 6. 休日・時間外の診療、往診に応じてくれる |
| 7. その他              |                        |

(3) あなたは、病気になった場合、どこでの療養を希望しますか。

1. 自宅で最後まで療養したい
2. 自宅で療養して必要な時に医療機関に入院
3. 医療機関に入院
4. 専門的医療機関で積極的に治療を受けたい(がんセンターなど)
5. その他

(4) 自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。(いくつでも)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 特にない            | 2. 家族への介護負担       |
| 3. 病状急変時の対応が不安     | 4. 往診してくれる医師がいない  |
| 5. 訪問看護体制が整っていない   | 6. 訪問介護体制が整っていない  |
| 7. 24時間相談できるところがない | 8. 病状急変時の病院への入院受入 |
| 9. 居住環境が整っていない     | 10. 経済的な負担        |
| 11. その他            | 12. わからない         |

(5) あなたは、どこで最期を迎えることを望みますか。

- |                               |                       |               |
|-------------------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 自宅                         | 2. 子どもの家              | 3. 兄弟姉妹など親族の家 |
| 4. 病院などの医療施設                  | 5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 |               |
| 6. 少人数で共同生活を行う施設(グループホームなど)   |                       |               |
| 7. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設 |                       |               |
| 8. わからない                      |                       |               |

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

記入もれがないか、今一度お確かめください。

※ 記入した調査票は切り離すことなく3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて(切手は不要です) 2月14日(火)までに投函してください。

## 高齢者保健福祉実態調査報告書

---

平成 29 年 3 月 発行

### 富 山 市

富山市新桜町 7 番 38 号

T E L : 076-431-6111

お問い合わせ先 富山市福祉保健部長寿福祉課

T E L : 076-443-2061

富山市福祉保健部介護保険課

T E L : 076-443-2041

富山市福祉保健部保健所健康課

T E L : 076-428-1153

富山市福祉保健部保健所保健予防課

T E L : 076-428-1152

調査・分析 株式会社ラックス

富山市西長江 1 丁目 12-1

T E L : 076-422-7478

---